

## 2. 悪質商法の被害等の経験について

主な悪質商法のうち、特に若者が狙われやすいとされる5つの悪質商法について、個別に被害の経験等をたずねた。

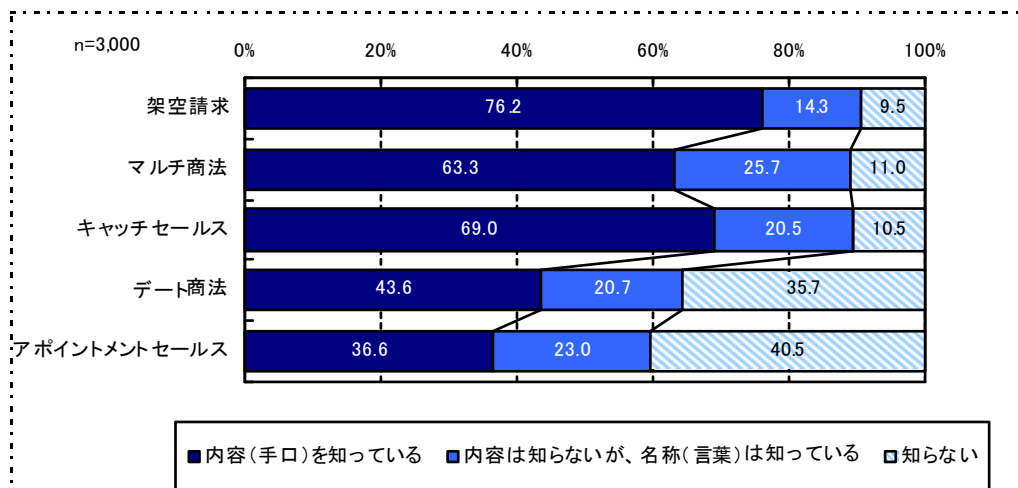
### 【5つの悪質商法】

1. 「架空請求」
2. 「マルチ商法」
3. 「キャッチセールス」
4. 「デート商法」
5. 「アポイントメントセールス」

### (1) 悪質商法の被害等の経験（全体）

#### ① 5つの悪質商法の認知及び被害経験

#### 【5つの悪質商法の認知】

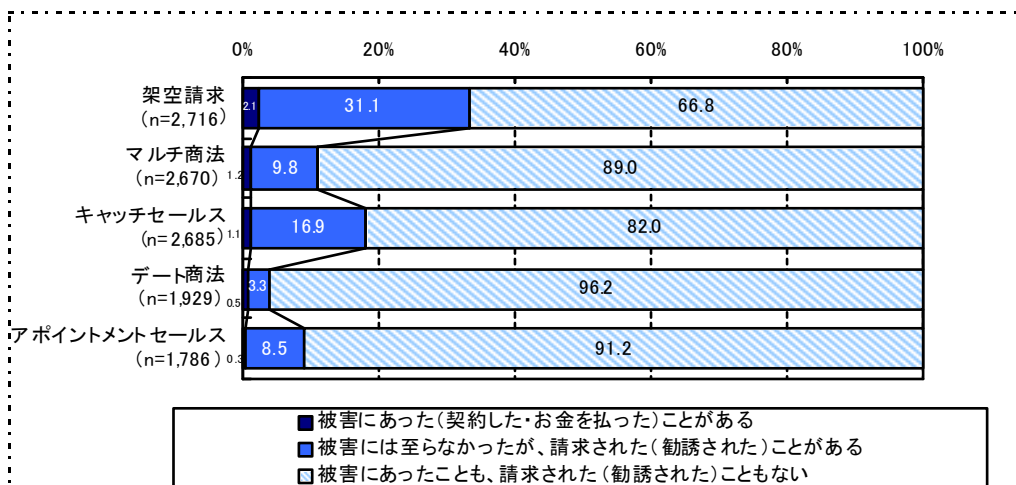


5つの悪質商法について「内容(手口)を知っている」は、架空請求が76.2%で最も高く、次いで、キャッチセールスが69.0%、マルチ商法が63.3%、デート商法が43.6%、アポイントメントセールスが36.6%となっている。

また、認知度(「内容(手口)を知っている」+「内容は知らないが、名称(言葉)は知っている」)は、架空請求(90.5%)、キャッチセールス(89.5%)、マルチ商法(89.0%)では9割程度と高く、デート商法(64.3%)、アポイントメントセールス(59.6%)は6割程度にとどまっている。

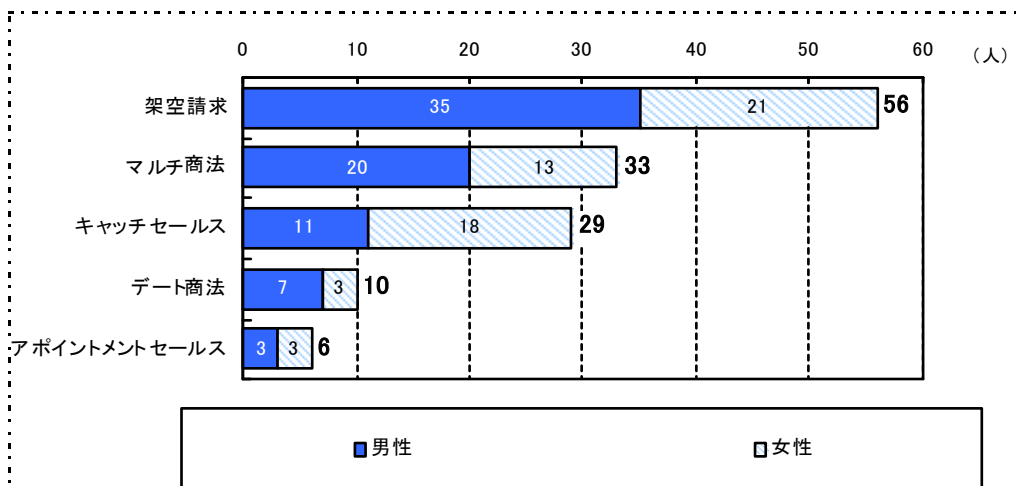
II. 調査結果

【5つの悪質商法の被害経験】



5つの悪質商法それぞれについてみると、「知っている」（「内容（手口）を知っている」＋「内容は知らないが、名称（言葉）は知っている」と回答した人のうち、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」とする実被害の経験は、架空請求が2.1%（56人）で最も高く、次いで、マルチ商法が1.2%（33人）、キャッチセールスが1.1%（29人）、デート商法が0.5%（10人）、アポイントメントセールスが0.3%（6人）となっている。

【5つの悪質商法で被害にあった人数】

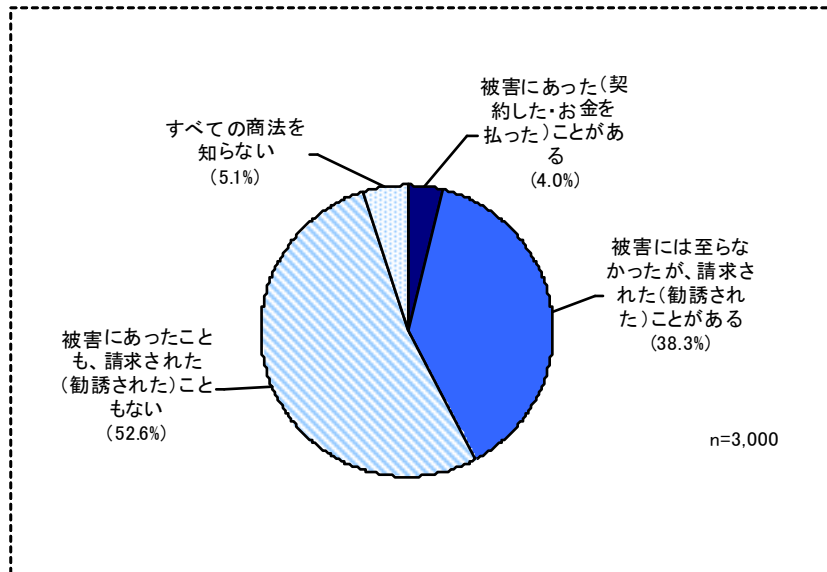


太字は合計人数

5つの悪質商法で被害にあった人数は、架空請求が56人（男性35人、女性21人）、マルチ商法が33人（男性20人、女性13人）、キャッチセールスが29人（男性11人、女性18人）、デート商法が10人（男性7人、女性3人）、アポイントメントセールスが6人（男性3人、女性3人）となっており、被害にあった人数の合計は134人となっている。

② 5つの悪質商法のいずれかの被害にあった経験

【悪質商法の被害経験】



5つの悪質商法のいずれかの被害にあった経験についてみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は4.0%（119人）となっている。5つの悪質商法それぞれで被害にあった人数の合計は134人となっているが、そのうち10人が複数の悪質商法で被害にあっている（14ページ参照）。

「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は38.3%（1,149人）、「被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない」が52.6%（1,578人）、「すべての商法を知らない」が5.1%（154人）となっている。

実際の被害には至っていないものの約4割が悪質商法からのアプローチの経験があり、実被害の経験を合わせると4割強が何らかの被害の危険に遭遇している。

## II. 調査結果

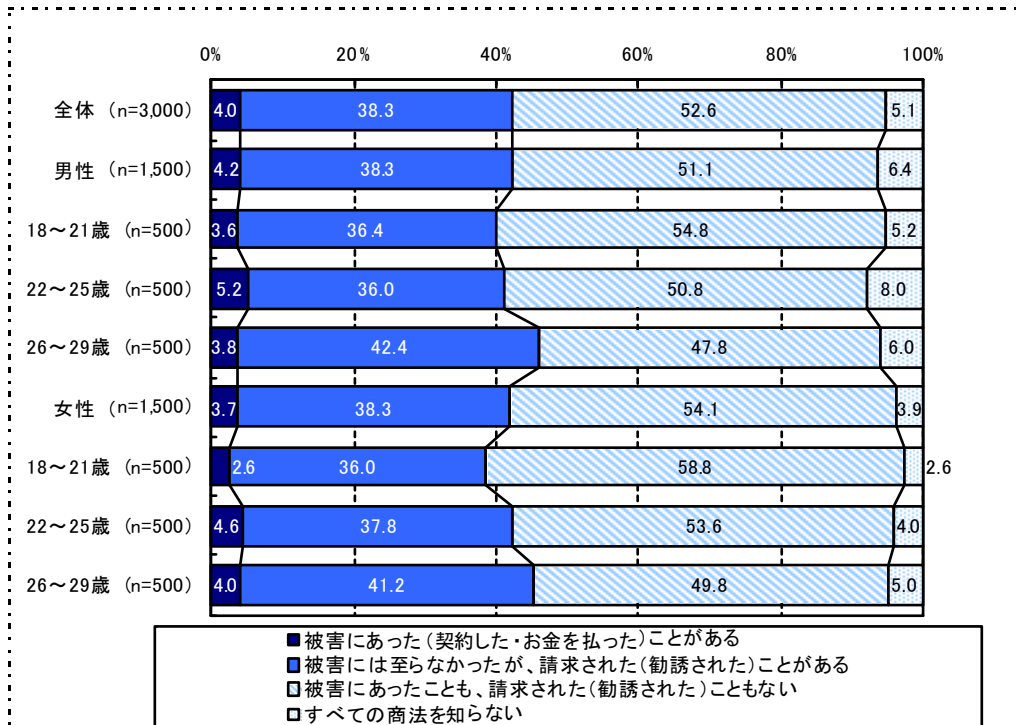
### 【悪質商法の被害の組合せ】

順位	件数	(%)	被害にあった悪質商法	被害の種類
1	49	41.2	架空請求	1
2	26	21.8	マルチ商法	1
3	24	20.2	キャッチセールス	1
4	6	5.0	デート商法	1
5	4	3.4	アポイントメントセールス	1
6	2	1.7	マルチ商法・キャッチセールス	2
7	1	0.8	架空請求・マルチ商法	2
8	1	0.8	架空請求・キャッチセールス	2
9	1	0.8	架空請求・デート商法	2
10	1	0.8	架空請求・アポイントメントセールス	2
11	1	0.8	マルチ商法・デート商法	2
12	1	0.8	架空請求・マルチ商法・キャッチセールス	3
13	1	0.8	架空請求・マルチ商法・デート商法	3
14	1	0.8	架空請求・マルチ商法・キャッチセールス・デート商法・アポイントメントセールス	5
合計	119			

5つの悪質商法のいずれかで被害にあった人（119人）の状況を見ると、ひとつの商法での被害が9割を超えている。

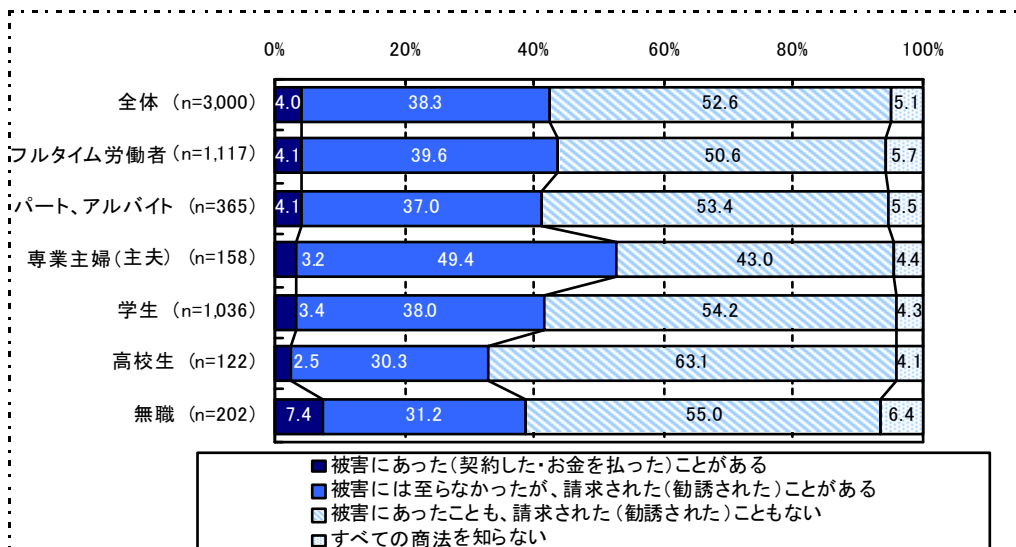
また、複数の悪質商法での被害経験がある人（10人）は、架空請求と他の悪質商法との組合せで多くみられる。、複数の悪質商法での被害経験がある10人の内訳は、2種類の商法での被害が7人、3種類の商法での被害が2人、5種類の商法での被害が1人となっている。

【悪質商法の被害経験（性・年代別）】



性・年代別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、男性 22～25 歳が 5.2% で最も高く、次いで女性 22～25 歳が 4.6%、女性 26～29 歳が 4.0% となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、男女ともに 26～29 歳が 4 割を超えており、それぞれ 42.4%、41.2% となっている。

【悪質商法の被害経験（職業別）】



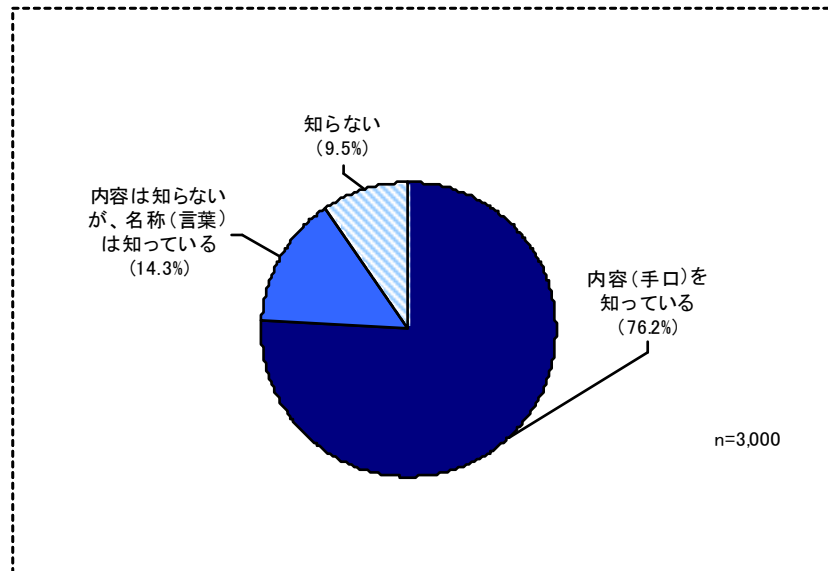
職業別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、無職が 7.4% で最も高く、次いでフルタイム労働者とパート、アルバイトがともに 4.1% となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、専業主婦（主夫）が 49.4% と高くなっている。

## II. 調査結果

### (2) 悪質商法の被害等の経験（架空請求）

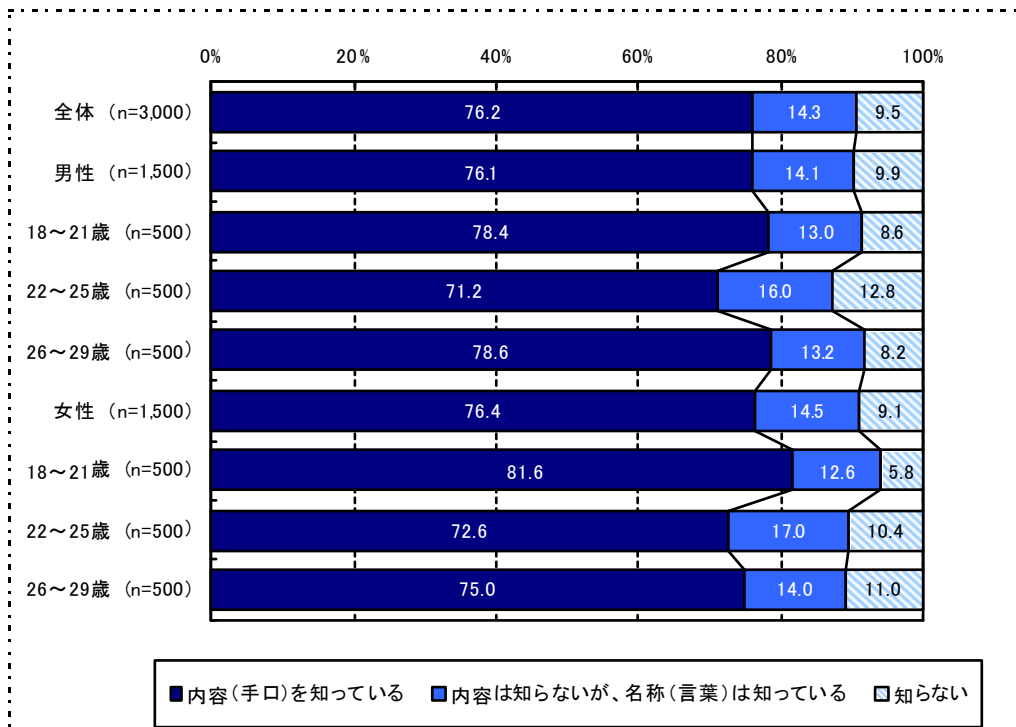
#### ① 「架空請求」の認知

【架空請求の認知】



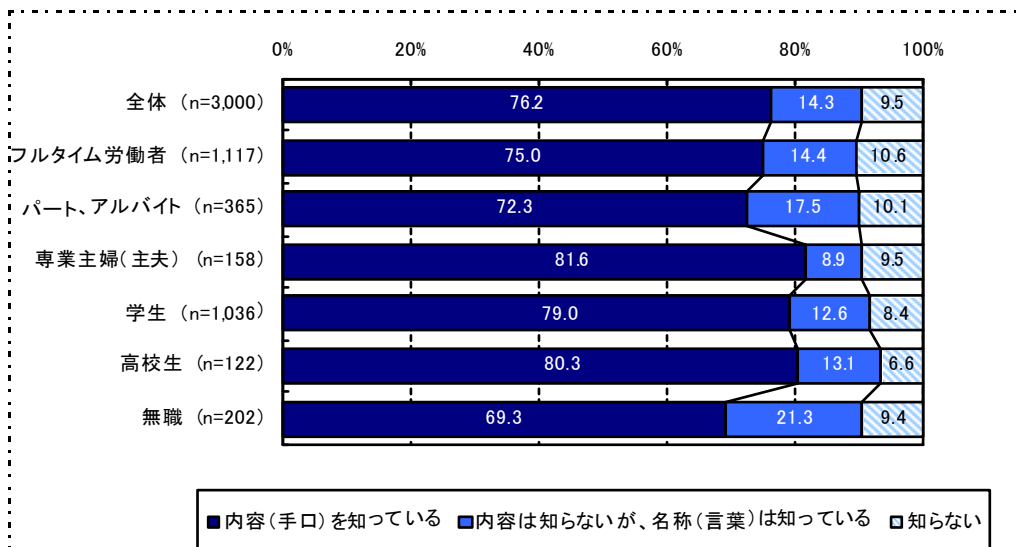
架空請求の認知は、「内容（手口）を知っている」が 76.2%、「内容は知らないが、名称（言葉）は知っている」が 14.3%、「知らない」が 9.5%となっている。

【架空請求の認知（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「内容（手口）を知っている」は、女性 18～21 歳が 81.6%で最も高く、次いで男性 26～29 歳が 78.6%、男性 18～21 歳が 78.4%となっている。また、「知らない」は、男性 22～25 歳（12.8%）、女性 22～25 歳（10.4%）、女性 26～29 歳（11.0%）で 1 割を超えている。

【架空請求の認知（職業別）】

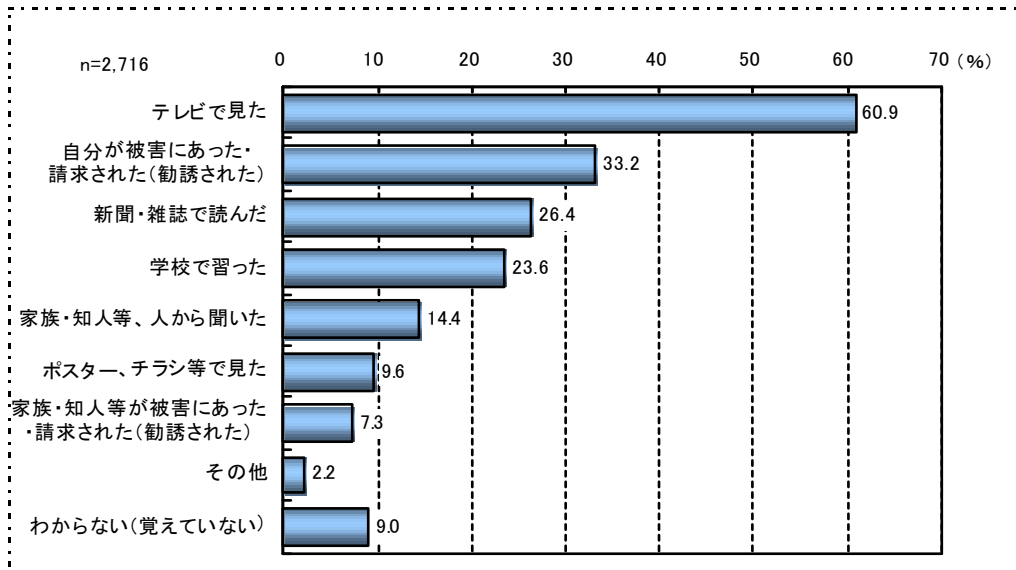


職業別にみると、「内容（手口）を知っている」は、専業主婦（主夫）が 81.6%で最も高く、次いで高校生が 80.3%、学生が 79.0%となっている。また、「知らない」は、フルタイム労働者（10.6%）、パート、アルバイト（10.1%）で 1 割を超えている。

## II. 調査結果

### ② 「架空請求」の認知経路

【架空請求の認知経路】（複数回答）



架空請求という悪質商法を認知している人（2,716人）の認知経路は、「テレビで見た」が60.9%で最も高く、次いで「自分が被害にあった・請求された（勧誘された）」が33.2%、「新聞・雑誌で読んだ」が26.4%、「学校で習った」が23.6%、「家族・知人等、人から聞いた」が14.4%となっている。



【架空請求の認知経路（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)								
		テレビで見た	自分が被害にあった・請求された（勧誘された）	新聞・雑誌で読んだ	学校で習った	家族・知人等、人から聞いた	ポスター、チラシ等で見た	家族・知人等が被害にあった・請求された（勧誘された）	その他	わからない（覚えていない）
[全体]	(2,716)	60.9	33.2	26.4	23.6	14.4	9.6	7.3	2.2	9.0
[性・年齢別]										
男性	(1,352)	59.1	36.4	32.0	18.6	12.6	11.7	6.7	3.2	10.3
18～21歳	(457)	58.4	36.3	26.7	37.4	14.0	13.6	8.1	1.8	8.3
22～25歳	(436)	61.9	36.0	35.3	15.6	13.1	11.0	7.1	5.0	10.3
26～29歳	(459)	57.1	36.8	34.0	2.6	10.9	10.5	4.8	2.8	12.2
女性	(1,364)	62.7	30.1	20.9	28.6	16.1	7.5	7.9	1.3	7.8
18～21歳	(471)	52.9	33.3	17.6	51.2	14.6	7.6	5.5	1.1	7.4
22～25歳	(448)	68.3	29.2	23.0	26.3	17.6	8.5	9.6	0.9	8.3
26～29歳	(445)	67.4	27.4	22.2	7.0	16.2	6.3	8.8	2.0	7.6
[職業別]										
フルタイム労働者	(999)	61.5	32.2	31.7	11.2	14.5	10.4	7.5	2.7	9.6
パート、アルバイト	(328)	67.1	31.1	23.5	14.3	13.1	9.1	7.3	2.4	11.0
専業主婦（主夫）	(143)	79.7	35.0	14.7	14.7	16.1	4.9	10.5	0.7	4.2
学生	(949)	55.0	36.1	25.6	38.1	15.0	10.0	6.7	1.7	8.3
高校生	(114)	57.9	25.4	17.5	60.5	17.5	11.4	6.1	1.8	6.1
無職	(183)	64.5	30.6	21.3	16.4	9.8	6.0	7.1	3.8	11.5

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

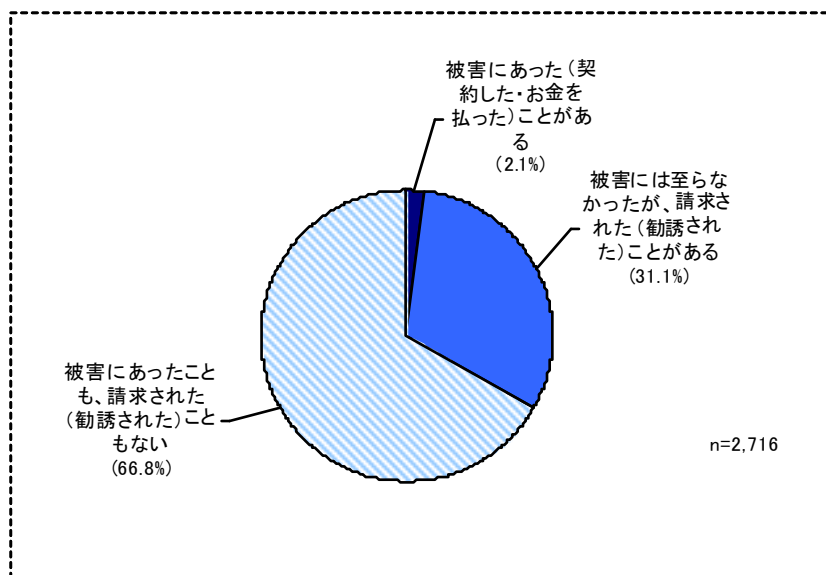
性・年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「テレビで見た」が1位となっており、女性22～25歳が68.3%で最も高くなっている。「自分が被害にあった・請求された（勧誘された）」は、男性はすべての年代で3割半ば、女性は18～21歳で3割台となっている。また、「新聞・雑誌で読んだ」は男性（32.0%）が女性（20.9%）を11.1ポイント上回り、性別による差がみられる。「学校で習った」は、女性（28.6%）が男性（18.6%）を10.0ポイント上回り、女性18～21歳では51.2%と5割を超え高くなっている。

職業別にみると、高校生以外の区分では「テレビで見た」が1位となっており、専業主婦（主夫）が79.7%で最も高くなっている。高校生は「学校で習った」が1位となっており、高校生（60.5%）、学生（38.1%）は「学校で習った」とする割合が他の区分より高くなっている。

## II. 調査結果

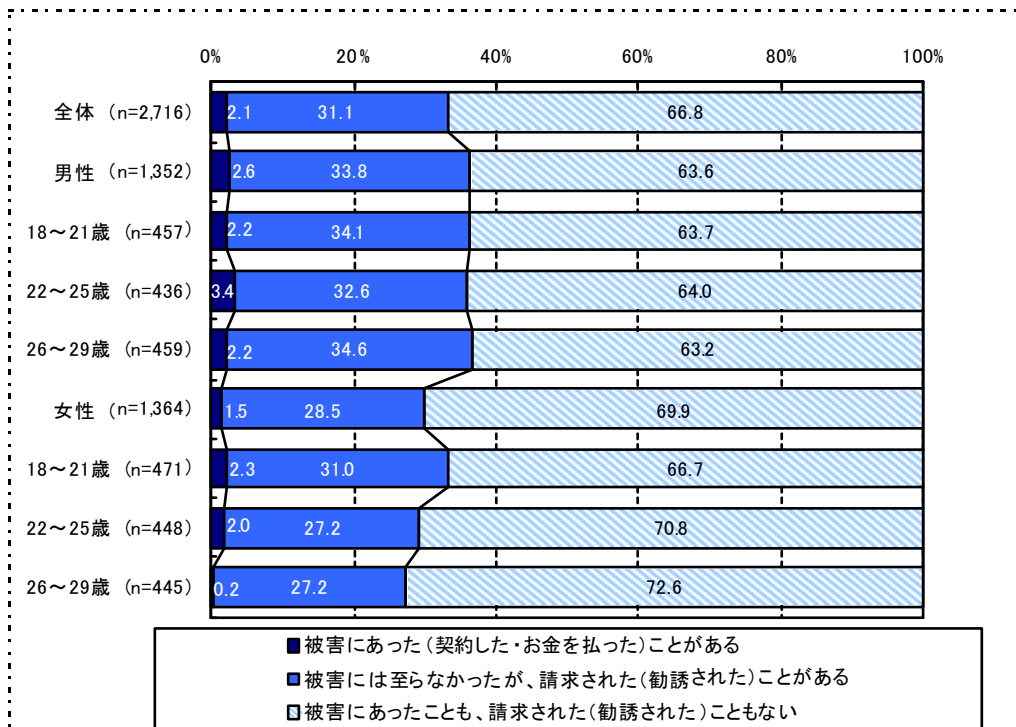
### ③ 「架空請求」による被害経験

【架空請求による被害経験】



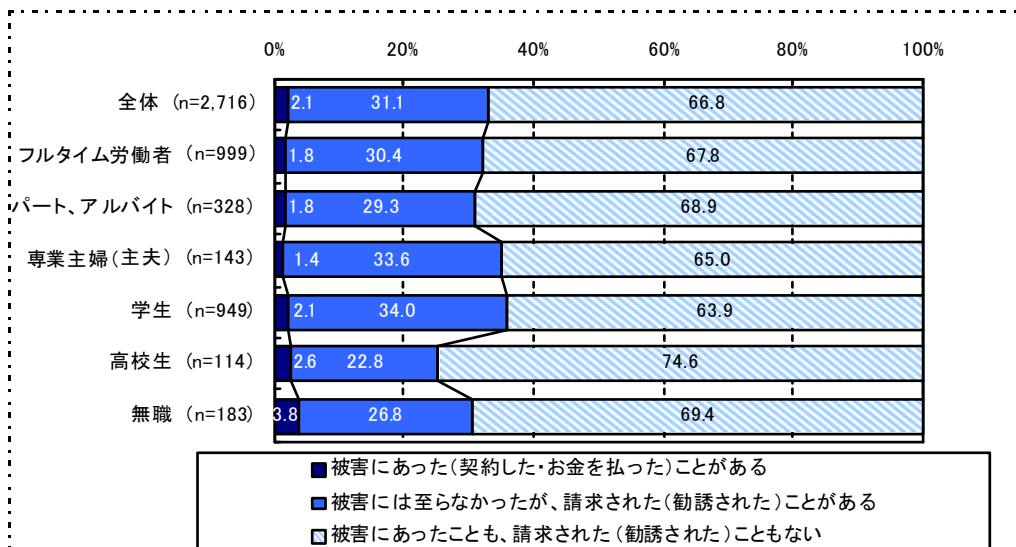
架空請求による被害経験は、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」が 2.1%、「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」が 31.1%、「被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない」が 66.8%となっており、被害経験のある人は 56 人であった。

【架空請求による被害経験（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、男性 22～25 歳が 3.4%で最も高く、次いで女性 18～21 歳が 2.3%、男性 18～21 歳と男性 26～29 歳がともに 2.2%となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、男性のすべての年代と女性 18～21 歳で 3 割台となっている。

【架空請求による被害経験（職業別）】

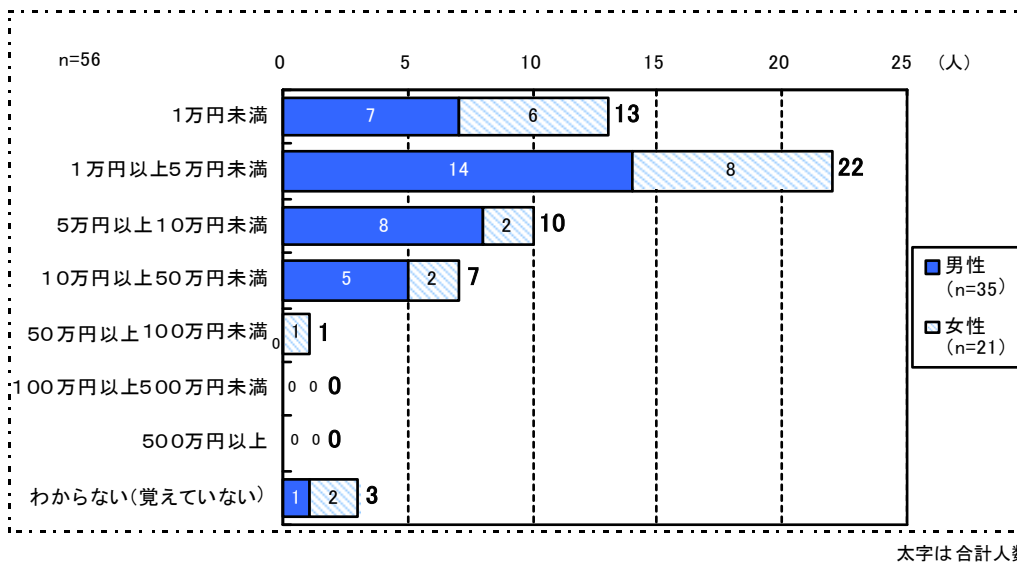


職業別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、無職が 3.8%で最も高く、次いで高校生が 2.6%、学生が 2.1%となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、フルタイム労働者、専業主婦（主夫）、学生で 3 割台となっている。

II. 調査結果

④ 「架空請求」による被害金額

【架空請求による被害金額（男女別人数）】



架空請求による被害経験者 56 人（男性 35 人、女性 21 人）の被害金額は、「1 万円以上 5 万円未満」が 22 人（男性 14 人、女性 8 人）で最も多く、次いで「1 万円未満」が 13 人（男性 7 人、女性 6 人）、「5 万円以上 10 万円未満」が 10 人（男性 8 人、女性 2 人）となっており、5 万円未満の被害者数は 35 人（男性 21 人、女性 14 人）となっている。

また、10 万円以上の高額な被害は「10 万円以上 50 万円未満」が 7 人（男性 5 人、女性 2 人）、「50 万円以上 100 万円未満」が女性 1 人となっている。

【架空請求による被害金額（性・年齢別人数）】

		(人)							
		1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上	わからない（覚えていない）	
[全体]	n (56)	13	22	10	7	1	-	-	3
[性・年齢別]									
男性	(35)	7	14	8	5	-	-	-	1
18～21歳	(10)	2	4	3	1	-	-	-	-
22～25歳	(15)	4	5	3	3	-	-	-	-
26～29歳	(10)	1	5	2	1	-	-	-	1
女性	(21)	6	8	2	2	1	-	-	2
18～21歳	(11)	3	5	1	1	-	-	-	1
22～25歳	(9)	3	3	1	1	-	-	-	1
26～29歳	(1)	-	-	-	-	1	-	-	-

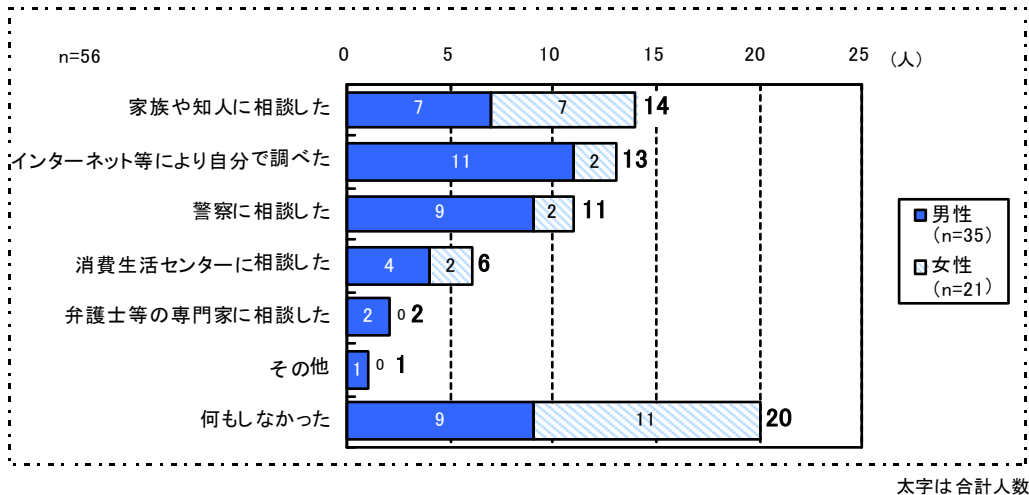
注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

性・年齢別にみると、女性26～29歳を除いたすべての年代で「1万円以上5万円未満」が最も多く、男性では、18～21歳が4人、22～25歳が5人、26～29歳が5人、女性では、18～21歳が5人、22～25歳が3人となっている。5万円未満は、男女合計35人となっており、男女ともに、18歳～21歳で6人、8人、22～25歳で9人、6人、男性26～29歳で6人となっている。「5万円以上10万円未満」は男性18～21歳と22～25歳がともに3人で、「10万円以上50万円未満」は男性22～25歳が3人で最も多くなっている。「50万円以上100万円未満」は女性26～29歳で1人となっている。

II. 調査結果

⑤ 「架空請求」による被害後の行動

【架空請求による被害後の行動（男女別人数）】（複数回答）



架空請求による被害経験者 56 人（男性 35 人、女性 21 人）の被害後の行動は、「何もなかった」が 20 人（男性 9 人、女性 11 人）で最も多くなっている。具体的な行動では、「家族や知人に相談した」が 14 人（男女ともに 7 人）、「インターネット等により自分で調べた」が 13 人（男性 11 人、女性 2 人）、「警察に相談した」が 11 人（男性 9 人、女性 2 人）、「消費生活センターに相談した」が 6 人（男性 4 人、女性 2 人）となっている。

【架空請求による被害後の行動（性・年齢別人数）】（複数回答）

(人)

		n	家族や知人に相談した	インターネット等により自分で調べた	警察に相談した	消費生活センターに相談した	弁護士等の専門家に相談した	その他	何もしなかった
[ 全 体 ]		( 56 )	14	13	11	6	2	1	20
[ 性・年齢別 ]									
男	性	( 35 )	7	11	9	4	2	1	9
	18 ~ 21 歳	( 10 )	3	3	4	1	1	-	2
	22 ~ 25 歳	( 15 )	3	4	4	2	1	1	4
	26 ~ 29 歳	( 10 )	1	4	1	1	-	-	3
女	性	( 21 )	7	2	2	2	-	-	11
	18 ~ 21 歳	( 11 )	6	-	2	2	-	-	3
	22 ~ 25 歳	( 9 )	1	2	-	-	-	-	7
	26 ~ 29 歳	( 1 )	-	-	-	-	-	-	1

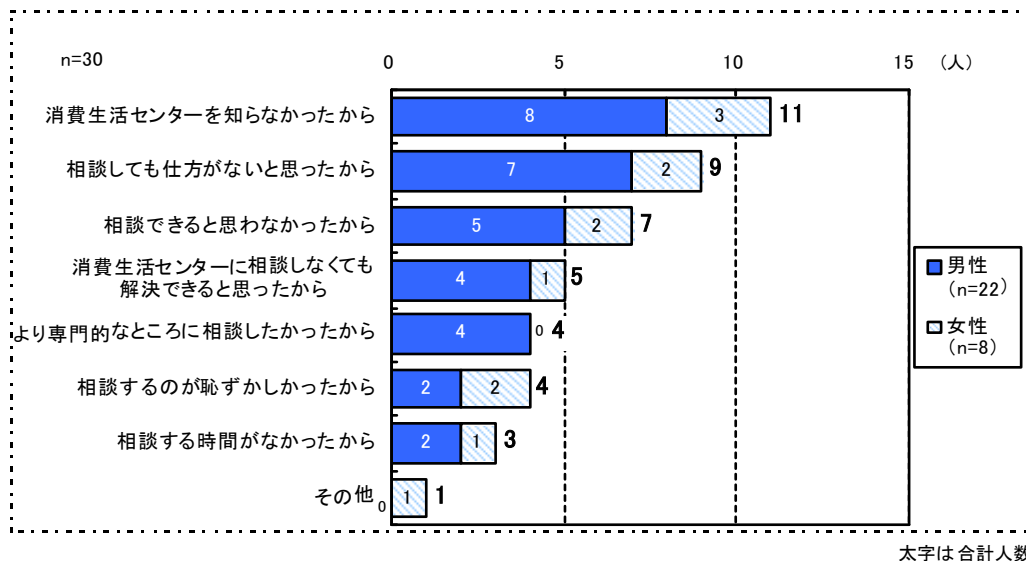
注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

性・年齢別にみると、「家族や知人に相談した」は、女性 18~21 歳が 6 人、「インターネット等により自分で調べた」は、男性 22~25 歳が 4 人、男性 26~29 歳が 4 人、女性 22~25 歳が 2 人、「警察に相談した」は、男性 18~21 歳が 4 人、男性 22~25 歳が 4 人でそれぞれ多くなっている。

II. 調査結果

⑥ 「架空請求」による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由

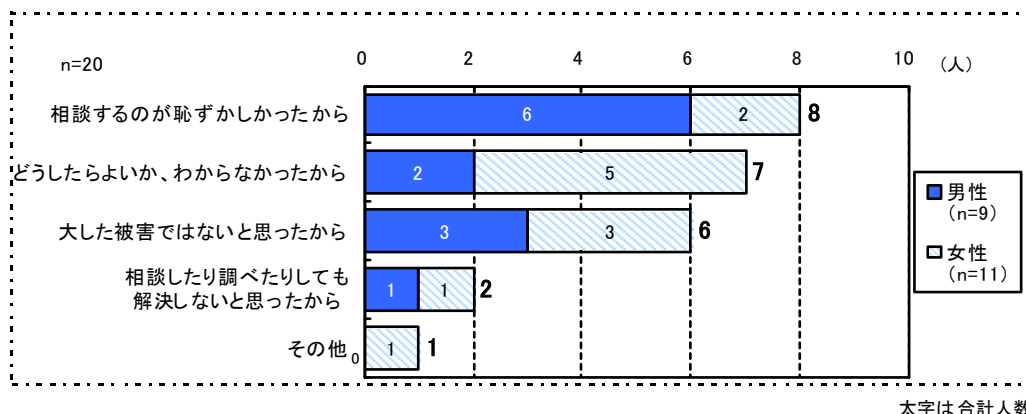
【架空請求による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由（男女別人数）】（複数回答）



架空請求による被害経験者のうち被害時に消費生活センターへ相談しなかった 30 人（男性 22 人、女性 8 人）の理由は、「消費生活センターを知らなかったから」が 11 人（男性 8 人、女性 3 人）で最も多く、次いで「相談しても仕方がないと思ったから」が 9 人（男性 7 人、女性 2 人）、「相談できると思わなかったから」が 7 人（男性 5 人、女性 2 人）、「消費生活センターに相談しなくても解決できると思ったから」が 5 人（男性 4 人、女性 1 人）となっている。

⑦ 「架空請求」による被害時に何もしなかった理由

【架空請求による被害時に何もしなかった理由（男女別人数）】（複数回答）

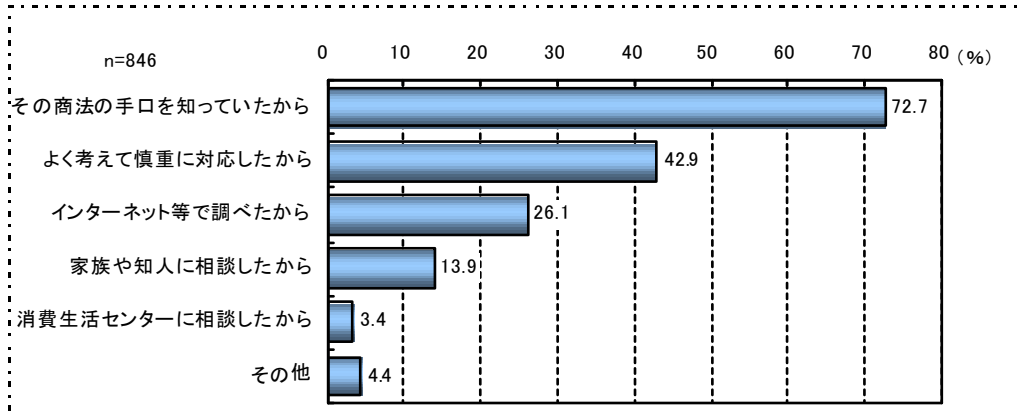


架空請求による被害経験者のうち被害時に何もしなかった 20 人（男性 9 人、女性 11 人）の理由は、「相談するのが恥ずかしかったから」が 8 人（男性 6 人、女性 2 人）で最も多く、次いで「どうしたらよいか、わからなかったから」が 7 人（男性 2 人、女性 5 人）、「大した被害ではないと思ったから」が 6 人（男女ともに 3 人）、「相談したり調べたりしても解決しないと思ったから」が 2 人（男女ともに 1 人）となっている。



⑧ 「架空請求」により請求されたが実被害に至らなかった理由

【架空請求により請求されたが実被害に至らなかった理由】（複数回答）



架空請求により請求されたが実被害に至らなかった人（846人）の理由は、「その商法の手口を知っていたから」が72.7%で最も高く、次いで「よく考えて慎重に対応したから」が42.9%、「インターネット等で調べたから」が26.1%、「家族や知人に相談したから」が13.9%、「消費生活センターに相談したから」が3.4%となっている。

「その他」の具体的な内容は、「無視した・何もしなかった」、「悪質商法に気付いた・知っていたから」などが挙げられた。

II. 調査結果

【架空請求により請求されたが実被害に至らなかった理由（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)					
		い そ た か ら	た よ く 考 え て 慎 重 に 対 応 し た か ら	た い ん た ー ネ ッ ト 等 で 調 べ た か ら	ら 家 族 や 知 人 に 相 談 し た か	消 費 生 活 セ ン タ ー に 相 談 し た か ら	そ の 他
n							
[ 全 体 ]	( 846 )	72.7	42.9	26.1	13.9	3.4	4.4
[ 性・年齢別 ]							
男 性	( 457 )	71.3	46.8	26.7	11.2	4.4	3.5
18 ~ 21 歳	( 156 )	75.6	43.6	24.4	12.8	1.9	4.5
22 ~ 25 歳	( 142 )	73.2	47.9	29.6	11.3	7.0	2.1
26 ~ 29 歳	( 159 )	65.4	49.1	26.4	9.4	4.4	3.8
女 性	( 389 )	74.3	38.3	25.4	17.2	2.3	5.4
18 ~ 21 歳	( 146 )	69.2	37.0	27.4	24.0	2.7	2.7
22 ~ 25 歳	( 122 )	78.7	41.0	26.2	13.9	2.5	5.7
26 ~ 29 歳	( 121 )	76.0	37.2	22.3	12.4	1.7	8.3
[ 職 業 別 ]							
フルタイム労働者	( 304 )	70.1	45.4	23.4	11.5	4.6	6.3
パート、アルバイト	( 96 )	75.0	37.5	32.3	10.4	6.3	4.2
専業主婦(主夫)	( 48 )	81.3	35.4	16.7	10.4	2.1	8.3
学 生	( 323 )	74.9	41.5	26.3	16.4	2.5	2.5
高 校 生	( 26 )	76.9	42.3	26.9	19.2	-	-
無 職	( 49 )	59.2	55.1	38.8	20.4	-	4.1

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

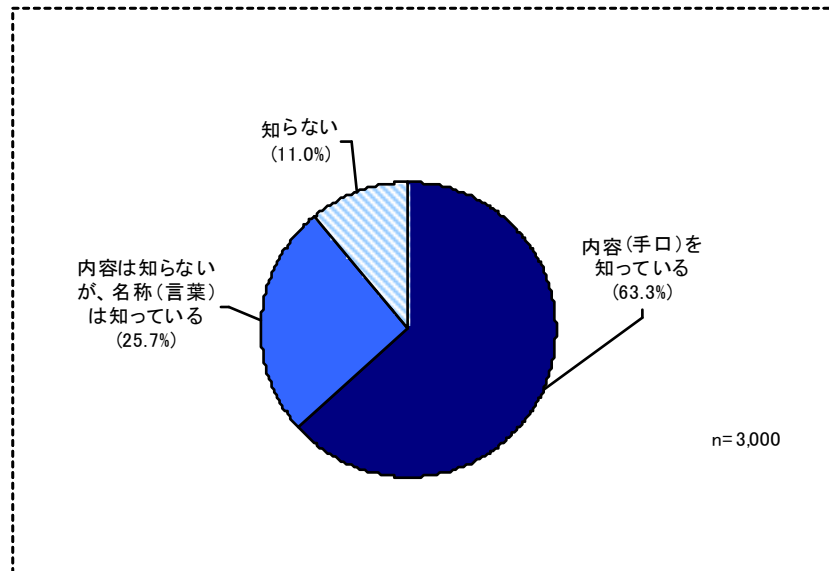
性・年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「その商法の手口を知っていたから」が1位となっており、女性22~25歳が78.7%で最も高くなっている。「よく考えて慎重に対応したから」は、男性はすべての年代で4割台、女性は22~25歳で4割台となっており、男性(46.8%)が女性(38.3%)を8.5ポイント上回り、性別による差がみられる。

職業別にみると、すべての区分で「その商法の手口を知っていたから」が1位となっており、専業主婦(主夫)が81.3%で最も高くなっている。無職は「よく考えて慎重に対応したから」が55.1%で他の区分より高くなっている。

(3) 悪質商法の被害等の経験（マルチ商法）

① 「マルチ商法」の認知

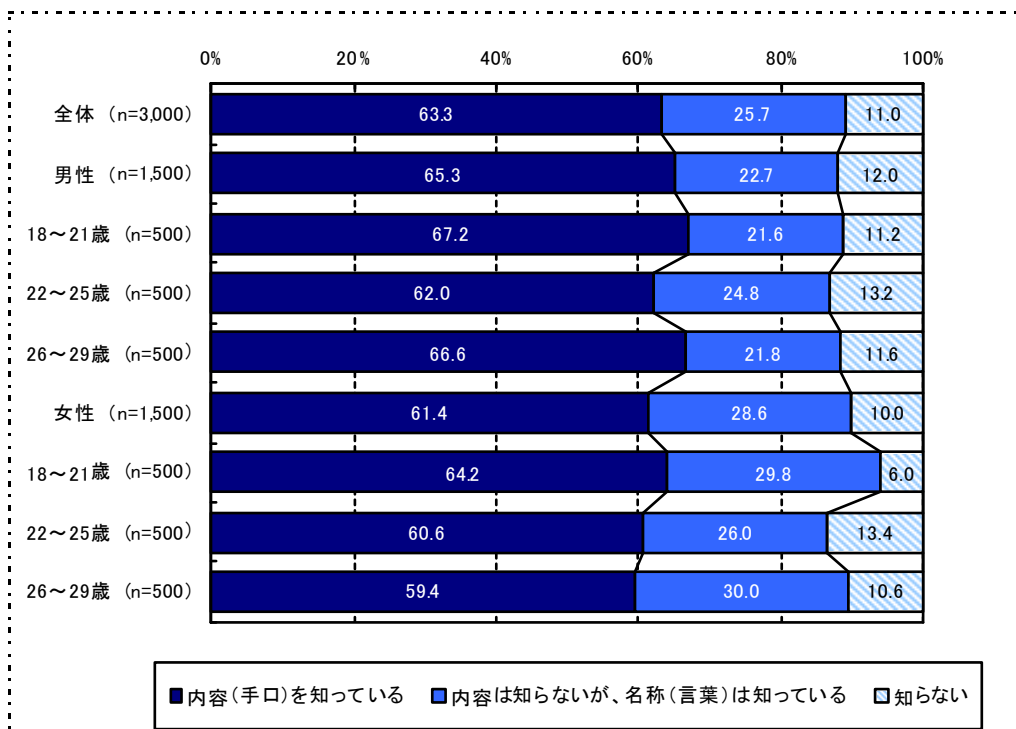
【マルチ商法の認知】



マルチ商法の認知は、「内容（手口）を知っている」が 63.3%、「内容は知らないが、名称（言葉）は知っている」が 25.7%、「知らない」が 11.0%となっている。

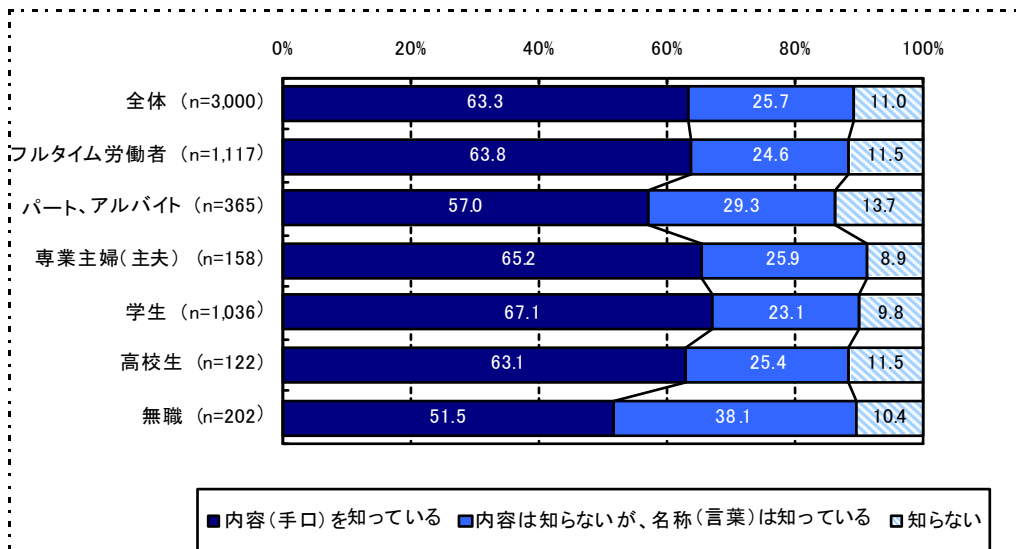
II. 調査結果

【マルチ商法の認知（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「内容（手口）を知っている」は、男性 18～21 歳が 67.2%で最も高く、次いで男性 26～29 歳が 66.6%、女性 18～21 歳が 64.2%となっている。また、「知らない」は、女性 18～21 歳（6.0%）を除いた年代で 1 割を超えている。

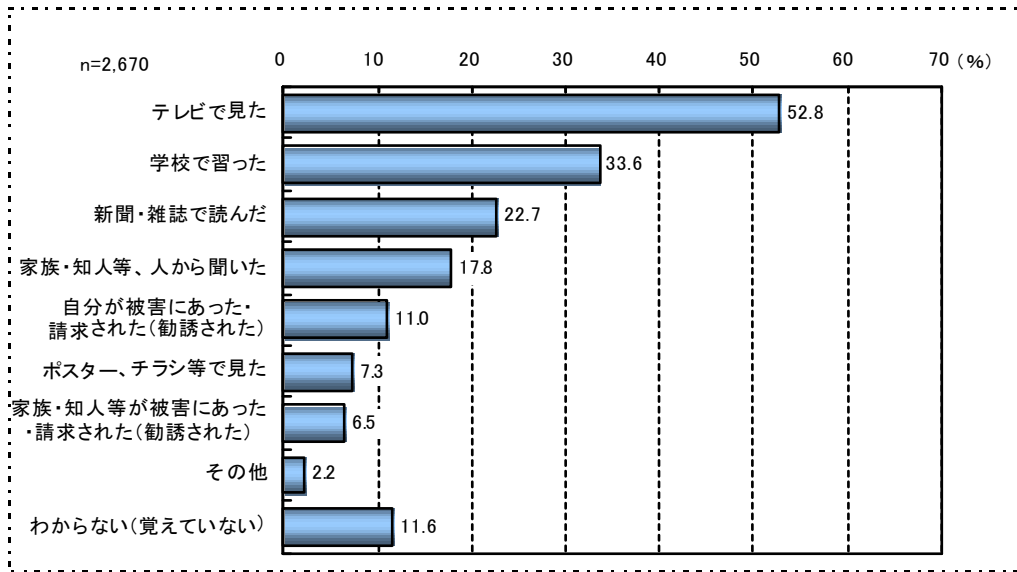
【マルチ商法の認知（職業別）】



職業別にみると、「内容（手口）を知っている」は、学生が 67.1%で最も高く、次いで専業主婦（主夫）が 65.2%、フルタイム労働者が 63.8%、高校生が 63.1%となっている。また、「知らない」は、フルタイム労働者（11.5%）、パート、アルバイト（13.7%）、高校生（11.5%）、無職（10.4%）で 1 割を超えている。

② 「マルチ商法」の認知経路

【マルチ商法の認知経路】（複数回答）



マルチ商法という悪質商法を認知している人（2,670人）の認知経路は、「テレビで見た」が52.8%で最も高く、次いで「学校で習った」が33.6%、「新聞・雑誌で読んだ」が22.7%、「家族・知人等、人から聞いた」が17.8%、「自分が被害にあった・請求された（勧誘された）」が11.0%となっている。

II. 調査結果

【マルチ商法の認知経路（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)								
		テレビで見た	学校で習った	新聞・雑誌で読んだ	家族・知人等、人から聞いた	自分が被害にあった・請求された（勧誘された）	ポスター、チラシ等で見た	家族・知人等が被害にあつた・請求された（勧誘された）	その他	わからない（覚えていない）
[全体]	(2,670)	52.8	33.6	22.7	17.8	11.0	7.3	6.5	2.2	11.6
[性・年齢別]										
男性	(1,320)	55.2	26.7	30.8	15.1	11.8	9.2	5.7	3.3	13.0
18～21歳	(444)	55.0	44.6	24.1	12.6	7.2	10.6	3.6	1.8	9.9
22～25歳	(434)	55.1	24.7	35.5	17.5	14.3	10.1	4.8	4.4	14.1
26～29歳	(442)	55.7	10.9	33.0	15.2	14.0	6.8	8.6	3.8	14.9
女性	(1,350)	50.4	40.3	14.8	20.4	10.2	5.5	7.3	1.1	10.3
18～21歳	(470)	39.4	61.3	12.1	12.8	4.0	6.0	3.8	1.5	10.0
22～25歳	(433)	57.7	39.3	16.2	25.4	12.9	6.7	9.2	0.7	9.2
26～29歳	(447)	54.8	19.2	16.3	23.7	14.1	3.8	9.2	1.1	11.6
[職業別]										
フルタイム労働者	(988)	53.5	21.8	28.0	20.9	14.6	7.0	8.2	2.1	11.4
パート、アルバイト	(315)	59.0	24.8	19.7	17.8	11.1	6.0	6.3	2.9	16.5
専業主婦（主夫）	(144)	65.3	27.1	8.3	26.4	17.4	2.8	10.4	0.7	9.0
学生	(934)	48.5	48.7	22.1	15.2	7.0	9.0	4.7	1.8	9.7
高校生	(108)	45.4	63.0	19.4	12.0	2.8	11.1	2.8	2.8	4.6
無職	(181)	54.1	23.2	16.0	11.0	12.2	3.9	6.1	4.4	19.9

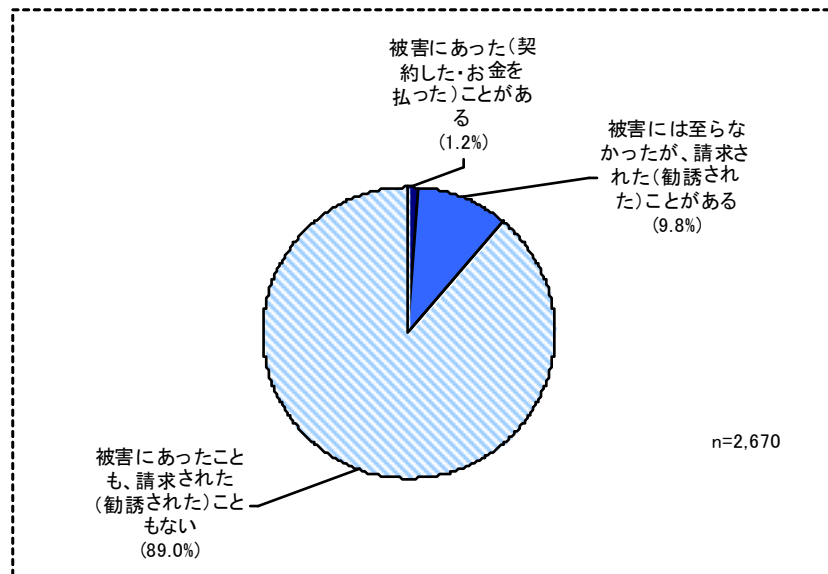
注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、女性 18～21 歳を除いた年代で「テレビで見た」が 1 位となっており、女性 22～25 歳が 57.7% で最も高くなっている。「学校で習った」は女性 18～21 歳で 1 位（61.3%）となっており、他の年代より高くなっている。また、「新聞・雑誌で読んだ」は男性（30.8%）が女性（14.8%）を 16.0 ポイント上回り、性別による差がみられる。「自分が被害にあつた・請求された（勧誘された）」は、男女ともに 18～21 歳よりも 22～25 歳、26～29 歳の方が高くなっている。

職業別にみると、学生と高校生以外の区分では「テレビで見た」が 1 位となっており、専業主婦（主夫）が 65.3% で最も高くなっている。学生と高校生は「学校で習った」が 1 位となっており、高校生（63.0%）、学生（48.7%）は「学校で習った」が他の区分より高くなっている。

③ 「マルチ商法」による被害経験

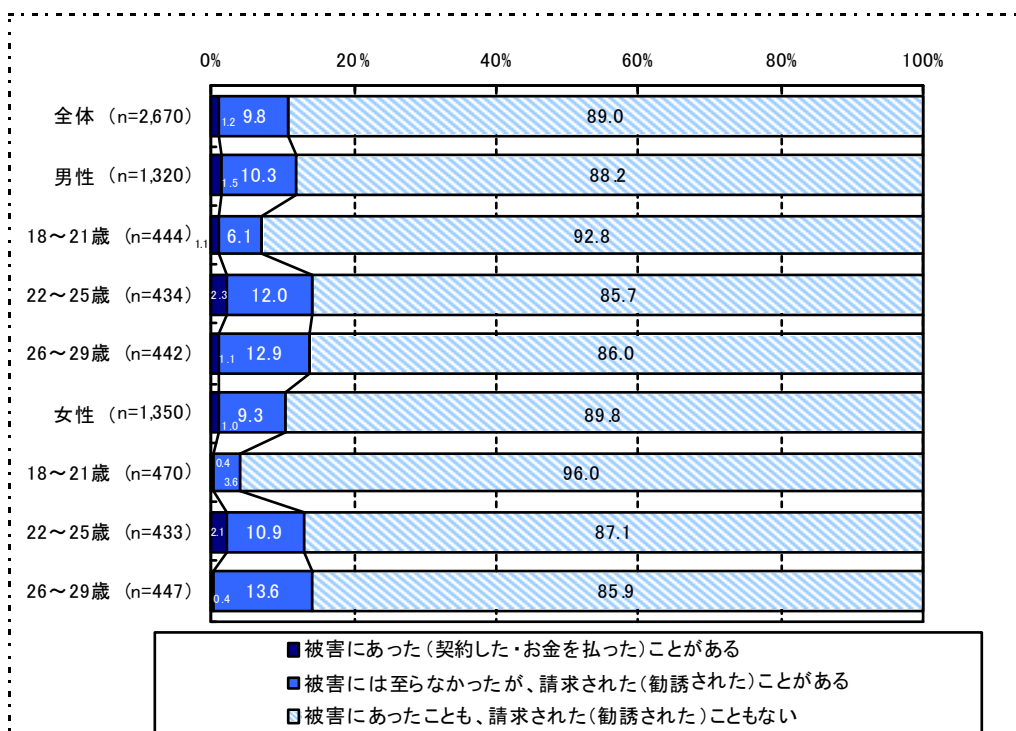
【マルチ商法による被害経験】



マルチ商法による被害経験は、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」が 1.2%、「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」が 9.8%、「被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない」が 89.0%となっており、被害経験のある人は 33 人であった。

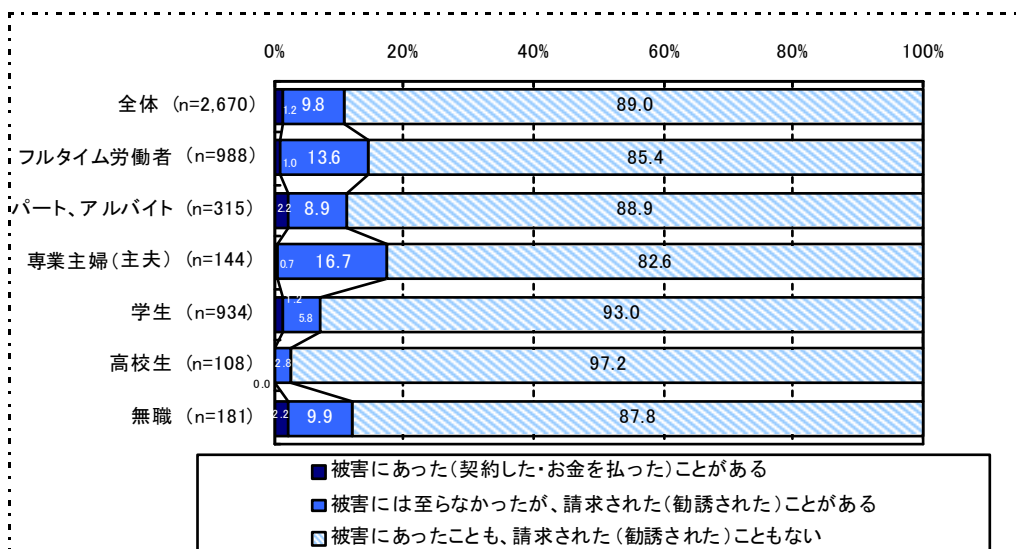
II. 調査結果

【マルチ商法による被害経験（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、男性 22～25 歳が 2.3%で最も高く、次いで女性 22～25 歳が 2.1%となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、男女とも 22～25 歳と 26～29 歳で 1 割台となっている。

【マルチ商法による被害経験（職業別）】

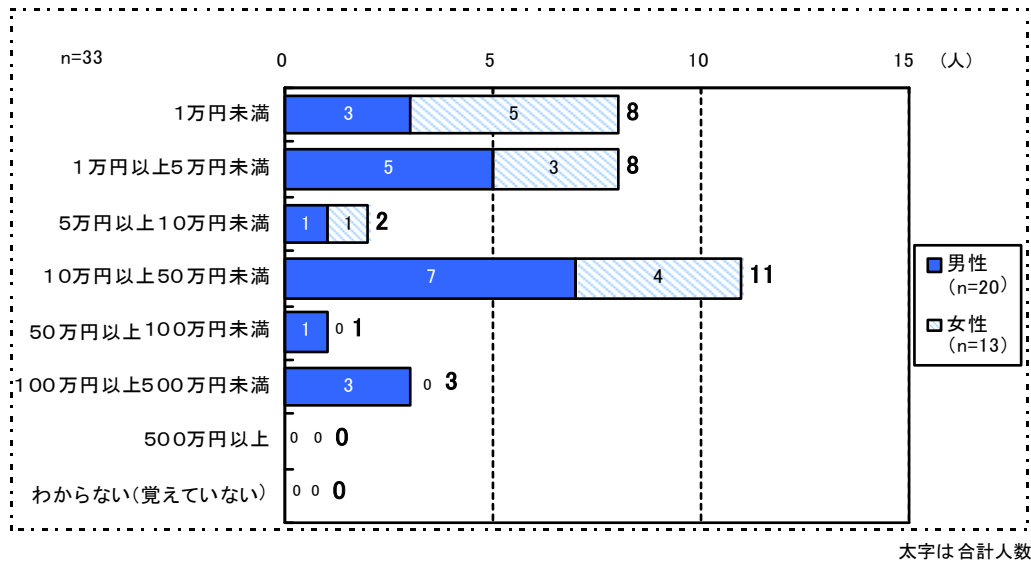


職業別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、パート、アルバイトと無職がともに 2.2%で最も高くなっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、フルタイム労働者、専業主婦（主夫）で 1 割台となっている。



④ 「マルチ商法」による被害金額

【マルチ商法による被害金額（男女別人数）】



マルチ商法による被害経験者 33 人（男性 20 人、女性 13 人）の被害金額は、「10 万円以上 50 万円未満」が 11 人（男性 7 人、女性 4 人）で最も多く、次いで「1 万円未満」と「1 万円以上 5 万円未満」がともに 8 人（それぞれ男性 3 人、女性 5 人、男性 5 人、女性 3 人）、「100 万円以上 500 万円未満」が男性 3 人となっており、10 万円未満が 18 人（男女ともに 9 人）となっている。

また、10 万円以上の高額な被害は「10 万円以上 50 万円未満」が 11 人（男性 7 人、女性 4 人）、「50 万円以上 100 万円未満」が男性 1 人、「100 万円以上 500 万円未満」が男性 3 人と 15 人（男性 11 人、女性 4 人）となっている。

## II. 調査結果

### 【マルチ商法による被害金額（性・年齢別人数）】

(人)

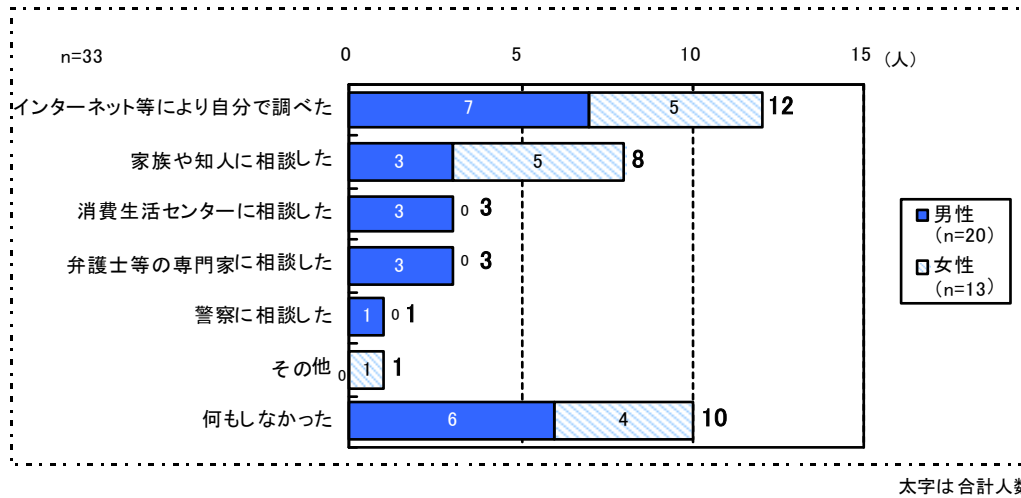
		1万円未満	1万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上	わからない (覚えていない)
[全体]	n (33)	8	8	2	11	1	3	-	-
[性・年齢別]									
男性	(20)	3	5	1	7	1	3	-	-
18～21歳	(5)	-	3	-	2	-	-	-	-
22～25歳	(10)	3	2	-	4	-	1	-	-
26～29歳	(5)	-	-	1	1	1	2	-	-
女性	(13)	5	3	1	4	-	-	-	-
18～21歳	(2)	1	1	-	-	-	-	-	-
22～25歳	(9)	3	2	1	3	-	-	-	-
26～29歳	(2)	1	-	-	1	-	-	-	-

注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

性・年齢別にみると、10万円以上の高額な被害は、女性より男性が多く、「10万円以上50万円未満」は男性では、18～21歳が2人、22～25歳が4人、26～29歳が1人、女性では、22～25歳が3人、26～29歳が1人となっている。「50万円以上100万円未満」は男性25～29歳が1人、「100万円以上500万円未満」は、男性22～25歳が1人、男性26～29歳が2人となっている。

⑤ 「マルチ商法」による被害後の行動

【マルチ商法による被害後の行動（男女別人数）】（複数回答）



マルチ商法による被害経験者 33 人（男性 20 人、女性 13 人）の被害後の行動は、「何もしなかった」が 10 人（男性 6 人、女性 4 人）となっている。具体的な行動では、「インターネット等により自分で調べた」が 12 人（男性 7 人、女性 5 人）、「家族や知人に相談した」が 8 人（男性 3 人、女性 5 人）、「消費生活センターに相談した」と「弁護士等の専門家に相談した」がともに男性 3 人となっている。

【マルチ商法による被害後の行動（性・年齢別人数）】（複数回答）

		インターネット等により自分で調べた	家族や知人に相談した	消費生活センターに相談した	弁護士等の専門家に相談した	警察に相談した	その他	何もしなかった
[ 全体 ]	n (33)	12	8	3	3	1	1	10
[ 性・年齢別 ]								
男	性 (20)	7	3	3	3	1	-	6
18 ~ 21 歳	(5)	2	1	-	1	-	-	1
22 ~ 25 歳	(10)	4	2	2	1	-	-	3
26 ~ 29 歳	(5)	1	-	1	1	1	-	2
女	性 (13)	5	5	-	-	-	1	4
18 ~ 21 歳	(2)	1	1	-	-	-	-	-
22 ~ 25 歳	(9)	3	4	-	-	-	1	3
26 ~ 29 歳	(2)	1	-	-	-	-	-	1

注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

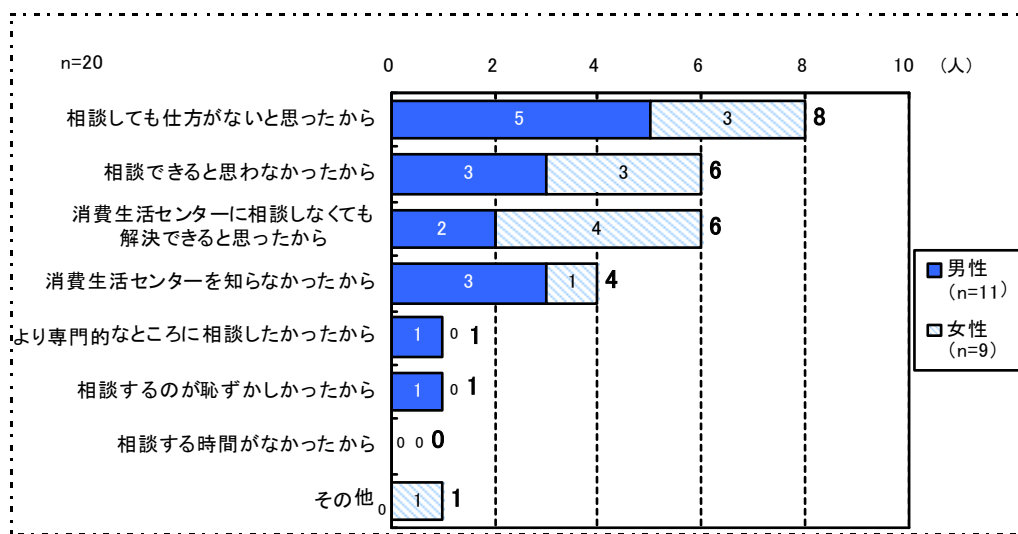
性・年齢別にみると、「インターネット等により自分で調べた」は、男性 18~21 歳が 2 人、22~25 歳が 4 人、女性 22~25 歳が 3 人、「家族や知人に相談した」は、女性 22~25 歳が 4 人でそれぞれ多くなっている。

II. 調査結果

⑥ 「マルチ商法」による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由

【マルチ商法による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由（男女別人数）】

（複数回答）

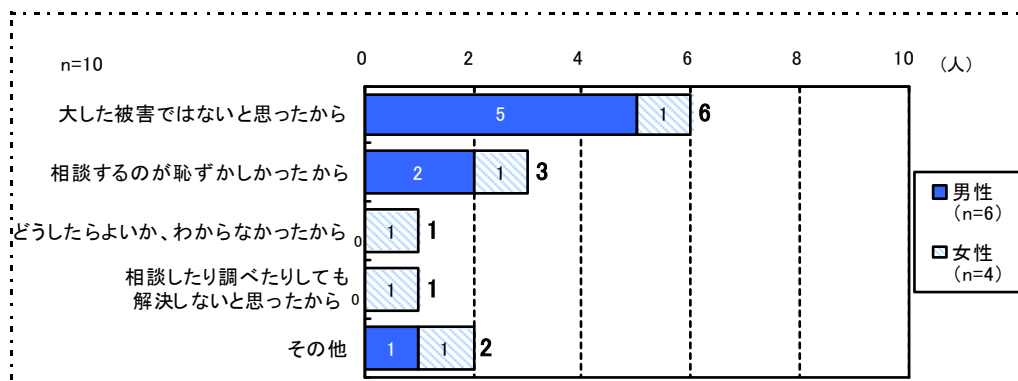


太字は合計人数

マルチ商法による被害経験者のうち被害時に消費生活センターへ相談しなかった 20 人の理由は、「相談しても仕方がないと思ったから」が 8 人（男性 5 人、女性 3 人）で最も多く、次いで「相談できると思わなかったから」と「消費生活センターに相談しなくても解決できると思ったから」がともに 6 人（それぞれ男性 3 人、女性 3 人、男性 2 人、女性 4 人）、「消費生活センターを知らなかったから」が 4 人（男性 3 人、女性 1 人）となっている。

⑦ 「マルチ商法」による被害時に何もしなかった理由

【マルチ商法による被害時に何もしなかった理由（男女別人数）】（複数回答）

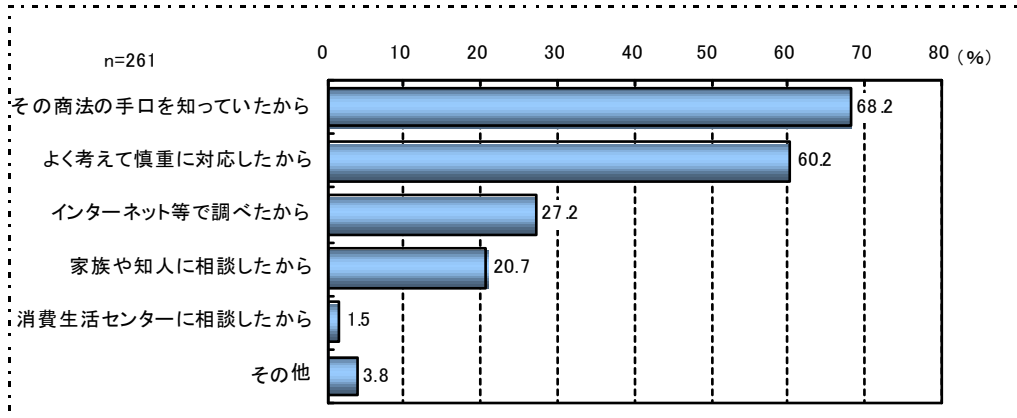


太字は合計人数

マルチ商法による被害経験者のうち被害時に何もしなかった 10 人の理由は、「大した被害ではないと思ったから」が 6 人（男性 5 人、女性 1 人）で最も多く、次いで「相談するのが恥ずかしかったから」が 3 人（男性 2 人、女性 1 人）、「どうしたらよいか、わからなかったから」と「相談したり調べたりしても解決しないと思ったから」がともに女性 1 人となっている。

⑧ 「マルチ商法」により勧誘されたが実被害に至らなかった理由

【マルチ商法により勧誘されたが実被害に至らなかった理由】（複数回答）



マルチ商法により勧誘されたが実被害に至らなかった人（261人）の理由は、「その商法の手口を知っていたから」が68.2%で最も高く、次いで「よく考えて慎重に対応したから」が60.2%、「インターネット等で調べたから」が27.2%、「家族や知人に相談したから」が20.7%、「消費生活センターに相談したから」が1.5%となっている。

「その他」の具体的な内容は、「無視した・何もしなかった」、「悪質商法に気付いた・知っていたから」などが挙げられた。

II. 調査結果

【マルチ商法により勧誘されたが実被害に至らなかった理由（性・年齢別、職業別）】

（複数回答）

		(%)					
		い その た か ら	た よ く 考 え て 慎 重 に 対 応 し た か ら	た イ ン タ ー ネ ッ ト 等 で 調 べ た か ら	ら 家 族 や 知 人 に 相 談 し た か ら	消 費 生 活 セ ン タ ー に 相 談 し た か ら	そ の 他
n							
[ 全 体 ]	( 261 )	68.2	60.2	27.2	20.7	1.5	3.8
[ 性・年齢別 ]							
男 性	( 136 )	69.9	57.4	28.7	19.9	2.2	2.9
18 ~ 21 歳	( 27 )	74.1	40.7	22.2	18.5	-	3.7
22 ~ 25 歳	( 52 )	67.3	57.7	38.5	25.0	3.8	5.8
26 ~ 29 歳	( 57 )	70.2	64.9	22.8	15.8	1.8	-
女 性	( 125 )	66.4	63.2	25.6	21.6	0.8	4.8
18 ~ 21 歳	( 17 )	64.7	35.3	29.4	5.9	5.9	11.8
22 ~ 25 歳	( 47 )	70.2	72.3	34.0	29.8	-	-
26 ~ 29 歳	( 61 )	63.9	63.9	18.0	19.7	-	6.6
[ 職 業 別 ]							
フルタイム労働者	( 134 )	68.7	59.0	29.9	16.4	3.0	3.0
パート、アルバイト	( 28 )	67.9	78.6	32.1	25.0	-	3.6
専業主婦(主夫)	( 24 )	62.5	70.8	-	33.3	-	4.2
学 生	( 54 )	77.8	48.1	27.8	20.4	-	5.6
高 校 生	( 3 )	33.3	33.3	-	-	-	33.3
無 職	( 18 )	50.0	66.7	38.9	33.3	-	-

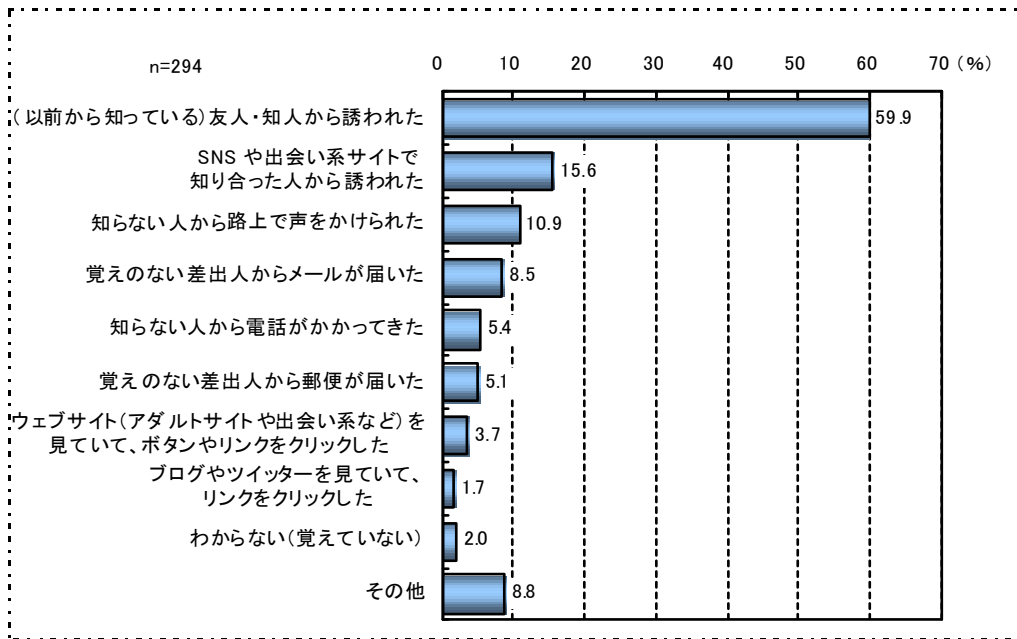
注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、男性のすべての年代と女性 18~21 歳と 26~29 歳で「その商法の手口を知っていたから」が 1 位となっており、男性 18~21 歳が 74.1%で最も高くなっている。「よく考えて慎重に対応したから」は、女性 22~25 歳と女性 26~29 歳で 1 位となっている。「インターネット等で調べたから」は男女ともに 22~25 歳で 3 割台となっている。

職業別にみると、フルタイム労働者、学生、高校生で「その商法の手口を知っていたから」が、パート、アルバイト、専業主婦（主夫）、高校生、無職で「よく考えて慎重に対応したから」がそれぞれ 1 位となっている。

⑨ 「マルチ商法」の相手先からの最初のアプローチ方法

【マルチ商法の相手先からの最初のアプローチ方法】（複数回答）



マルチ商法により勧誘され被害にあった人及び勧誘されたが実被害に至らなかった人（294人）がアプローチされた方法は、「(以前から知っている)友人・知人から誘われた」が 59.9%で最も高く、次いで「SNS や出会い系サイトで知り合った人から誘われた」が 15.6%、「知らない人から路上で声をかけられた」が 10.9%、「覚えのない差出人からメールが届いた」が 8.5%となっている。

II. 調査結果

【マルチ商法の相手先からの最初のアプローチ方法（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)									
	n	友人・知人から知っている （以前から知っている）	SNSや出会い系サイトで知り合った人から誘われた	知らない人から路上で声をかけられた	覚えのない差出人からメールが届いた	知らない人から電話がかかってきた	覚えのない差出人から郵便が届いた	ウェブサイトで出会い系などを見たりして、ボタンやリンクをクリックした	ブログやツイッターを見て、リンクをクリックした	わからない（覚えていない）	その他
[ 全 体 ]	(294)	59.9	15.6	10.9	8.5	5.4	5.1	3.7	1.7	2.0	8.8
[ 性・年齢別 ]											
男 性	(156)	54.5	17.9	7.1	8.3	8.3	7.1	5.1	1.3	1.9	9.0
18 ~ 21 歳	(32)	50.0	31.3	12.5	3.1	6.3	3.1	-	-	-	9.4
22 ~ 25 歳	(62)	53.2	14.5	4.8	8.1	8.1	8.1	8.1	3.2	1.6	11.3
26 ~ 29 歳	(62)	58.1	14.5	6.5	11.3	9.7	8.1	4.8	-	3.2	6.5
女 性	(138)	65.9	13.0	15.2	8.7	2.2	2.9	2.2	2.2	2.2	8.7
18 ~ 21 歳	(19)	47.4	21.1	21.1	26.3	10.5	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3
22 ~ 25 歳	(56)	76.8	12.5	8.9	5.4	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8	8.9
26 ~ 29 歳	(63)	61.9	11.1	19.0	6.3	-	1.6	-	-	1.6	9.5
[ 職 業 別 ]											
フルタイム労働者	(144)	63.2	15.3	9.0	8.3	6.3	6.3	2.8	0.7	1.4	8.3
パート、アルバイト	(35)	77.1	11.4	5.7	2.9	-	-	2.9	5.7	2.9	5.7
専業主婦（主夫）	(25)	72.0	12.0	12.0	4.0	-	-	-	-	-	8.0
学 生	(65)	49.2	21.5	15.4	10.8	7.7	7.7	6.2	1.5	-	10.8
高 校 生	(3)	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-
無 職	(22)	31.8	9.1	18.2	18.2	9.1	4.5	9.1	-	9.1	13.6

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「(以前から知っている)友人・知人から誘われた」が1位となっており、女性22~25歳が76.8%で最も高くなっている。「SNSや出会い系サイトで知り合った人から誘われた」は、男女ともに18~21歳が22~25歳、26~29歳より高くなっている。また、「知らない人から路上で声をかけられた」は、女性(15.2%)が男性(7.1%)を8.1ポイント上回り、性別による差がみられる。

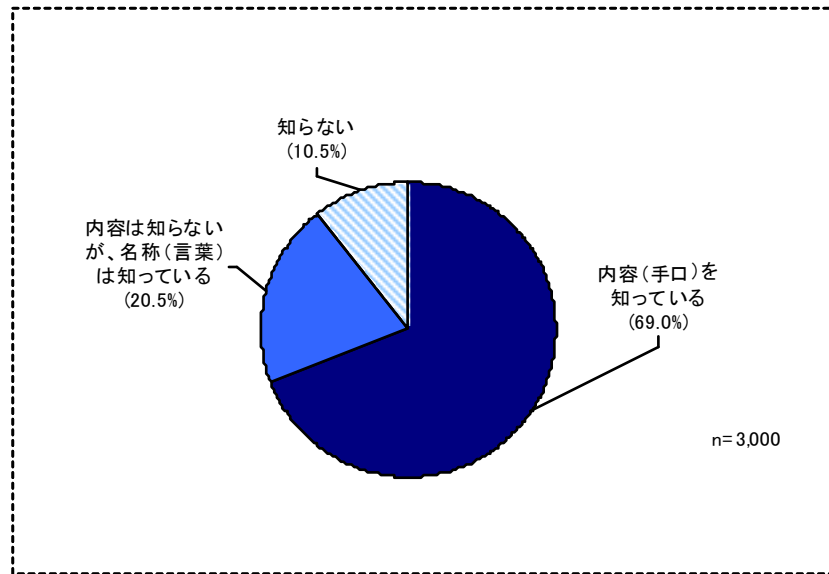
職業別にみると、すべての区分で「(以前から知っている)友人・知人から誘われた」が1位となっており、パート、アルバイトが77.1%で最も高くなっている。「SNSや出会い系サイトで知り合った人から誘われた」は学生(21.5%)、高校生(33.3%)が他の区分より高くなっている。



(4) 悪質商法の被害等の経験（キャッチセールス）

① 「キャッチセールス」の認知

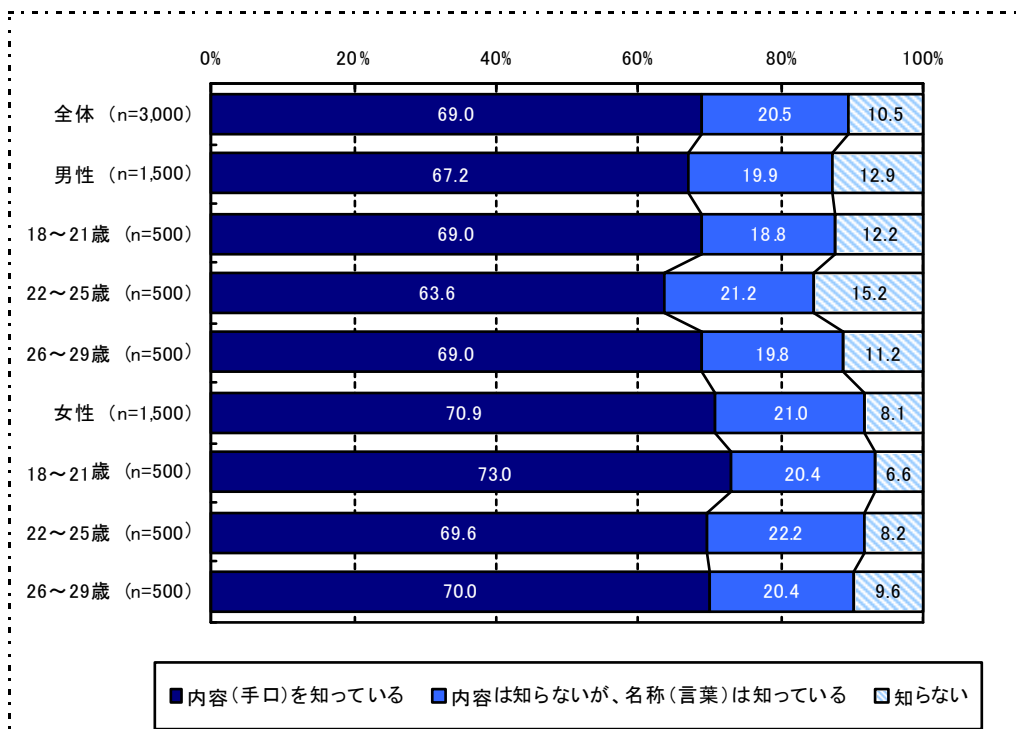
【キャッチセールスの認知】



キャッチセールスの認知は、「内容（手口）を知っている」が 69.0%、「内容は知らないが、名称（言葉）は知っている」が 20.5%、「知らない」が 10.5%となっている。

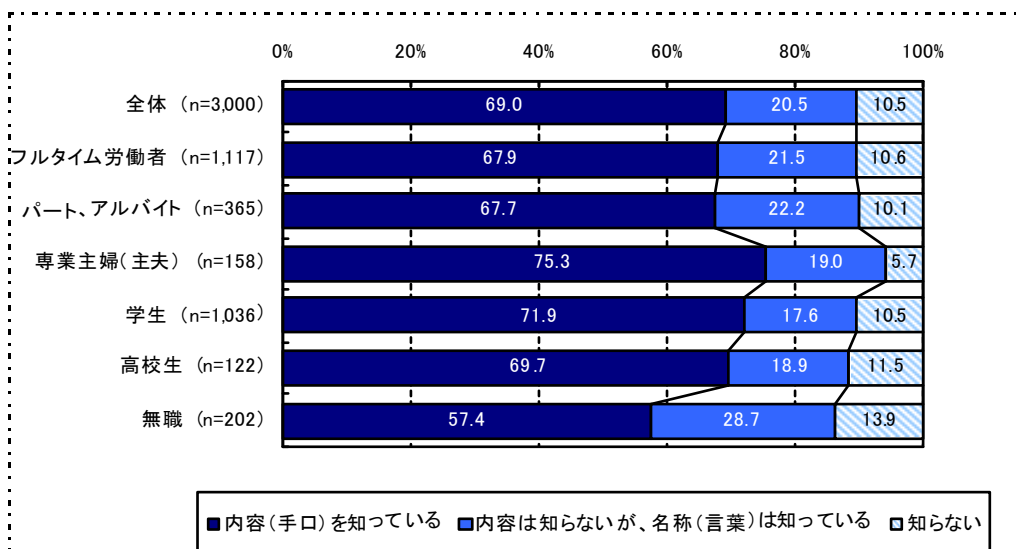
II. 調査結果

【キャッチセールスの認知（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「内容（手口）を知っている」は、女性 18～21 歳が 73.0%で最も高く、次いで女性 26～29 歳が 70.0%、女性 22～25 歳が 69.6%となっている。また、「知らない」は、男性 18～21 歳（12.2%）、男性 22～25 歳（15.2%）、男性 26～29 歳（11.2%）で 1 割を超えている。

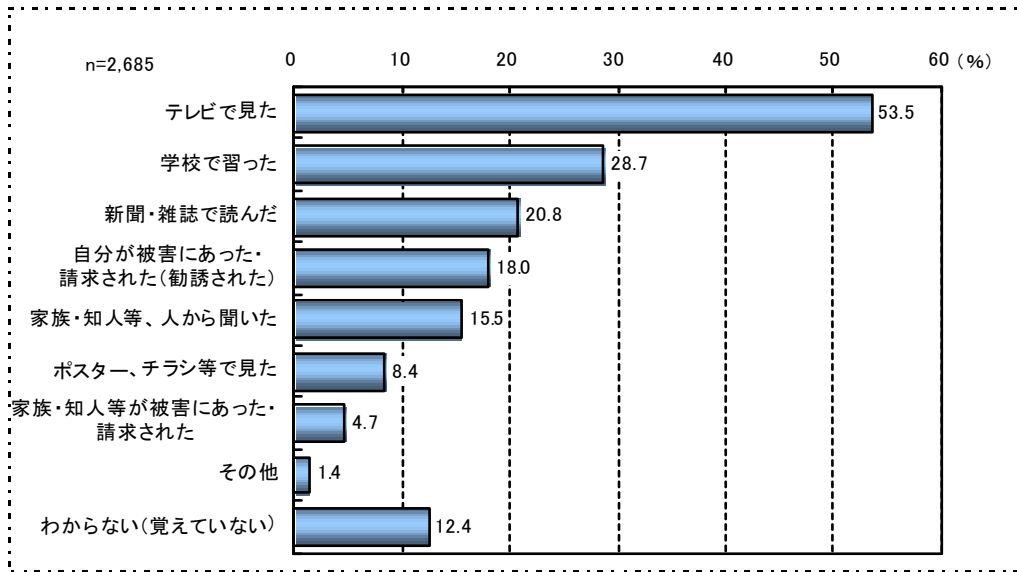
【キャッチセールスの認知（職業別）】



職業別にみると、「内容（手口）を知っている」は、専業主婦（主夫）が 75.3%で最も高く、次いで学生が 71.9%、高校生が 69.7%となっている。また、無職では 57.4%と他の区分より認知は低くなっている。「知らない」は、専業主婦（主夫）以外の区分で 1 割を超えている。

② 「キャッチセールス請求」の認知経路

【キャッチセールスの認知経路】(複数回答)



キャッチセールスという悪質商法を認知している人(2,685人)の認知経路は、「テレビで見た」が53.5%で最も高く、次いで「学校で習った」が28.7%、「新聞・雑誌で読んだ」が20.8%、「自分が被害にあった・請求された(勧誘された)」が18.0%、「家族・知人等、人から聞いた」が15.5%となっている。

II. 調査結果

【キャッチセールスの認知経路（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)								
		テレビで見た	学校で習った	新聞・雑誌で読んだ	自分が被害にあった・請求された（勧誘された）	家族・知人等、人から聞いた	ポスター、チラシ等を見た	家族・知人等が被害にあつた・請求された（勧誘された）	その他	わからない（覚えていない）
[ 全体 ]	n (2,685)	53.5	28.7	20.8	18.0	15.5	8.4	4.7	1.4	12.4
[ 性・年齢別 ]										
男	性 (1,307)	55.6	23.9	26.8	15.7	13.8	10.6	4.7	2.1	13.7
18 ~ 21 歳	(439)	54.4	41.0	20.3	14.4	13.9	13.9	3.2	1.4	10.9
22 ~ 25 歳	(424)	56.8	20.8	30.7	17.2	14.6	8.7	6.1	3.1	14.2
26 ~ 29 歳	(444)	55.6	9.9	29.5	15.5	13.1	9.0	4.7	2.0	16.0
女	性 (1,378)	51.5	33.3	15.2	20.2	17.0	6.4	4.6	0.7	11.2
18 ~ 21 歳	(467)	42.8	55.2	13.1	11.1	16.7	6.0	2.8	0.4	9.9
22 ~ 25 歳	(459)	56.9	29.0	16.3	21.4	17.4	8.1	5.0	0.4	11.8
26 ~ 29 歳	(452)	55.1	15.0	16.2	28.3	16.8	5.1	6.2	1.1	11.9
[ 職業別 ]										
フルタイム労働者	(999)	55.0	17.1	25.8	19.9	15.9	8.7	6.2	1.4	12.5
パート、アルバイト	(328)	60.7	18.3	17.1	19.5	14.0	7.9	2.7	1.2	14.9
専業主婦（主夫）	(149)	68.5	18.1	9.4	28.2	16.8	4.7	2.0	1.3	8.7
学 生	(927)	48.4	43.6	20.2	14.7	16.5	9.5	4.6	1.1	10.8
高 校 生	(108)	48.1	60.2	13.9	10.2	15.7	11.1	0.9	1.9	6.5
無 職	(174)	49.4	25.3	16.7	17.8	8.6	3.4	4.0	2.9	22.4

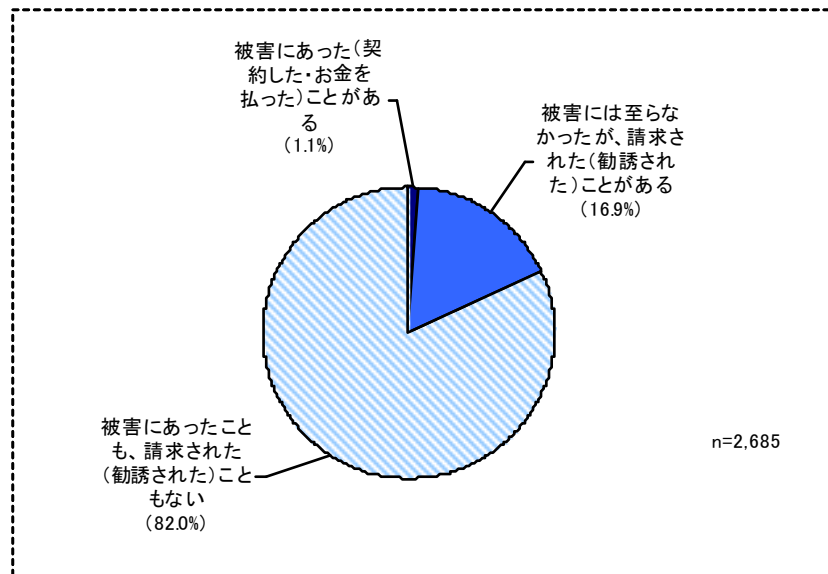
注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、女性 18～21 歳を除いたすべての年代で「テレビで見た」が 1 位となっており、女性 22～25 歳が 56.9% で最も高くなっている。「学校で習った」は、女性 18～21 歳が 55.2% で最も高く、女性（33.3%）が男性（23.9%）を 9.4 ポイント上回り、性別による差がみられる。「新聞・雑誌で読んだ」は男性（26.8%）が女性（15.2%）を 11.6 ポイント上回り、性別による差がみられる。また、「自分が被害にあった・請求された（勧誘された）」は、男性のすべての年代と、女性 18～21 歳で 1 割台となっているが、女性 22～25 歳と女性 26～29 歳では 2 割台となっている。

職業別にみると、高校生以外の区分で「テレビで見た」が 1 位となっており、専業主婦（主夫）が 68.5% で最も高くなっている。高校生は「学校で習った」が 1 位となっており、高校生（60.2%）、学生（43.6%）は「学校で習った」が他の区分より高くなっている。「新聞・雑誌で読んだ」はフルタイム労働者（25.8%）と学生（20.2%）が 2 割台で他の区分より高くなっている。

③ 「キャッチセールス」による被害経験

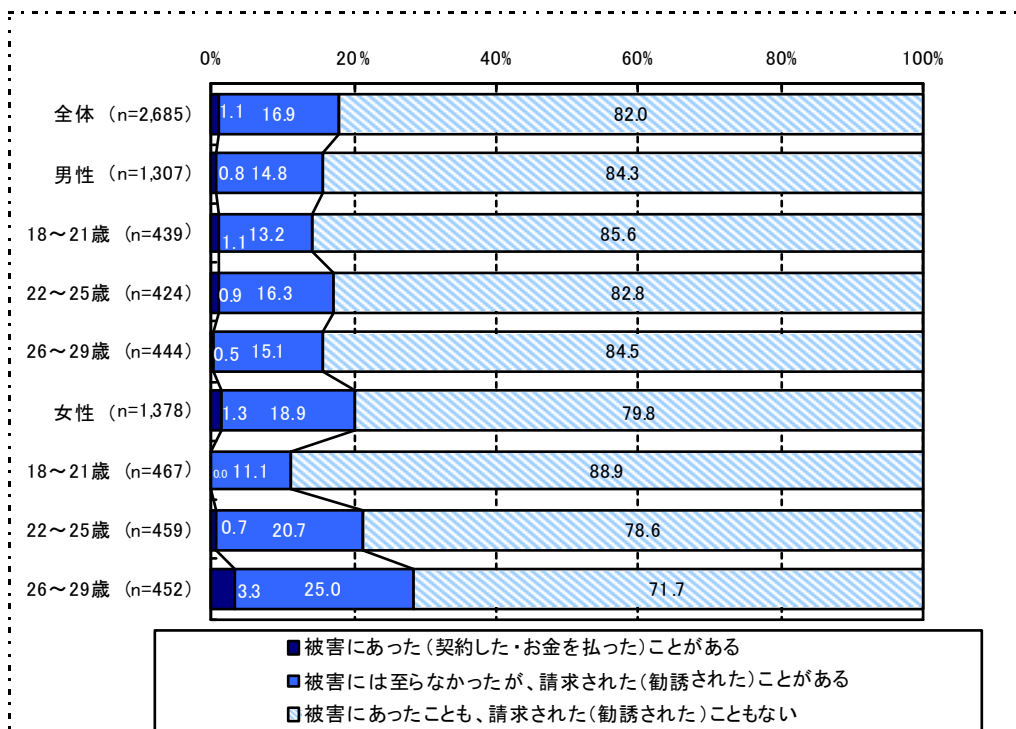
【キャッチセールスによる被害経験】



キャッチセールスによる被害経験は、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」が 1.1%、「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」が 16.9%、「被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない」が 82.0%となっており、被害経験のある人は 29 人であった。

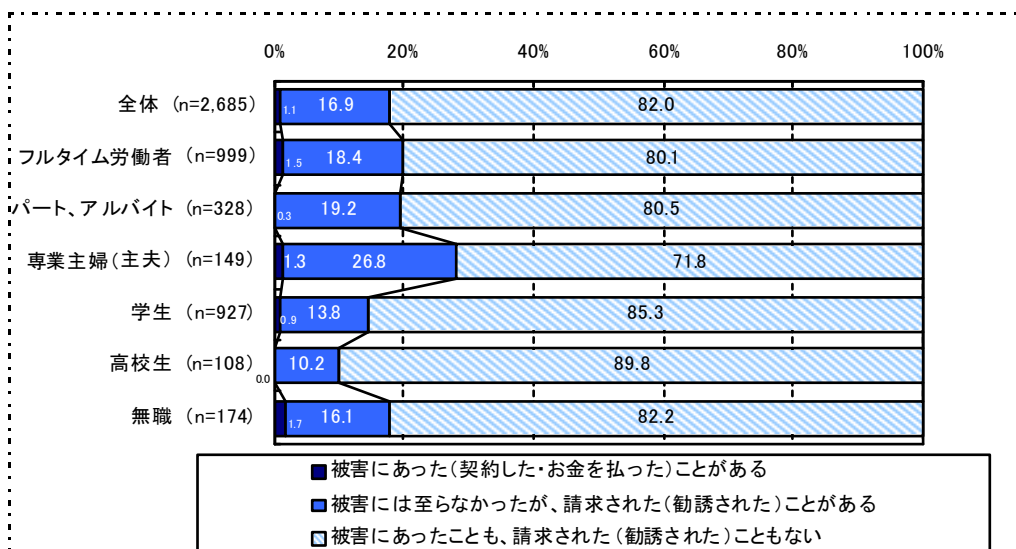
II. 調査結果

【キャッチセールスによる被害経験（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、女性 26～29 歳が 3.3% で最も高く、次いで男性 18～21 歳が 1.1% となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、男性のすべての年代と女性 18～21 歳で 1 割台だが、女性 22～25 歳と女性 26～29 歳では 2 割台となっている。

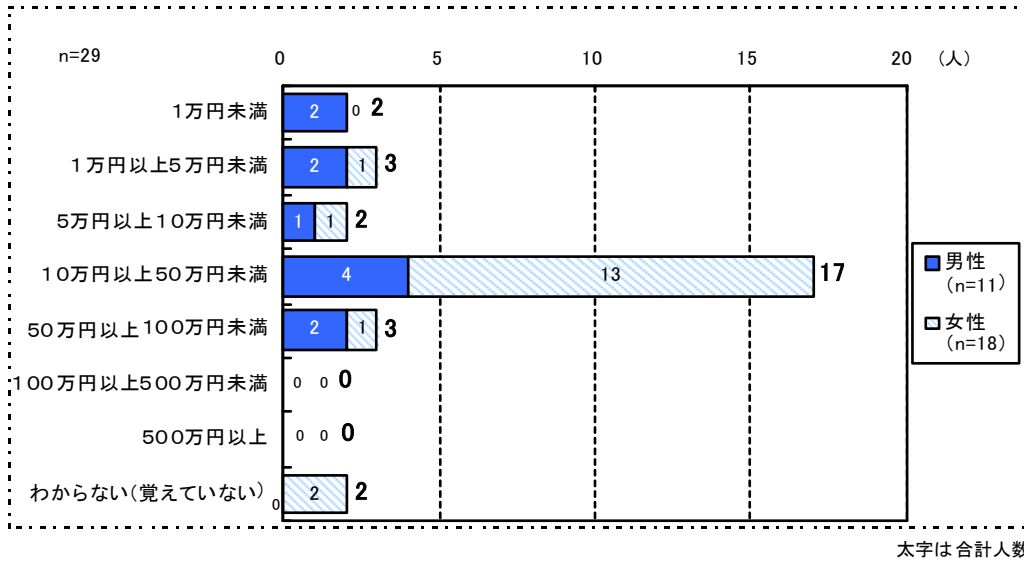
【キャッチセールスによる被害経験（職業別）】



職業別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、無職が 1.7% で最も高く、次いでフルタイム労働者が 1.5%、専業主婦（主夫）が 1.3% となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、専業主婦（主夫）で 2 割台となっている。

④ 「キャッチセールス」による被害金額

【キャッチセールスによる被害金額（男女別人数）】



キャッチセールスによる被害経験者 29 人（男性 11 人、女性 18 人）の被害金額は、「10 万円以上 50 万円未満」が 17 人（男性 4 人、女性 13 人）で最も多く、次いで「1 万円以上 5 万円未満」と「50 万円以上 100 万円未満」がともに 3 人（ともに男性 2 人、女性 1 人）、「1 万円未満」と「5 万円以上 10 万円未満」がともに 2 人（それぞれ男性 2 人、男性 1 人、女性 1 人）となっており、10 万円以上の高額被害は 20 人（男性 6 人、女性 14 人）となっている。

II. 調査結果

【キャッチセールスによる被害金額（性・年齢別人数）】

		(人)							
		1 万 円 未 満	1 5 万 円 以 上 未 満	5 1 万 0 円 以 上 未 満	1 5 0 万 円 以 上 未 満	5 1 0 万 0 円 以 上 未 満	1 5 0 万 0 円 以 上 未 満	5 0 0 万 円 以 上	わ か ら な い （ 覚 え て い な い ）
		n							
[ 全 体 ]	( 29 )	2	3	2	17	3	-	-	2
[ 性・年齢別 ]									
男 性	( 11 )	2	2	1	4	2	-	-	-
18 ~ 21 歳	( 5 )	-	1	1	2	1	-	-	-
22 ~ 25 歳	( 4 )	2	-	-	2	-	-	-	-
26 ~ 29 歳	( 2 )	-	1	-	-	1	-	-	-
女 性	( 18 )	-	1	1	13	1	-	-	2
18 ~ 21 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 ~ 25 歳	( 3 )	-	1	-	2	-	-	-	-
26 ~ 29 歳	( 15 )	-	-	1	11	1	-	-	2

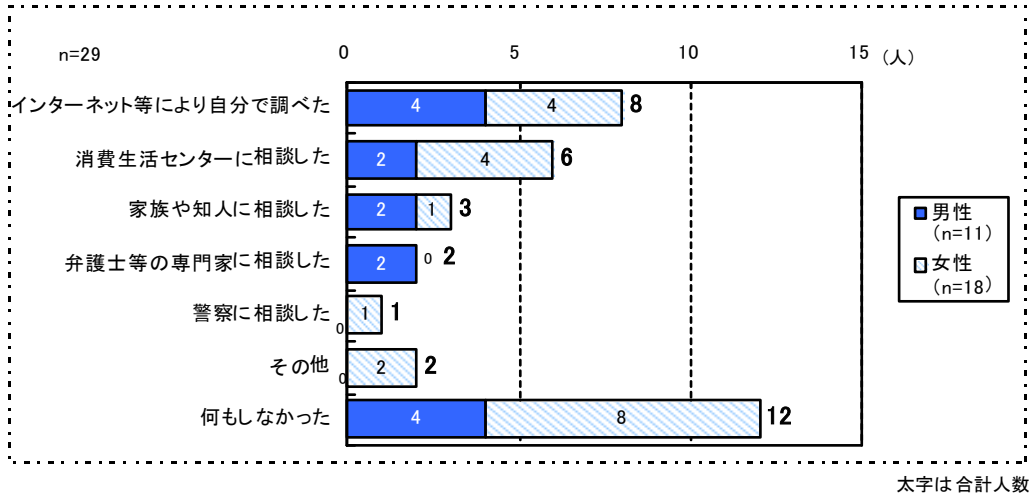
注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

性・年齢別にみると、10万円以上の高額な被害は、「10万円以上 50万円未満」は男性では、18～21歳が2人、22～25歳が2人、女性では、22～25歳が2人、26～29歳が11人で最も多く、「50万円以上 100万円未満」は男性では、18～21歳と26～29歳がともに1人、女性では、26～29歳が1人となっている。



⑤ 「キャッチセールス」による被害後の行動

【キャッチセールスによる被害後の行動（男女別人数）】（複数回答）



キャッチセールスによる被害経験者 29 人（男性 11 人、女性 18 人）の被害後の行動は、「何もしなかった」12 人（男性 4 人、女性 8 人）で最も多くなっている。具体的な行動では、「インターネット等により自分で調べた」が 8 人（男女とも 4 人）、「消費生活センターに相談した」が 6 人（男性 2 人、女性 4 人）、「家族や知人に相談した」が 3 人（男性 2 人、女性 1 人）、「弁護士等の専門家に相談した」が男性 2 人となっている。

## II. 調査結果

### 【キャッチセールスによる被害後の行動（性・年齢別人数）】（複数回答）

(人)

	n	インターネット等により自分で調べた	消費生活センターに相談した	家族や知人に相談した	弁護士等の専門家に相談した	警察に相談した	その他	何もしなかった
[ 全 体 ]	( 29 )	8	6	3	2	1	2	12
[ 性・年齢別 ]								
男 性	( 11 )	4	2	2	2	-	-	4
18 ~ 21 歳	( 5 )	1	1	-	2	-	-	2
22 ~ 25 歳	( 4 )	2	1	-	-	-	-	2
26 ~ 29 歳	( 2 )	1	-	2	-	-	-	-
女 性	( 18 )	4	4	1	-	1	2	8
18 ~ 21 歳	-	-	-	-	-	-	-	-
22 ~ 25 歳	( 3 )	1	1	-	-	-	-	1
26 ~ 29 歳	( 15 )	3	3	1	-	1	2	7

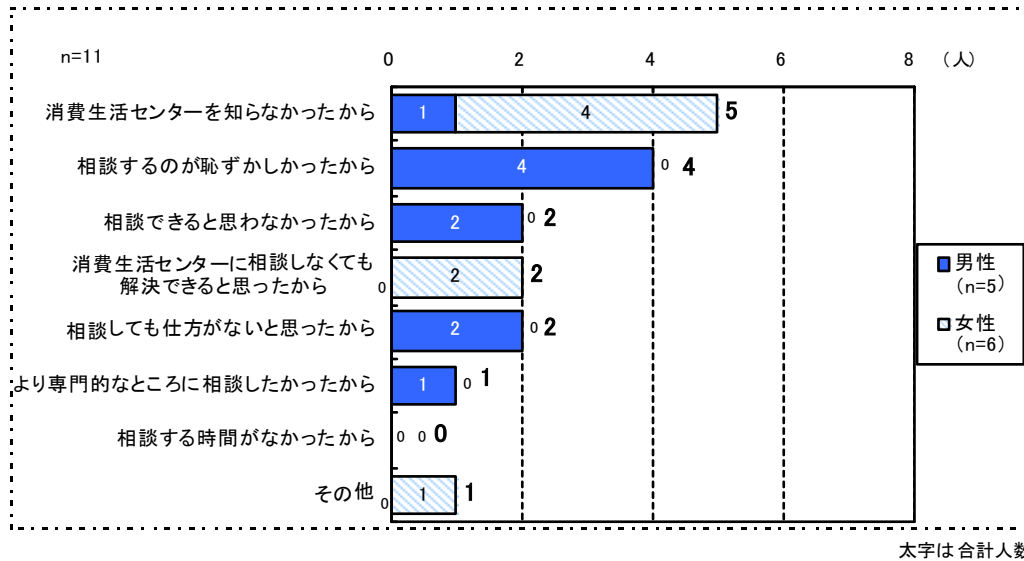
注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

性・年齢別にみると、「インターネット等により自分で調べた」は、男性 22～25 歳が 2 人、女性 26～29 歳が 3 人、「消費生活センターに相談した」は、女性 26～29 歳が 3 人、「家族や知人に相談した」は、男性 26～29 歳が 2 人、「弁護士等の専門家に相談した」は、男性 18～21 歳が 2 人でそれぞれ多くなっている。

⑥ 「キャッチセールス」による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由

【キャッチセールスによる被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由（男女別人数）】

（複数回答）

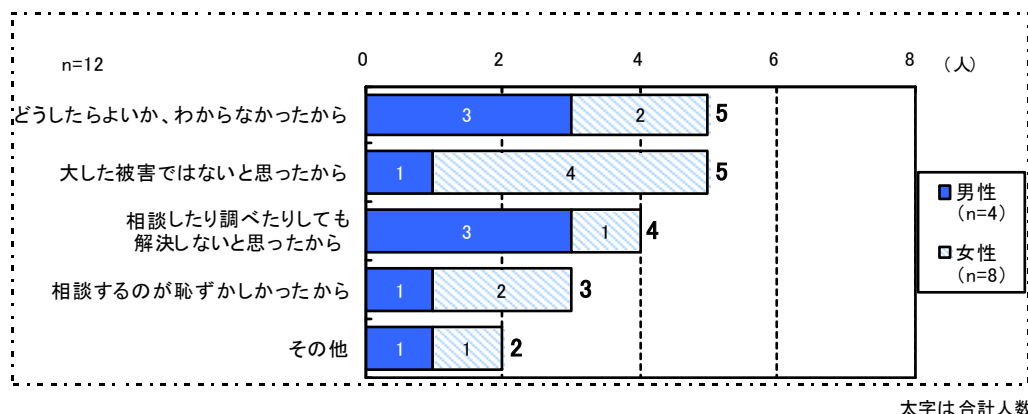


キャッチセールスによる被害経験者のうち被害時に消費生活センターへ相談しなかった 11 人の理由は、「消費生活センターを知らなかったから」が 5 人（男性 1 人、女性 4 人）で最も多く、次いで「相談するのが恥ずかしかったから」が男性 4 人、「相談できると思わなかったから」、「消費生活センターに相談しなくても解決できると思ったから」、「相談しても仕方がないと思ったから」がそれぞれ 2 人（それぞれ女性 2 人、男性 2 人）となっている。

II. 調査結果

⑦ 「キャッチセールス」による被害時に何もしなかった理由

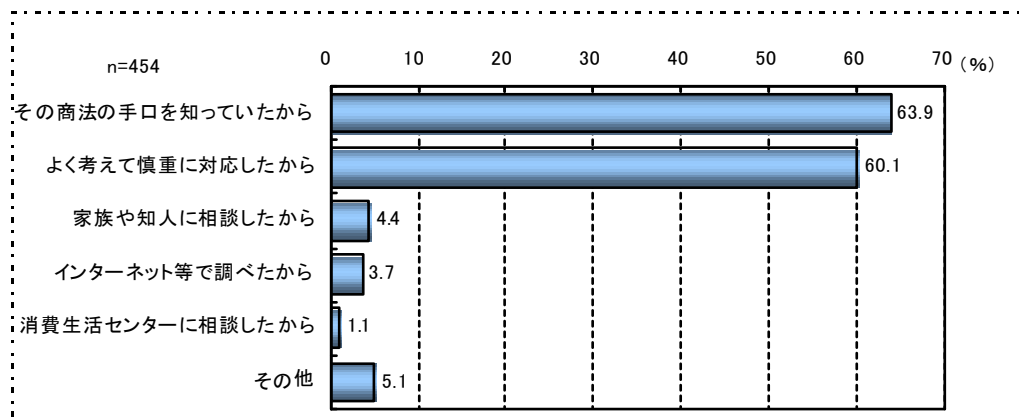
【キャッチセールスによる被害時に何もしなかった理由（男女別人数）】（複数回答）



キャッチセールスによる被害経験者のうち被害時に何もしなかった 12 人の理由は、「どうしたらよいか、わからなかったから」と「大した被害ではないと思ったから」がともに 5 人（それぞれ男性 3 人、女性 2 人、男性 1 人、女性 4 人）で最も多く、次いで「相談したり調べたりしても解決しないと思ったから」が 4 人（男性 3 人、女性 1 人）、「相談するのが恥ずかしかったから」が 3 人（男性 1 人、女性 2 人）となっている。

⑧ 「キャッチセールス」により請求されたが実被害に至らなかった理由

【キャッチセールスにより請求されたが実被害に至らなかった理由】（複数回答）



キャッチセールスにより請求されたが実被害に至らなかった人（454 人）の理由は、「その商法の手口を知っていたから」が 63.9%で最も高く、次いで「よく考えて慎重に対応したから」が 60.1%、「家族や知人に相談したから」が 4.4%、「インターネット等で調べたから」が 3.7%、「消費生活センターに相談したから」が 1.1%となっている。

「その他」の具体的な内容は、「無視した・何もしなかった」、「断った・興味がなかった」、「逃げた」などが挙げられた。

【キャッチセールスにより請求されたが実被害に至らなかった理由（性・年齢別、職業別）】  
（複数回答）

(%)

		い そ た か ら	た よ く 考 え て 慎 重 に 対 応 し た	ら 家 族 や 知 人 に 相 談 し た	た イ ン タ ー ネ ッ ト 等 で 調 べ た	消 費 生 活 セ ン タ ー に 相 談 し た	そ の 他
n							
[ 全 体 ]	( 454 )	63.9	60.1	4.4	3.7	1.1	5.1
[ 性・年齢別 ]							
男 性	( 194 )	66.0	60.8	4.6	4.1	1.0	5.2
18 ~ 21 歳	( 58 )	72.4	58.6	6.9	3.4	-	3.4
22 ~ 25 歳	( 69 )	68.1	62.3	2.9	2.9	-	4.3
26 ~ 29 歳	( 67 )	58.2	61.2	4.5	6.0	3.0	7.5
女 性	( 260 )	62.3	59.6	4.2	3.5	1.2	5.0
18 ~ 21 歳	( 52 )	67.3	57.7	1.9	-	1.9	7.7
22 ~ 25 歳	( 95 )	64.2	61.1	4.2	4.2	1.1	3.2
26 ~ 29 歳	( 113 )	58.4	59.3	5.3	4.4	0.9	5.3
[ 職 業 別 ]							
フルタイム労働者	( 184 )	58.7	63.6	4.9	4.9	1.1	5.4
パート、アルバイト	( 63 )	68.3	55.6	4.8	4.8	-	3.2
専業主婦(主夫)	( 40 )	60.0	57.5	2.5	2.5	2.5	2.5
学 生	( 128 )	71.9	59.4	3.9	2.3	0.8	3.9
高 校 生	( 11 )	63.6	45.5	9.1	-	-	27.3
無 職	( 28 )	57.1	60.7	3.6	3.6	3.6	7.1

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、男女ともに18~21歳、22~25歳の年代で「その商法の手口を知っていたから」が1位となっており、男性18~21歳が72.4%で最も高くなっている。男女ともに26~29歳で「よく考えて慎重に対応したから」が1位となっており、男性22~25歳、男性26~29歳、女性22~25歳では6割台となっている。

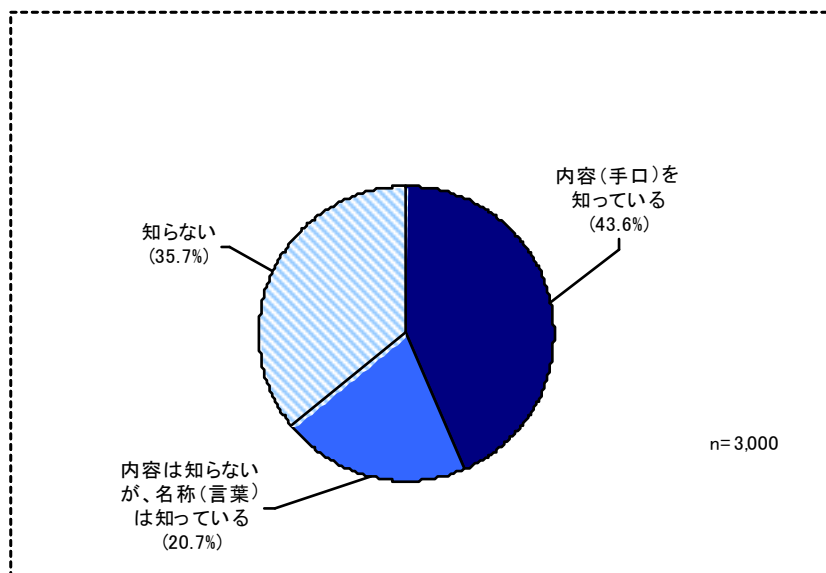
職業別にみると、パート、アルバイト、専業主婦(主夫)、学生、高校生で「その商法の手口を知っていたから」が1位となっており、学生が71.9%で最も高くなっている。フルタイム労働者と無職は「よく考えて慎重に対応したから」が6割台で他の区分より高くなっている。

## II. 調査結果

### (5) 悪質商法の被害等の経験（デート商法）

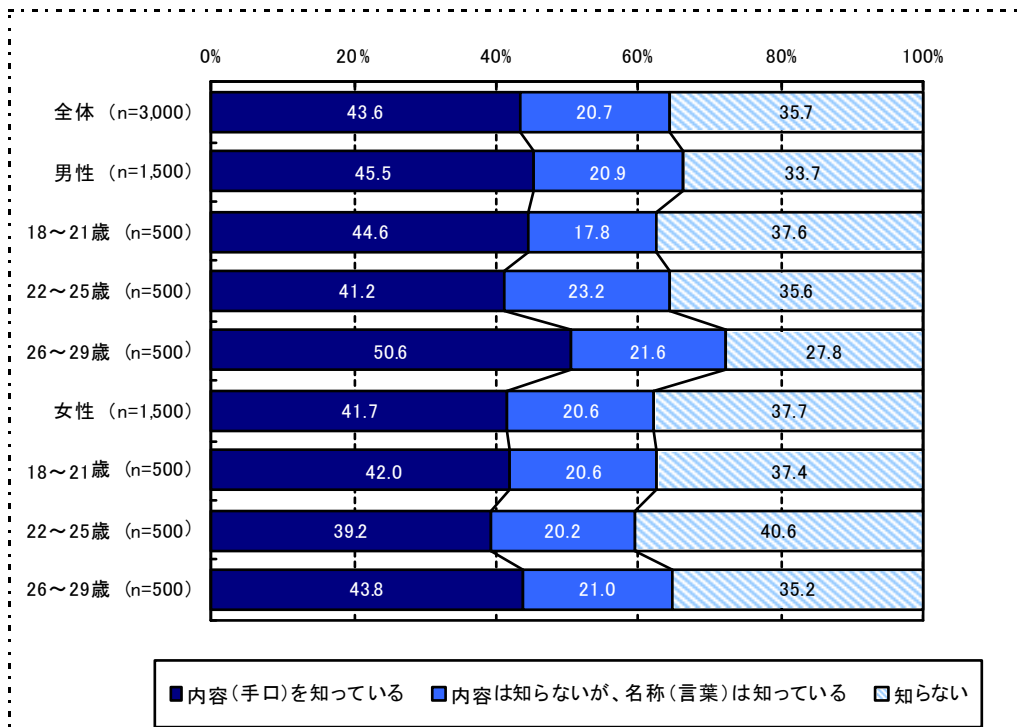
#### ① 「デート商法」の認知

【デート商法の認知】



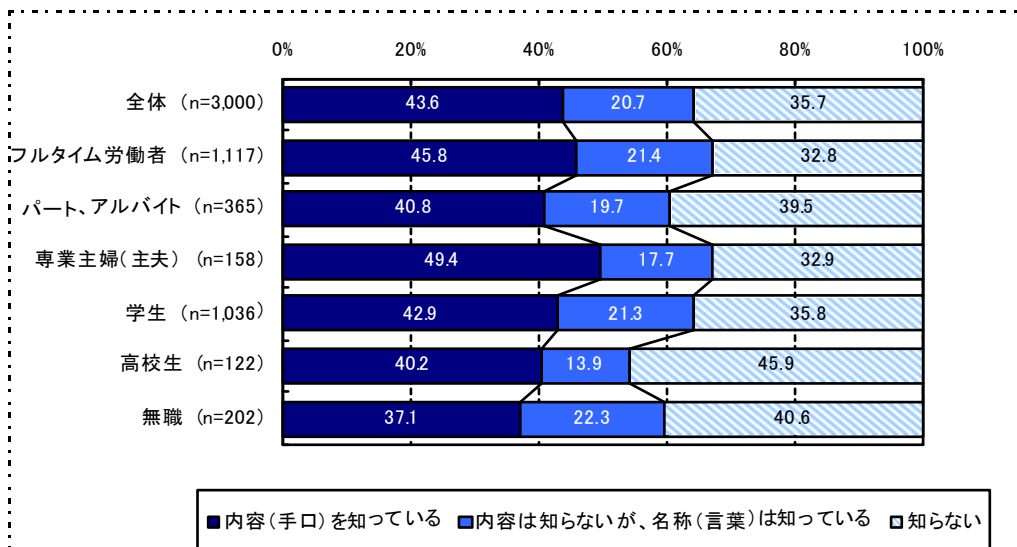
デート商法の認知は、「内容（手口）を知っている」が 43.6%、「内容は知らないが、名称（言葉）は知っている」が 20.7%、「知らない」が 35.7%となっている。

【デート商法の認知（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「内容（手口）を知っている」は、男性 26～29 歳が 50.6%で最も高く、次いで男性 18～21 歳が 44.6%、女性 26～29 歳が 43.8%となっている。また、「知らない」は、すべての年代で 2 割台半ば以上となっており、女性 22～25 歳（40.6%）で 4 割を超えている。

【デート商法の認知（職業別）】

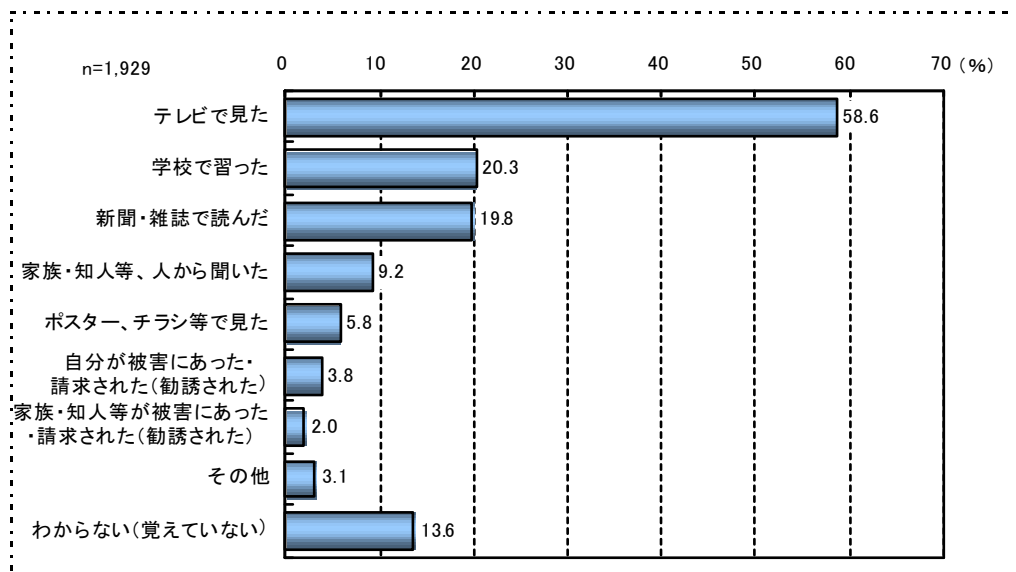


職業別にみると、「内容（手口）を知っている」は、専業主婦（主夫）が 49.4%で最も高く、次いでフルタイム労働者が 45.8%、学生が 42.9%、パート、アルバイトが 40.8%、高校生が 40.2%となっている。また、「知らない」は、すべての区分で 3 割を超え、高校生（45.9%）、無職（40.6%）では 4 割を超えている。

## II. 調査結果

### ② 「デート商法」の認知経路

【デート商法の認知経路】（複数回答）



デート商法という悪質商法を認知している人（1,929人）の認知経路は、「テレビで見た」が58.6%で最も高く、次いで「学校で習った」が20.3%、「新聞・雑誌で読んだ」が19.8%、「家族・知人等、人から聞いた」が9.2%、「ポスター、チラシ等で見た」が5.8%となっている。



【デート商法の認知経路（性・年齢別、職業別）（複数回答）】

		(%)								
		テレビで見た	学校で習った	新聞・雑誌で読んだ	家族・知人等、人から聞いた	ポスター、チラシ等で見	自分が被害にあつた・請求された（勧誘された）	家族・知人等が被害にあつた・請求された（勧誘された）	その他	わからない（覚えていない）
n										
[ 全 体 ]	( 1,929 )	58.6	20.3	19.8	9.2	5.8	3.8	2.0	3.1	13.6
[ 性・年齢別 ]										
男	性 ( 995 )	55.8	16.2	24.9	9.9	7.1	5.1	2.0	3.9	14.8
	18 ~ 21 歳 ( 312 )	52.9	31.4	19.2	10.6	6.7	5.1	1.9	3.2	12.8
	22 ~ 25 歳 ( 322 )	56.2	14.6	28.9	9.6	7.1	4.3	1.9	4.7	14.9
	26 ~ 29 歳 ( 361 )	57.9	4.4	26.3	9.7	7.5	5.8	2.2	3.9	16.3
女	性 ( 934 )	61.6	24.6	14.3	8.4	4.3	2.4	2.0	2.1	12.3
	18 ~ 21 歳 ( 313 )	47.6	44.4	11.8	7.0	4.8	1.6	1.6	1.6	12.1
	22 ~ 25 歳 ( 297 )	67.3	20.2	17.2	9.1	4.0	4.0	2.0	2.7	10.8
	26 ~ 29 歳 ( 324 )	69.8	9.6	14.2	9.0	4.0	1.5	2.5	2.2	13.9
[ 職 業 別 ]										
	フルタイム労働者 ( 751 )	61.1	11.2	24.8	10.4	7.3	4.5	2.0	3.1	13.3
	パート、アルバイト ( 221 )	69.2	12.7	17.2	5.0	3.2	3.2	0.9	5.4	9.5
	専業主婦（主夫） ( 106 )	80.2	14.2	7.5	10.4	1.9	1.9	3.8	1.9	11.3
	学 生 ( 665 )	50.5	30.7	17.9	9.5	5.6	3.6	2.6	1.8	15.2
	高 校 生 ( 66 )	40.9	60.6	15.2	9.1	4.5	3.0	-	3.0	7.6
	無 職 ( 120 )	58.3	16.7	17.5	6.7	5.8	3.3	0.8	6.7	19.2

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

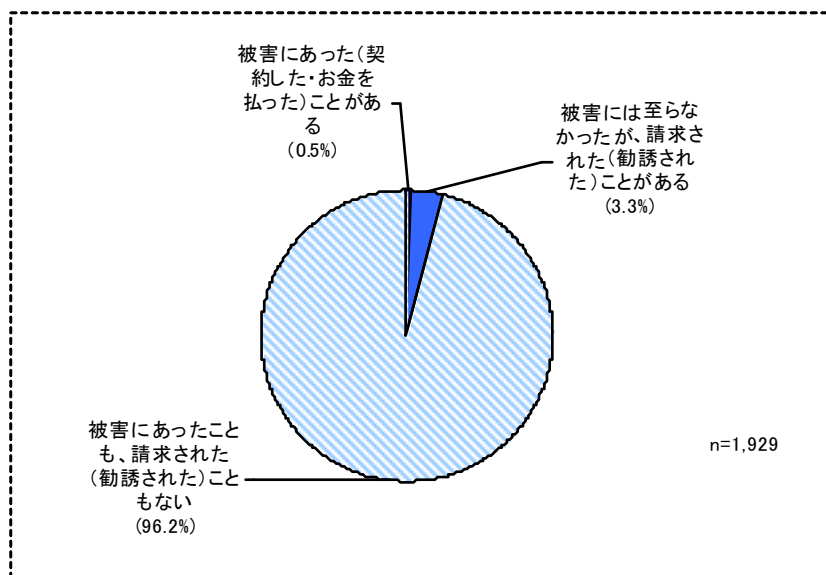
性・年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「テレビで見た」が1位となっており、女性26～29歳が69.8%で最も高くなっている。「学校で習った」は女性（24.6%）が男性（16.2%）を8.4ポイント上回り、「新聞・雑誌で読んだ」は男性（24.9%）が女性（14.3%）を10.6ポイント上回り、それぞれ性別による差がみられる。また、「学校で習った」は男女ともに年代が低いほど割合が高くなっている。

職業別にみると、高校生以外の区分では「テレビで見た」が1位となっており、専業主婦（主夫）が80.2%で最も高くなっている。高校生は「学校で習った」が1位となっており、高校生（60.6%）、学生（30.7%）は「学校で習った」が他の区分より高くなっている。

## II. 調査結果

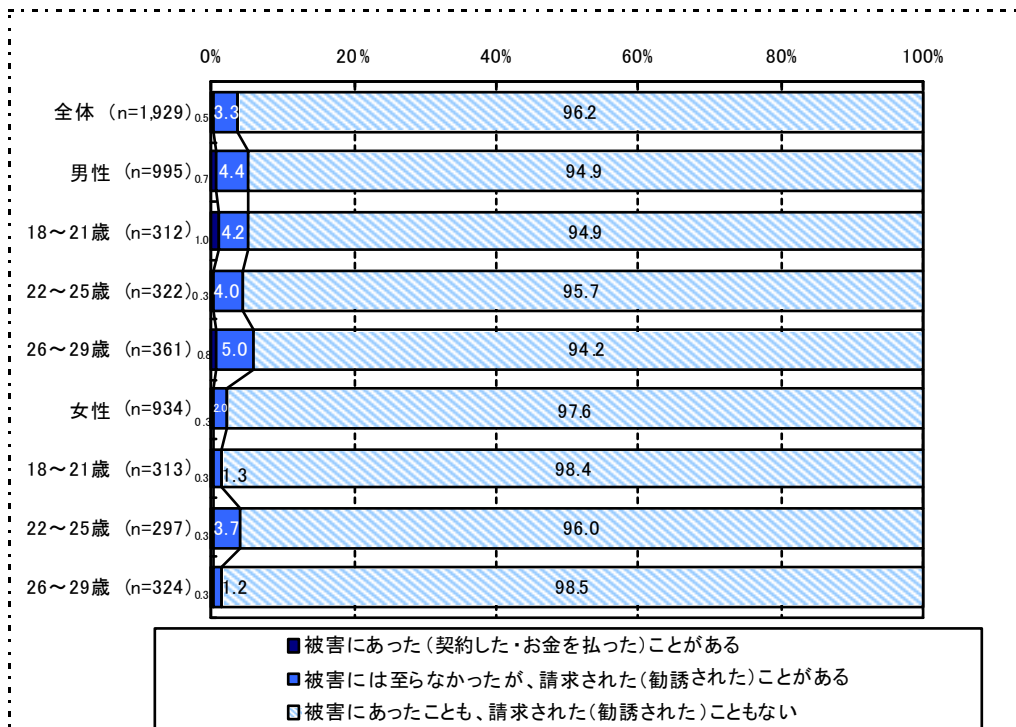
### ③ 「デート商法」による被害経験

【デート商法による被害経験】



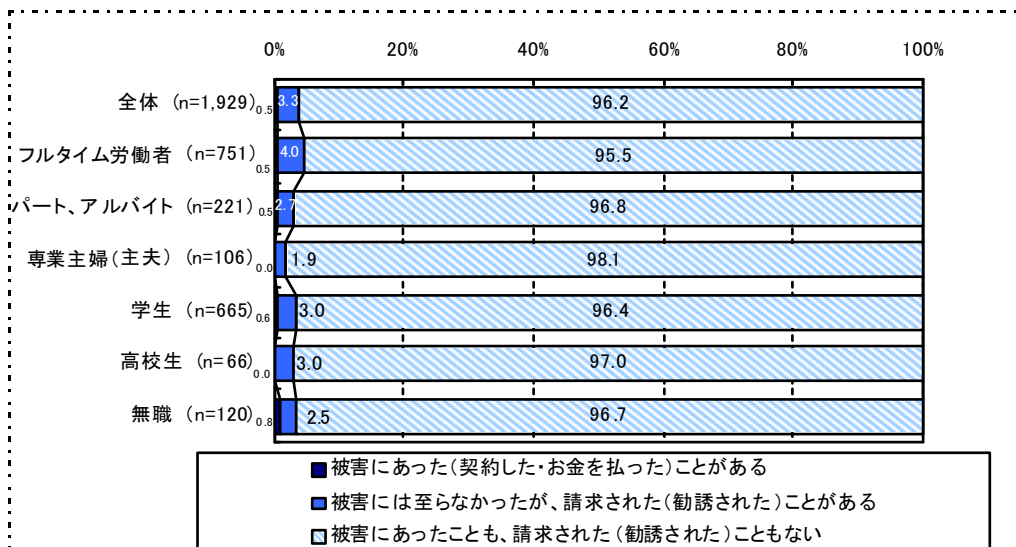
デート商法による被害経験は、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」が 0.5%、「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」が 3.3%、「被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない」が 96.2%となっており、被害経験のある人は 10 人であった。

【デート商法による被害経験（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、男性 18～21 歳が 1.0%で最も高くなっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、男女ともすべての年代で男性が女性より割合が高く、18～21 歳で 4.2%、1.3%、22～25 歳で 4.0%、3.7%、26～29 歳で 5.0%、1.2%となっている。

【デート商法による被害経験（職業別）】

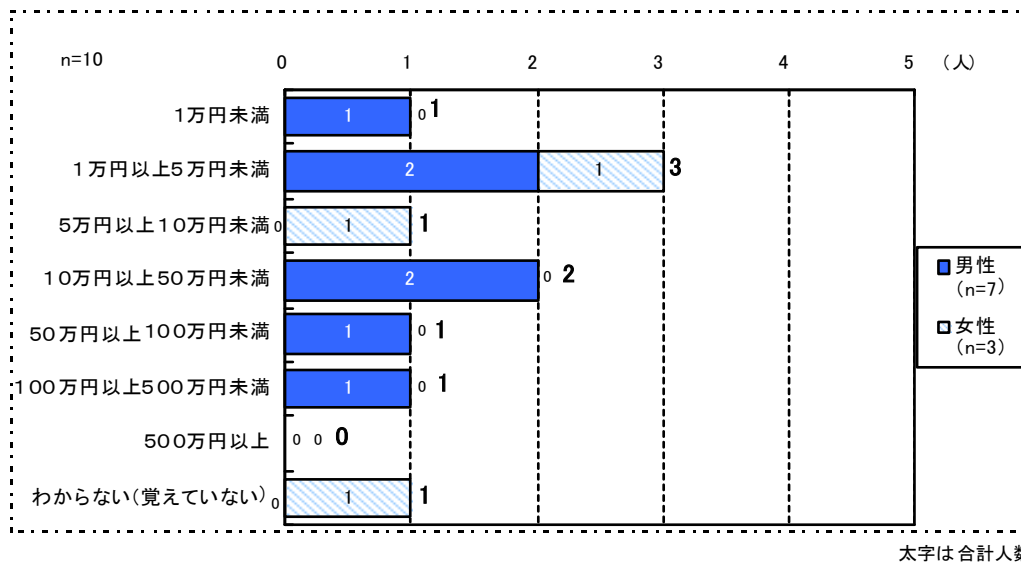


職業別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、すべての区分で 1%未満となっている（無職 0.8%で最も高い）。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、フルタイム労働者が 4.0%、学生と高校生がともに 3.0%となっている。

II. 調査結果

④ 「デート商法」による被害金額

【デート商法による被害金額（男女別人数）】



デート商法による被害経験者 10 人（男性 7 人、女性 3 人）の被害金額は、「1 万円以上 5 万円未満」が 3 人（男性 2 人、女性 1 人）で最も多く、次いで「10 万円以上 50 万円未満」が男性 2 人、「1 万円未満」、「5 万円以上 10 万円未満」、「50 万円以上 100 万円未満」、「100 万円以上 500 万円未満」がそれぞれ 1 人（それぞれ男性 1 人、女性 1 人、男性 1 人、男性 1 人）となっている。

被害実数は少ないが、10 万円以上の高額な被害は「10 万円以上 50 万円未満」、「50 万円以上 100 万円未満」、「100 万円以上 500 万円未満」の合計で男性 4 人となっている。

【デート商法による被害金額（性・年齢別人数）】

		(人)							
		1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上	わからない（覚えていない）
[全体]	n (10)	1	3	1	2	1	1	-	1
[性・年齢別]									
男性	(7)	1	2	-	2	1	1	-	-
18～21歳	(3)	1	1	-	1	-	-	-	-
22～25歳	(1)	-	-	-	1	-	-	-	-
26～29歳	(3)	-	1	-	-	1	1	-	-
女性	(3)	-	1	1	-	-	-	-	1
18～21歳	(1)	-	-	1	-	-	-	-	-
22～25歳	(1)	-	-	-	-	-	-	-	1
26～29歳	(1)	-	1	-	-	-	-	-	-

注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

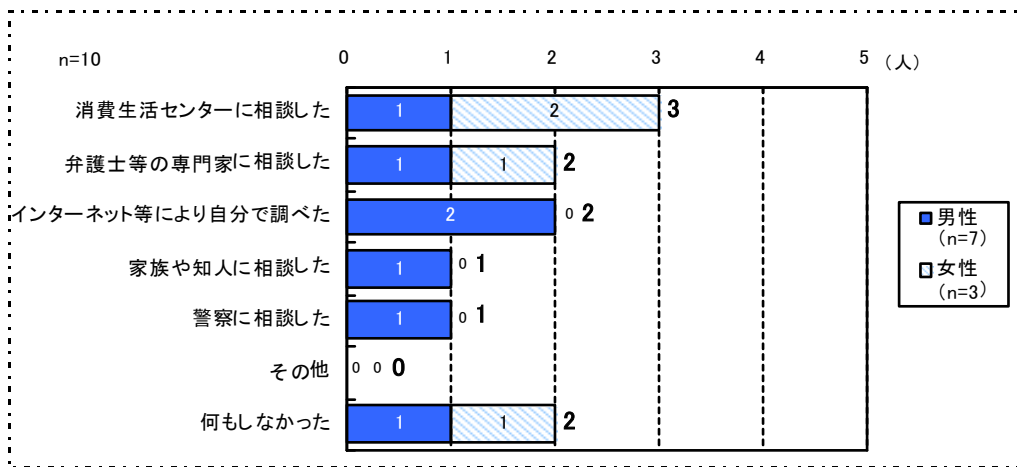
性・年齢別にみると、男性では、「1万円未満」は18～21歳が1人、「1万円以上5万円未満」は18～21歳と26～29歳がともに1人、「10万円以上50万円未満」は18～21歳と22～25歳がともに1人、「50万円以上100万円未満」と「100万円以上500万円未満」はともに26～29歳が1人であった。

女性では、「1万円以上5万円未満」は26～29歳が1人、「5万円以上10万円未満」は18～21歳が1人であった。

II. 調査結果

⑤ 「デート商法」による被害後の行動

【デート商法による被害後の行動（男女別人数）】（複数回答）



太字は合計人数

デート商法による被害経験者 10 人（男性 7 人、女性 3 人）の被害後の行動は、「消費生活センターに相談した」が 3 人（男性 1 人、女性 2 人）、「弁護士等の専門家に相談した」と「インターネット等により自分で調べた」がともに 2 人（それぞれ男性 1 人、女性 1 人、男性 2 人）、「家族や知人に相談した」と「警察に相談した」がともに男性 1 人となっている。また、「何もしなかった」は 2 人（男女ともに 1 人）であった。

【デート商法による被害後の行動（性・年齢別人数）】（複数回答）

		(人)						
		消費生活センターに相談した	弁護士等の専門家に相談した	インターネット等により自分で調べた	家族や知人に相談した	警察に相談した	その他	何もしなかった
n								
[ 全 体 ]	( 10 )	3	2	2	1	1	-	2
[ 性・年齢別 ]								
男 性	( 7 )	1	1	2	1	1	-	1
18 ~ 21 歳	( 3 )	1	1	1	-	-	-	-
22 ~ 25 歳	( 1 )	-	-	-	1	-	-	-
26 ~ 29 歳	( 3 )	-	-	1	-	1	-	1
女 性	( 3 )	2	1	-	-	-	-	1
18 ~ 21 歳	( 1 )	-	-	-	-	-	-	1
22 ~ 25 歳	( 1 )	1	1	-	-	-	-	-
26 ~ 29 歳	( 1 )	1	-	-	-	-	-	-

注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

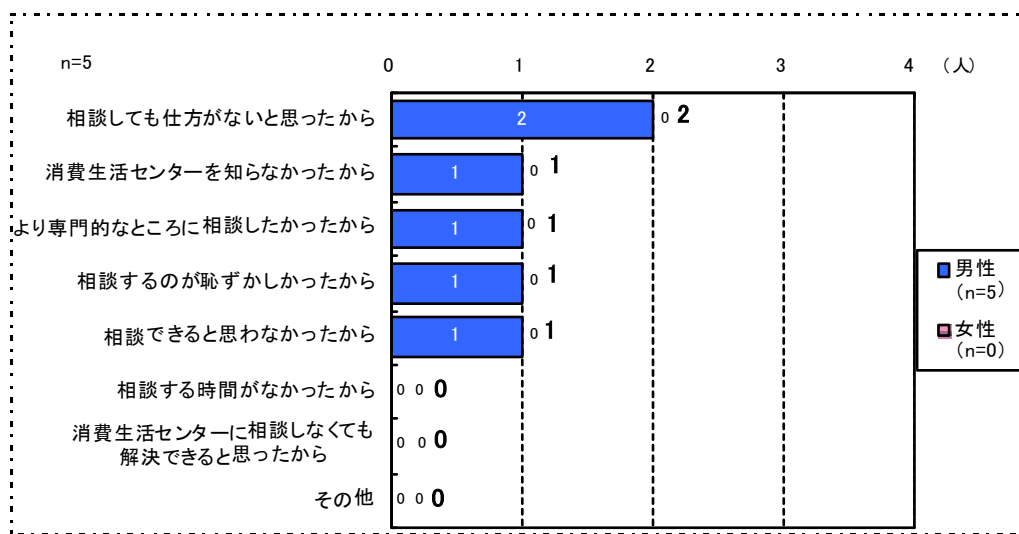
性・年齢別にみると、「消費生活センターに相談した」は男性 18~21 歳、女性 22~25 歳、女性 26~29 歳がそれぞれ 1 人、「弁護士等の専門家に相談した」は男性 18~21 歳と女性 22~25 歳がともに 1 人、「インターネット等により自分で調べた」は男性 18~21 歳と男性 26~29 歳がともに 1 人、「家族や知人に相談した」は男性 22~25 歳が 1 人、「警察に相談した」は男性 26~29 歳が 1 人であった。

II. 調査結果

⑥ 「デート商法」による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由

【デート商法による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由（男女別人数）】

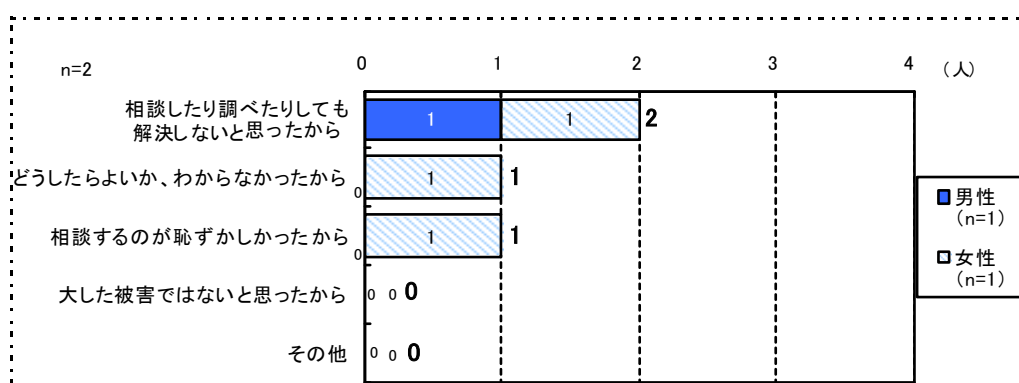
（複数回答）



デート商法による被害経験者のうち被害時に消費生活センターへ相談しなかった男性 5 人の理由は、「相談しても仕方がないと思ったから」が 2 人、「消費生活センターを知らなかったから」、「より専門的なところに相談したかったから」、「相談するのが恥ずかしかったから」、「相談できると思わなかったから」がそれぞれ 1 人となっている。

⑦ 「デート商法」による被害時に何もしなかった理由

【デート商法による被害時に何もしなかった理由（男女別人数）】（複数回答）

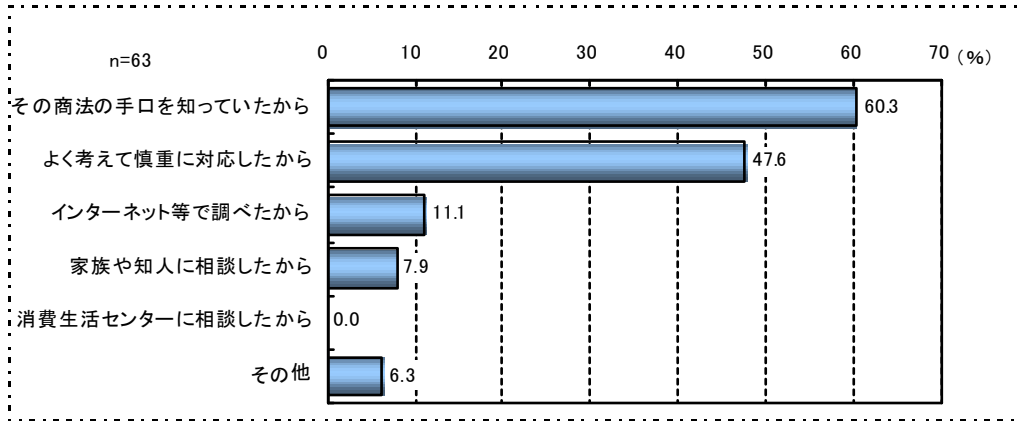


デート商法による被害経験者のうち被害時に何もしなかった 2 人（男性 1 人、女性 1 人）の理由は、「相談したり調べたりしても解決しないと思ったから」が 2 人（男女ともに 1 人）、「どうしたらよいか、わからなかったから」と「相談するのが恥ずかしかったから」がともに女性 1 人となっている。



⑧ 「デート商法」により勧誘されたが実被害に至らなかった理由

【デート商法により勧誘されたが実被害に至らなかった理由】（複数回答）



デート商法により勧誘されたが実被害に至らなかった人（63人）の理由は、「その商法の手口を知っていたから」が60.3%で最も高く、次いで「よく考えて慎重に対応したから」が47.6%、「インターネット等で調べたから」が11.1%、「家族や知人に相談したから」が7.9%となっている。

「その他」の具体的な内容は、「無視した・何もしなかった」などが挙げられた。

II. 調査結果

【デート商法により勧誘されたが実被害に至らなかった理由（性・年齢別、職業別）】

（複数回答）

(%)

	n	いその たから 商法の 手口を 知って	たよく かから 考えて 慎重に 対応し	たイン タター ネット 等で 調べ	ら家 族や 知人 に相 談した か	消費 生活 セン ター に相 談	そ 他
[ 全 体 ]	( 63 )	60.3	47.6	11.1	7.9	-	6.3
[ 性・年齢別 ]							
男 性	( 44 )	63.6	56.8	9.1	6.8	-	4.5
18 ~ 21 歳	( 13 )	84.6	46.2	7.7	-	-	-
22 ~ 25 歳	( 13 )	53.8	69.2	-	15.4	-	-
26 ~ 29 歳	( 18 )	55.6	55.6	16.7	5.6	-	11.1
女 性	( 19 )	52.6	26.3	15.8	10.5	-	10.5
18 ~ 21 歳	( 4 )	75.0	-	-	25.0	-	-
22 ~ 25 歳	( 11 )	45.5	36.4	18.2	9.1	-	18.2
26 ~ 29 歳	( 4 )	50.0	25.0	25.0	-	-	-
[ 職 業 別 ]							
フルタイム労働者	( 30 )	60.0	56.7	6.7	3.3	-	10.0
パート、アルバイト	( 6 )	50.0	50.0	16.7	-	-	-
専業主婦(主夫)	( 2 )	50.0	50.0	-	100.0	-	50.0
学 生	( 20 )	65.0	40.0	10.0	10.0	-	-
高 校 生	( 2 )	100.0	-	-	-	-	-
無 職	( 3 )	33.3	33.3	66.7	-	-	-

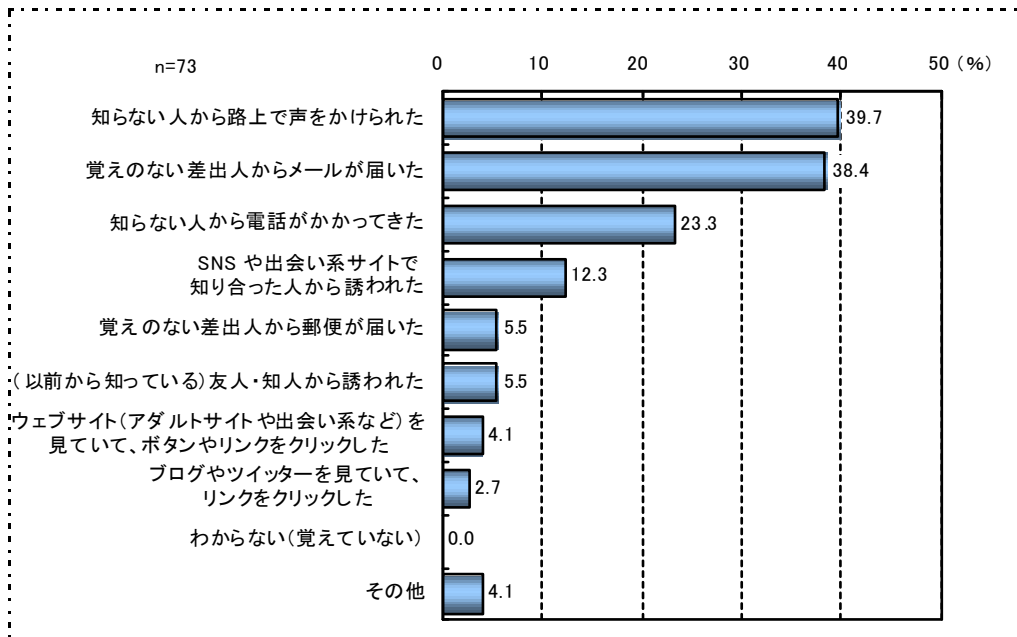
注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、男性 18~21 歳と男性 26~29 歳と女性のすべての年代で「その商法の手口を知っていたから」が 1 位となっており、男性 18~21 歳が 84.6%で最も高くなっている。「よく考えて慎重に対応したから」は、男性 22~25 歳と男性 26~29 歳で 1 位となっている。

職業別にみると、フルタイム労働者、パート、アルバイト、学生、高校生で「その商法の手口を知っていたから」が、専業主婦（主夫）で「家族や知人に相談したから」が、無職で「インターネット等で調べたから」が、それぞれ 1 位となっている。

⑨ 「デート商法」の相手先からの最初のアプローチ方法

【デート商法の相手先からの最初のアプローチ方法】（複数回答）



デート商法により勧誘され被害にあった人及び勧誘されたが実被害に至らなかった人（73人）がアプローチされた方法は、「知らない人から路上で声をかけられた」が 39.7%で最も高く、次いで「覚えのない差出人からメールが届いた」が 38.4%、「知らない人から電話がかかってきた」が 23.3%、「SNS や出会い系サイトで知り合った人から誘われた」が 12.3%、「覚えのない差出人から郵便が届いた」と「(以前から知っている)友人・知人から誘われた」がともに 5.5%となっている。

II. 調査結果

【デート商法の相手先からの最初のアプローチ方法（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)										
		を知らない人から路上で声をかけられた	覚えのない差出人からメールが届いた	知らない人から電話がかかってきた	SNSや出会い系サイトで知り合った人から誘われた	覚えのない差出人から郵便が届いた	友人・知人から誘われている	クリックした	ウェブサイト（アダルトサイトや出会い系など）を見たり、ボタンやリンクをクリックした	ブログやツイッターを見て、リンクをクリックした	わからない（覚えていない）	その他
n												
[ 全体 ]	( 73 )	39.7	38.4	23.3	12.3	5.5	5.5	4.1	2.7	-	-	4.1
[ 性・年齢別 ]												
男 性	( 51 )	41.2	29.4	23.5	7.8	2.0	3.9	3.9	2.0	-	-	5.9
18 ~ 21 歳	( 16 )	25.0	37.5	18.8	6.3	-	6.3	-	6.3	-	-	6.3
22 ~ 25 歳	( 14 )	78.6	14.3	21.4	-	7.1	-	7.1	-	-	-	-
26 ~ 29 歳	( 21 )	28.6	33.3	28.6	14.3	-	4.8	4.8	-	-	-	9.5
女 性	( 22 )	36.4	59.1	22.7	22.7	13.6	9.1	4.5	4.5	-	-	-
18 ~ 21 歳	( 5 )	60.0	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-
22 ~ 25 歳	( 12 )	16.7	58.3	25.0	25.0	16.7	8.3	-	8.3	-	-	-
26 ~ 29 歳	( 5 )	60.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
[ 職業別 ]												
フルタイム労働者	( 34 )	52.9	29.4	26.5	11.8	8.8	11.8	5.9	2.9	-	-	5.9
パート、アルバイト	( 7 )	14.3	71.4	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-
専業主婦（主夫）	( 2 )	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
学 生	( 24 )	37.5	37.5	20.8	12.5	-	-	4.2	4.2	-	-	4.2
高 校 生	( 2 )	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 職	( 4 )	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

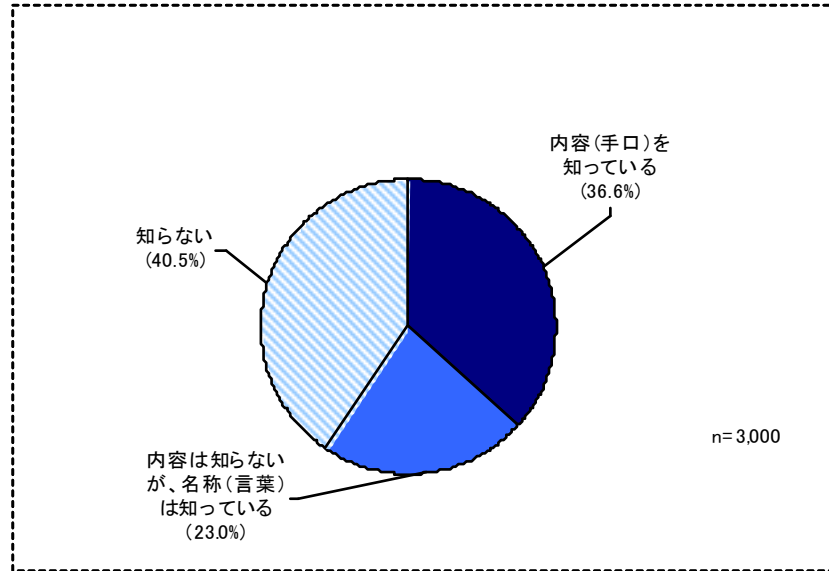
性・年齢別にみると、「知らない人から路上で声をかけられた」は男性 22～25 歳、女性 26～29 歳で、「覚えのない差出人からメールが届いた」は男性 18～21 歳、男性 26～29 歳、女性 18～21 歳、女性 22～25 歳で、それぞれ 1 位となっている。また、「覚えのない差出人からメールが届いた」は女性（59.1%）が男性（29.4%）を 29.7 ポイント上回るほか、「SNS や出会い系サイトで知り合った人から誘われた」と「覚えのない差出人から郵便が届いた」はともに女性が男性より高くなっており、性別による差がみられる。

職業別にみると、「知らない人から路上で声をかけられた」は、フルタイム労働者、専業主婦（主夫）、学生で、「覚えのない差出人からメールが届いた」はパート、アルバイト、学生、高校生、無職で、「知らない人から電話がかかってきた」は専業主婦（主夫）で、それぞれ 1 位となっている。

(6) 悪質商法の被害等の経験（アポイントメントセールス）

① 「アポイントメントセールス」の認知

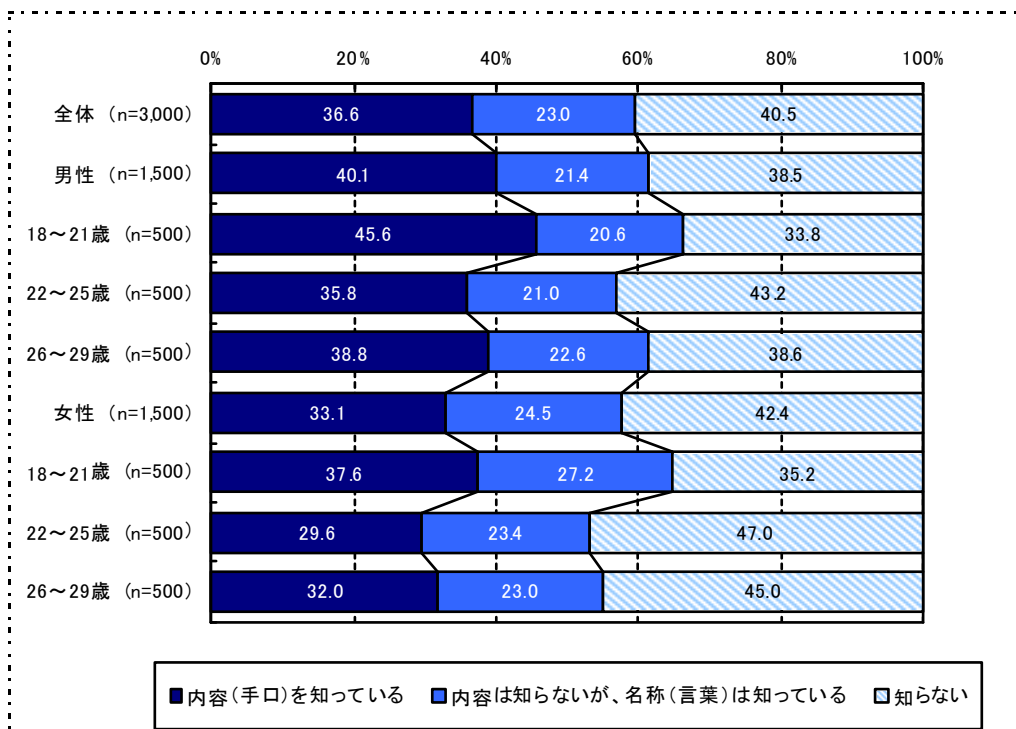
【アポイントメントセールスの認知】



アポイントメントセールスの認知は、「内容（手口）を知っている」が 36.6%、「内容は知らないが、名称（言葉）は知っている」が 23.0%、「知らない」が 40.5%となっている。

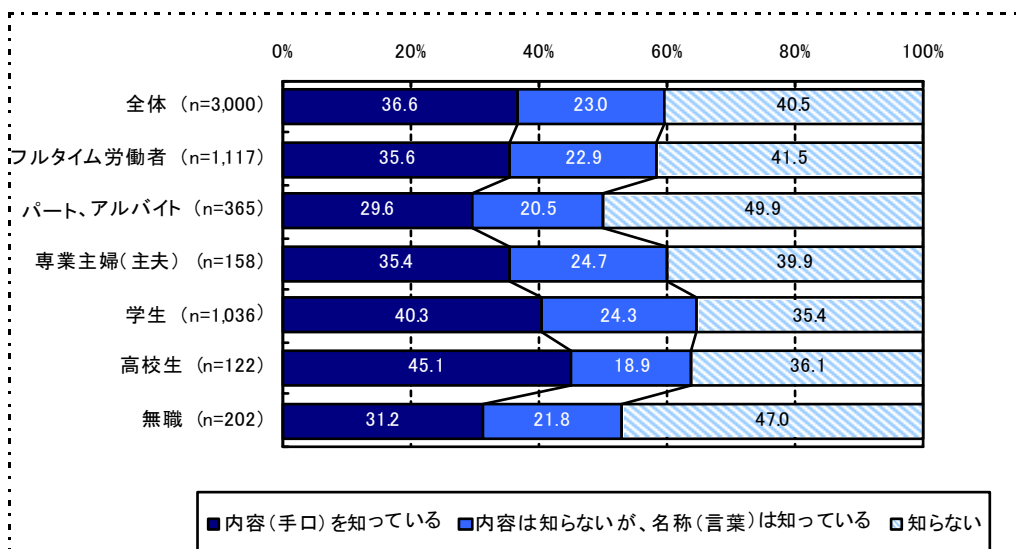
II. 調査結果

【アポイントメントセールスの認知（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「内容（手口）を知っている」は、男性 18～21 歳が 45.6%で最も高く、次いで男性 26～29 歳が 38.8%、女性 18～21 歳が 37.6%となっている。また、「知らない」は、すべての年代で 3 割以上となっており、男性 22～25 歳（43.2%）、女性 22～25 歳（47.0%）、女性 26～29 歳（45.0%）で 4 割を超えている。

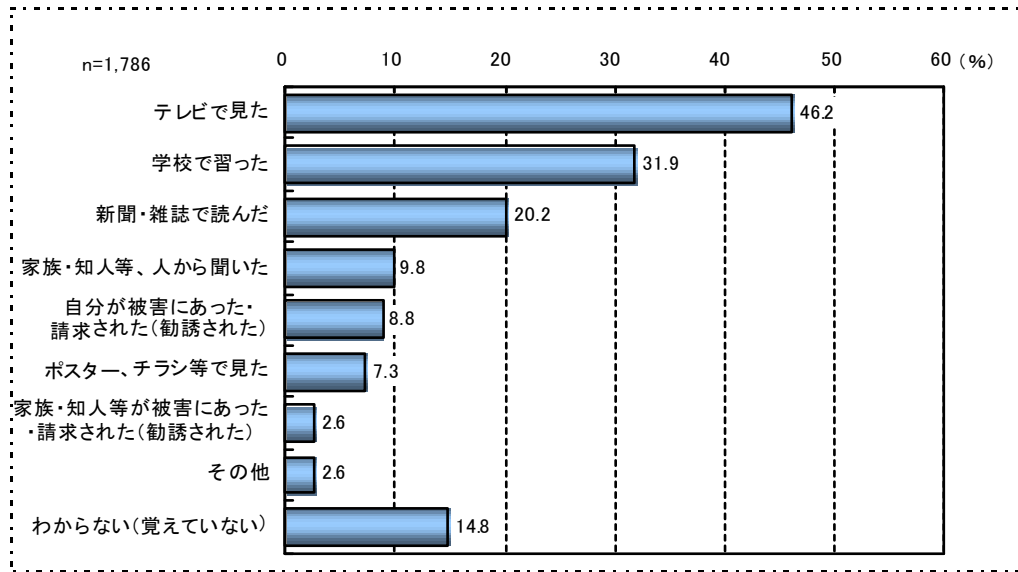
【アポイントメントセールスの認知（職業別）】



職業別にみると、「内容（手口）を知っている」は、高校生が 45.1%で最も高く、次いで学生が 40.3%、フルタイム労働者が 35.6%、専業主婦（主夫）が 35.4%となっている。また、「知らない」は、すべての区分で 3 割半ば以上となっており、フルタイム労働者（41.5%）、パート、アルバイト（49.9%）、無職（47.0%）で 4 割を超えている。

② 「アポイントメントセールス」の認知経路

【アポイントメントセールスの認知経路】(複数回答)



アポイントメントセールスという悪質商法を認知している人(1,786人)の認知経路は、「テレビで見た」が46.2%で最も高く、次いで「学校で習った」が31.9%、「新聞・雑誌で読んだ」が20.2%、「家族・知人等、人から聞いた」が9.8%、「自分が被害にあった・請求された(勧誘された)」が8.8%、「ポスター、チラシ等で見た」7.3%となっている。

II. 調査結果

【アポイントメントセールスの認知経路（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)									
		テレビで見た	学校で習った	新聞・雑誌で読んだ	家族・知人等、人から聞いた	自分が被害にあった・請求された（勧誘された）	ポスター、チラシ等で見	家族・知人等が被害にあつた・請求された（勧誘された）	その他	わからない（覚えていない）	
[ 全 体 ] (1,786)		46.2	31.9	20.2	9.8	8.8	7.3	2.6	2.6	14.8	
[ 性・年齢別 ]											
男 性 (922)		46.6	27.1	26.2	10.5	10.5	9.9	2.4	3.5	15.9	
18 ~ 21 歳 (331)		44.1	47.1	16.3	10.0	8.5	10.6	0.9	2.1	11.8	
22 ~ 25 歳 (284)		50.7	23.9	33.1	11.3	8.1	9.9	2.5	3.5	15.8	
26 ~ 29 歳 (307)		45.6	8.5	30.6	10.4	15.0	9.1	3.9	4.9	20.5	
女 性 (864)		45.8	37.0	13.7	9.0	6.9	4.5	2.9	1.6	13.7	
18 ~ 21 歳 (324)		29.9	60.8	9.0	8.0	5.9	4.9	1.2	1.5	12.0	
22 ~ 25 歳 (265)		55.5	31.7	15.8	7.5	6.8	4.9	3.0	1.1	13.6	
26 ~ 29 歳 (275)		55.3	14.2	17.1	11.6	8.4	3.6	4.7	2.2	15.6	
[ 職 業 別 ]											
フルタイム労働者 (654)		49.4	16.4	28.3	12.5	10.9	8.7	3.7	3.1	17.1	
パート、アルバイト (183)		53.6	25.7	14.8	8.7	11.5	5.5	3.3	2.2	15.8	
専業主婦（主夫） (95)		65.3	21.1	9.5	4.2	4.2	-	3.2	1.1	14.7	
学 生 (669)		39.8	46.3	17.2	8.7	7.3	7.5	1.5	1.9	12.4	
高 校 生 (78)		30.8	70.5	9.0	7.7	3.8	9.0	-	1.3	12.8	
無 職 (107)		49.5	29.0	15.9	8.4	8.4	5.6	3.7	6.5	15.9	

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

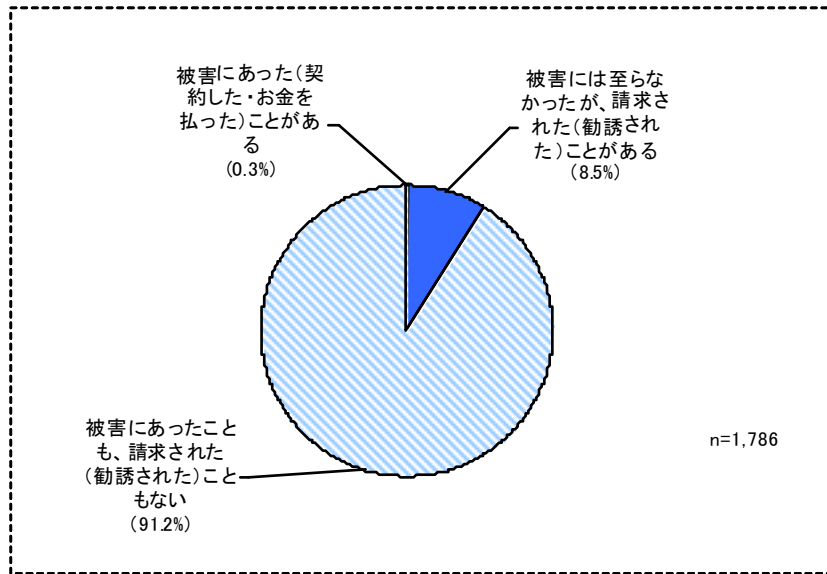
性・年齢別にみると、男女ともに18~21歳を除いた年代で「テレビで見た」が1位となっており、女性22~25歳が55.5%で最も高くなっている。「学校で習った」は男女ともに18~21歳で1位となっており、男性18~21歳(47.1%)、女性18~21歳(60.8%)とも、他の年代より高くなっている。「新聞・雑誌で読んだ」は男女ともに22~25歳、26~29歳が18~21歳より高くなっており、男性では22~25歳、26~29歳ともに3割を超えている。また、「学校で習った」は女性(37.0%)が男性(27.1%)より9.9ポイント上回り、「新聞・雑誌で読んだ」は男性(26.2%)が女性(13.7%)を12.5ポイント上回り、それぞれ性別による差がみられる。

職業別にみると、学生と高校生以外の区分で「テレビで見た」が1位となっており、専業主婦(主夫)が65.3%で最も高くなっている。学生と高校生は「学校で習った」が1位となっており、高校生(70.5%)、学生(46.3%)は「学校で習った」が他の区分より高くなっている。



③ 「アポイントメントセールス」による被害経験

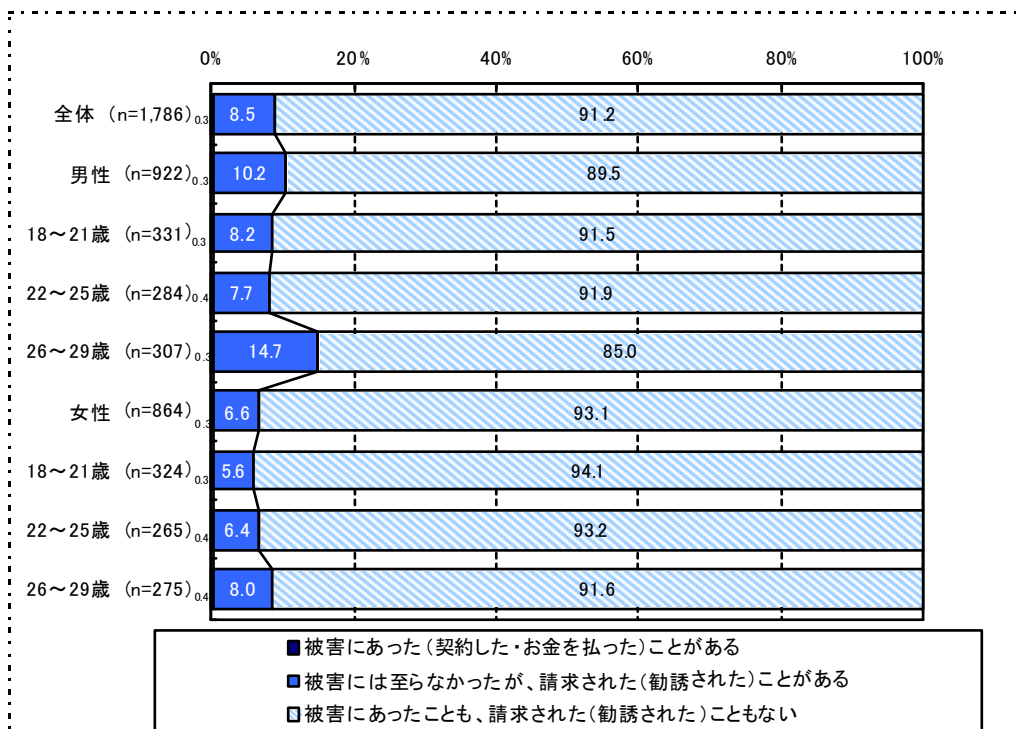
【アポイントメントセールスによる被害経験】



アポイントメントセールスによる被害経験は、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」が 0.3%、「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」が 8.5%、「被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない」が 91.2%となっており、被害経験のある人は 6 人であった。

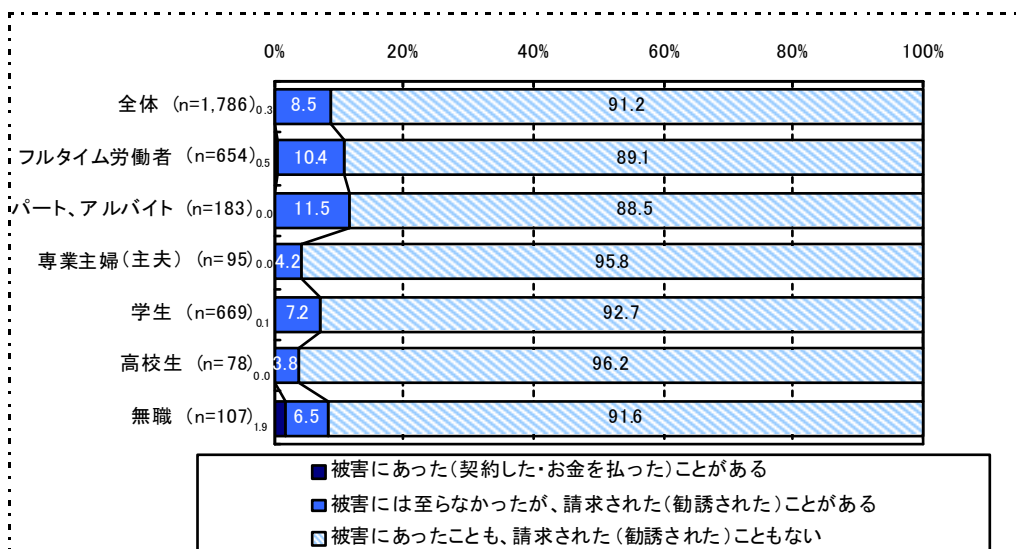
II. 調査結果

【アポイントメントセールスによる被害経験（性・年齢別）】



性・年齢別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、すべての年代で 1%未満となっている。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、男女ともすべての年代で男性が女性より割合が高く、18～21 歳で 8.2%、5.6%、22～25 歳で 7.7%、6.4%、26～29 歳で 14.7%、8.0%となっている。

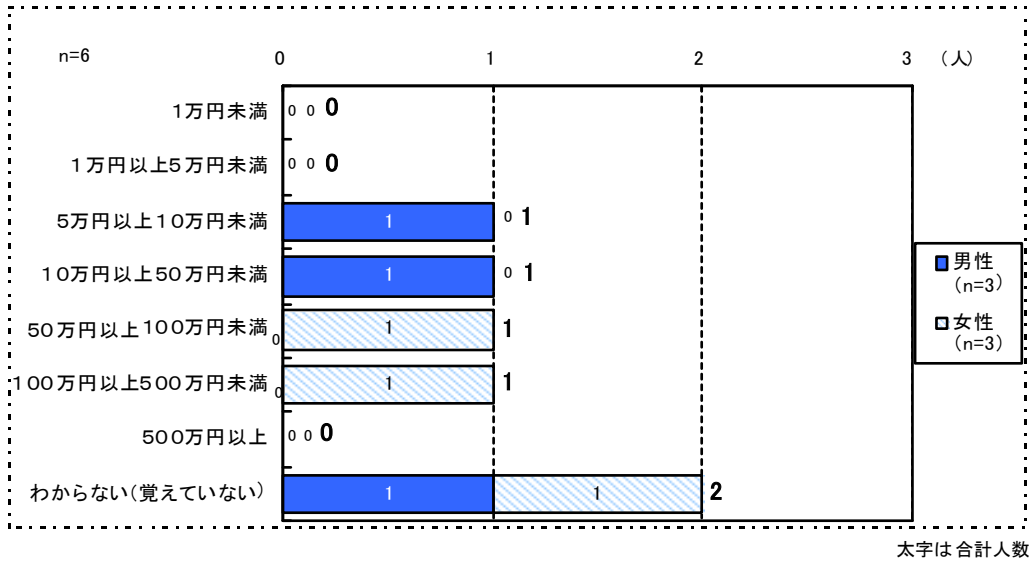
【アポイントメントセールスによる被害経験（職業別）】



職業別にみると、「被害にあった（契約した・お金を払った）ことがある」は、すべての区分で 2%未満となっている（無職 1.9%で最も高い）。「被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある」は、パート、アルバイトが 11.5%、フルタイム労働者が 10.4%となっている。

④ 「アポイントメントセールス」による被害金額

【アポイントメントセールスによる被害金額（男女別人数）】



アポイントメントセールスによる被害経験者 6 人（男女ともに 3 人）の被害金額は、「5 万円以上 10 万円未満」と「10 万円以上 50 万円未満」がともに男性 1 人、「50 万円以上 100 万円未満」と「100 万円以上 500 万円未満」がともに女性 1 人となっている。

被害実数は少ないが、10 万円以上の高額な被害は「10 万円以上 50 万円未満」、「50 万円以上 100 万円未満」、「100 万円以上 500 万円未満」の合計で 3 人（男性 1 人、女性 2 人）となっている。

II. 調査結果

【アポイントメントセールスによる被害金額（性・年齢別人数）】

		(人)							
		1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上	わからない（覚えていない）
[全体]	n (6)	-	-	1	1	1	1	-	2
[性・年齢別]									
男性	(3)	-	-	1	1	-	-	-	1
18～21歳	(1)	-	-	-	-	-	-	-	1
22～25歳	(1)	-	-	-	1	-	-	-	-
26～29歳	(1)	-	-	1	-	-	-	-	-
女性	(3)	-	-	-	-	1	1	-	1
18～21歳	(1)	-	-	-	-	-	-	-	1
22～25歳	(1)	-	-	-	-	1	-	-	-
26～29歳	(1)	-	-	-	-	-	1	-	-

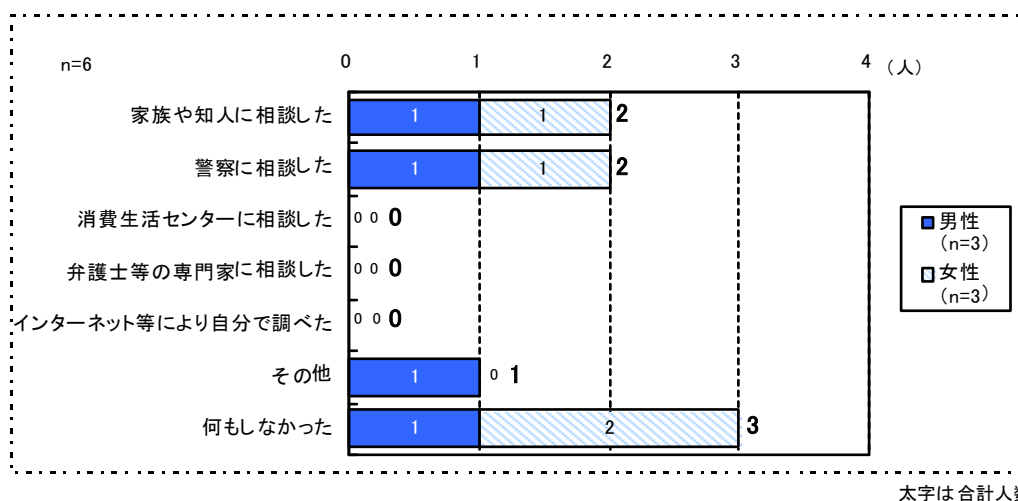
注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

性・年齢別にみると、男性では、「5万円以上10万円未満」は26～29歳が1人、「10万円以上50万円未満」は22～25歳が1人であった。

女性では、「50万円以上100万円未満」は22～25歳が1人、「100万円以上500万円未満」は26～29歳が1人であった。

⑤ 「アポイントメントセールス」による被害後の行動

【アポイントメントセールスによる被害後の行動（男女別人数）】（複数回答）



アポイントメントセールスによる被害経験者6人（男女ともに3人）の被害後の行動は、「家族や知人に相談した」と「警察に相談した」がともに2人（男女ともに1人）、「その他」が男性1人となっている。また、「何もしなかった」は3人（男性1人、女性2人）であった。

【アポイントメントセールスによる被害後の行動（性・年齢別人数）】（複数回答）

		(人)							
		n	家族や知人に相談した	警察に相談した	消費生活センターに相談した	弁護士等の専門家に相談した	インターネット等により自分で調べた	その他	何もしなかった
[ 全 体 ]	( 6 )	2	2	-	-	-	1	3	
[ 性・年齢別 ]									
男	性 ( 3 )	1	1	-	-	-	1	1	
18 ~ 21 歳	( 1 )	1	1	-	-	-	-	-	
22 ~ 25 歳	( 1 )	-	-	-	-	-	-	1	
26 ~ 29 歳	( 1 )	-	-	-	-	-	1	-	
女	性 ( 3 )	1	1	-	-	-	-	2	
18 ~ 21 歳	( 1 )	1	1	-	-	-	-	-	
22 ~ 25 歳	( 1 )	-	-	-	-	-	-	1	
26 ~ 29 歳	( 1 )	-	-	-	-	-	-	1	

注：網かけの部分は各年齢で第1位の項目

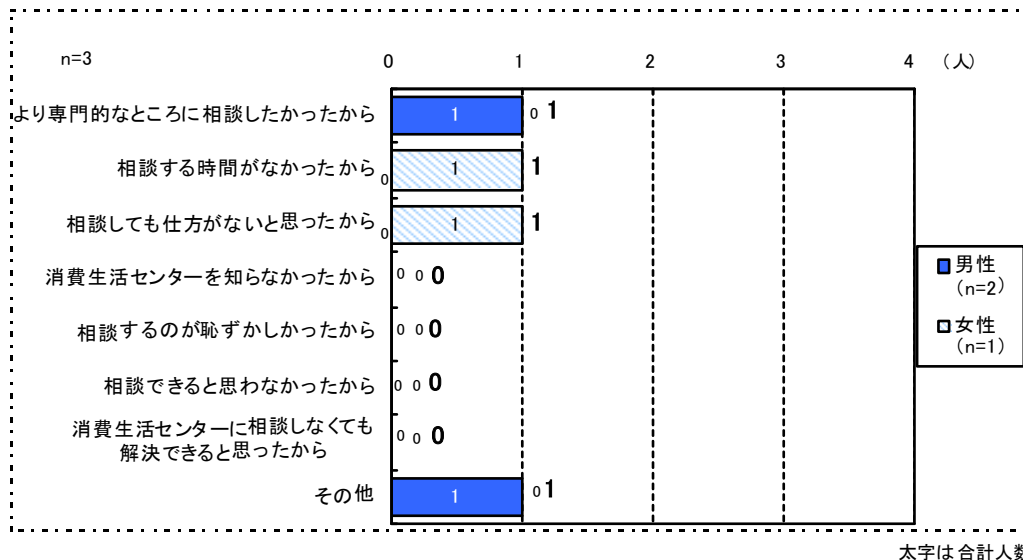
性・年齢別にみると、「家族や知人に相談した」と「警察に相談した」がともに、男女とも 18～21 歳で 1 人であった。

II. 調査結果

⑥ 「アポイントメントセールス」による被害時に消費生活センターへ相談しなかった理由

【アポイントメントセールスによる被害時に消費生活センターへ  
相談しなかった理由（男女別人数）】

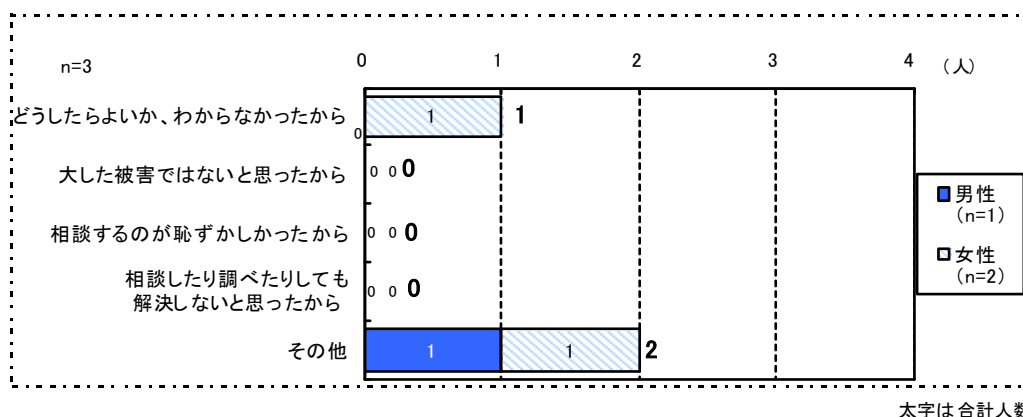
（複数回答）



アポイントメントセールスによる被害経験者のうち被害時に消費生活センターへ相談しなかった3人（男性2人、女性1人）の理由は、「より専門的などころに相談したかったから」は男性1人、「相談する時間がなかったから」と「相談しても仕方がないと思ったから」がともに女性1人となっている。

⑦ 「アポイントメントセールス」による被害時に何もしなかった理由

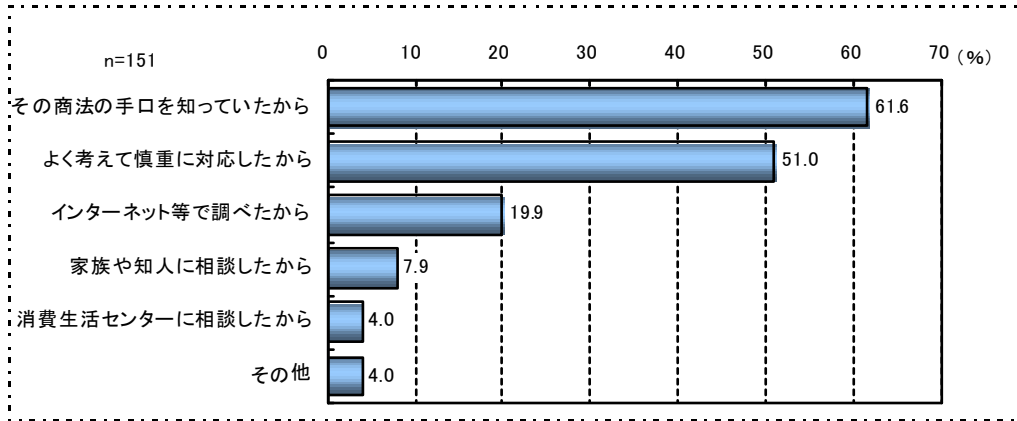
【アポイントメントセールスによる被害時に何もしなかった理由（男女別人数）】（複数回答）



アポイントメントセールスによる被害経験者のうち被害時に何もしなかった3人（男性1人、女性2人）の理由は、「どうしたらよいか、わからなかったから」が女性1人、「その他」が2人（男女とも1人）となっている。

⑧ 「アポイントメントセールス」により勧誘されたが実被害に至らなかった理由

【アポイントメントセールスにより勧誘されたが実被害に至らなかった理由】（複数回答）



アポイントメントセールスにより勧誘されたが実被害に至らなかった人（151人）の理由は、「その商法の手口を知っていたから」が 61.6%で最も高く、次いで「よく考えて慎重に対応したから」が 51.0%、「インターネット等で調べたから」が 19.9%、「家族や知人に相談したから」が 7.9%、「消費生活センターに相談したから」が 4.0%となっている。

「その他」の具体的な内容は、「無視した・何もしなかった」などが挙げられた。

II. 調査結果

【アポイントメントセールスにより勧誘されたが実被害に至らなかった理由  
（性・年齢別、職業別）】

（複数回答）

		(%)					
		いその たから 商法の 手口を 知って	たよく たから 考えて 慎重に 対応し	たイン タター ネット 等で 調べ	ら家 族や 知人 に相 談した か	消費 生活 セン ターに 相談	そ の 他
		n					
[ 全 体 ]	( 151 )	61.6	51.0	19.9	7.9	4.0	4.0
[ 性・年齢別 ]							
男 性	( 94 )	66.0	51.1	18.1	5.3	4.3	4.3
18 ~ 21 歳	( 27 )	81.5	37.0	14.8	7.4	3.7	-
22 ~ 25 歳	( 22 )	50.0	50.0	27.3	9.1	4.5	9.1
26 ~ 29 歳	( 45 )	64.4	60.0	15.6	2.2	4.4	4.4
女 性	( 57 )	54.4	50.9	22.8	12.3	3.5	3.5
18 ~ 21 歳	( 18 )	55.6	50.0	5.6	11.1	5.6	5.6
22 ~ 25 歳	( 17 )	58.8	52.9	23.5	5.9	5.9	5.9
26 ~ 29 歳	( 22 )	50.0	50.0	36.4	18.2	-	-
[ 職 業 別 ]							
フルタイム労働者	( 68 )	57.4	57.4	25.0	5.9	4.4	4.4
パート、アルバイト	( 21 )	52.4	38.1	33.3	9.5	4.8	4.8
専業主婦(主夫)	( 4 )	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0
学 生	( 48 )	66.7	52.1	10.4	8.3	4.2	-
高 校 生	( 3 )	100.0	-	-	-	-	-
無 職	( 7 )	71.4	57.1	14.3	14.3	-	14.3

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

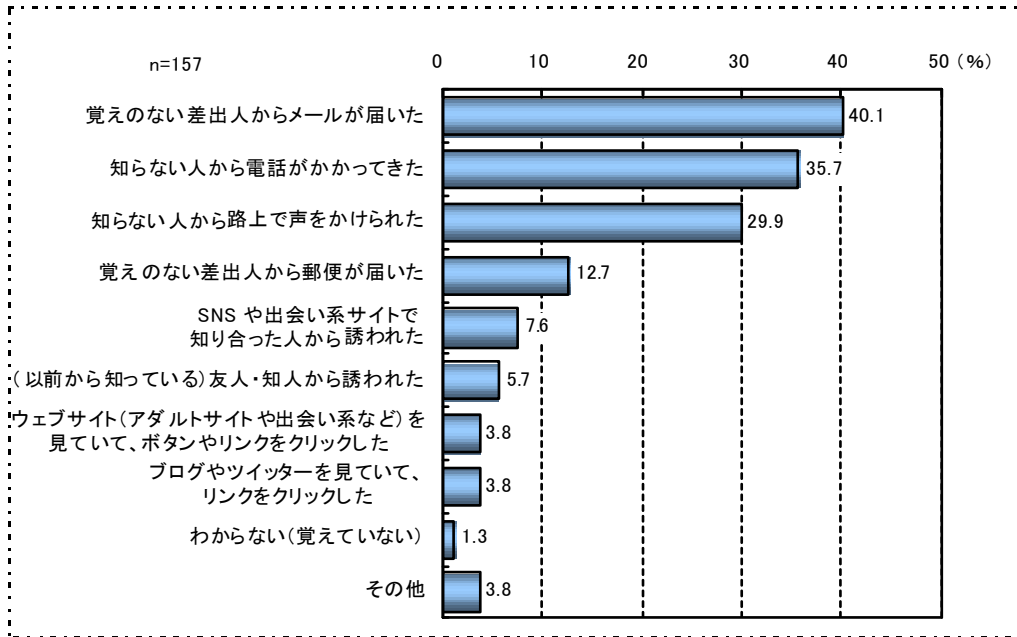
性・年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「その商法の手口を知っていたから」が1位となっており、男性18~21歳が81.5%で最も高くなっている。「よく考えて慎重に対応したから」は、男性22~25歳と女性26~29歳で1位となっている。

職業別にみると、すべての区分で「その商法の手口を知っていたから」が1位（フルタイム労働者は「よく考えて慎重に対応したから」も1位）となっている。



⑨ 「アポイントメントセールス」の相手先からの最初のアプローチ方法

【アポイントメントセールスの相手先からの最初のアプローチ方法】(複数回答)



アポイントメントセールスにより勧誘され被害にあった人及び勧誘されたが実被害に至らなかった人(157人)がアプローチされた方法は、「覚えのない差出人からメールが届いた」が40.1%で最も高く、次いで「知らない人から電話がかかってきた」が35.7%、「知らない人から路上で声をかけられた」が29.9%、「覚えのない差出人から郵便が届いた」が12.7%、「SNSや出会い系サイトで知り合った人から誘われた」が7.6%、「(以前から知っている)友人・知人から誘われた」が5.7%となっている。

II. 調査結果

【アポイントメントセールスの相手先からの最初のアプローチ方法（性・年齢別、職業別）】  
（複数回答）

		(%)										
n		覚えのない差出人からメールが届いた	知らない人から電話がかかってきた	知らない人から路上で声をかけられた	覚えのない差出人から郵便が届いた	SNSや出会い系サイトで知り合った人から誘われた	友人・知人から誘われた（以前から知っていた）	クリックした	ウェブサイト（アダルトサイトや出会い系など）を見ている、ボタンやリンクをクリックした	ブログやツイッターを見て、リンクをクリックした	わからない（覚えていない）	その他
[ 全 体 ]	(157)	40.1	35.7	29.9	12.7	7.6	5.7	3.8	3.8	1.3	3.8	
[ 性・年齢別 ]												
男 性	(97)	40.2	40.2	27.8	12.4	9.3	5.2	5.2	3.1	-	3.1	
18 ~ 21 歳	(28)	46.4	14.3	32.1	3.6	7.1	10.7	17.9	3.6	-	3.6	
22 ~ 25 歳	(23)	30.4	43.5	30.4	4.3	8.7	4.3	-	-	-	4.3	
26 ~ 29 歳	(46)	41.3	54.3	23.9	21.7	10.9	2.2	-	4.3	-	2.2	
女 性	(60)	40.0	28.3	33.3	13.3	5.0	6.7	1.7	5.0	3.3	5.0	
18 ~ 21 歳	(19)	52.6	15.8	26.3	10.5	10.5	-	-	-	5.3	-	
22 ~ 25 歳	(18)	44.4	22.2	38.9	11.1	5.6	11.1	5.6	11.1	-	5.6	
26 ~ 29 歳	(23)	26.1	43.5	34.8	17.4	-	8.7	-	4.3	4.3	8.7	
[ 職 業 別 ]												
フルタイム労働者	(71)	39.4	45.1	31.0	15.5	8.5	5.6	1.4	5.6	1.4	5.6	
パート、アルバイト	(21)	33.3	52.4	33.3	14.3	9.5	9.5	-	4.8	-	-	
専業主婦（主夫）	(4)	50.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	
学 生	(49)	42.9	14.3	36.7	6.1	6.1	6.1	8.2	-	2.0	4.1	
高 校 生	(3)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無 職	(9)	22.2	55.6	-	11.1	11.1	-	11.1	11.1	-	-	

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

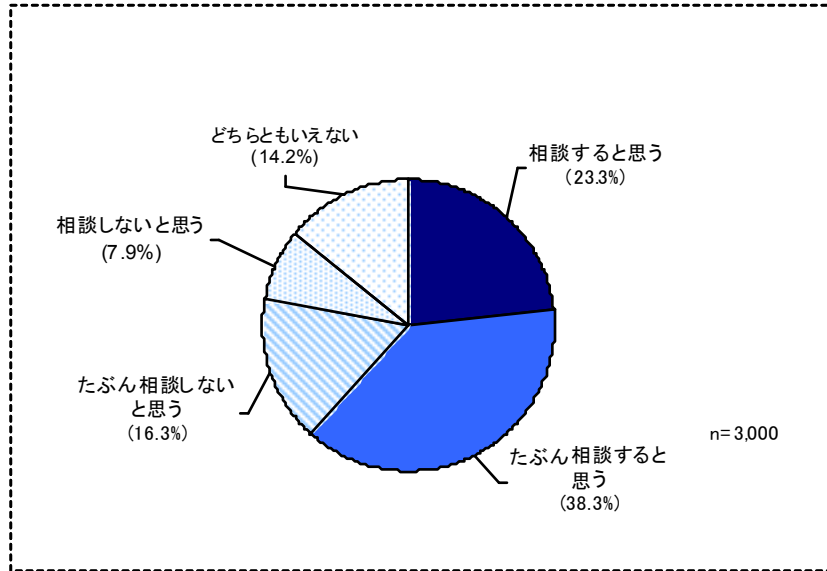
性・年齢別にみると、「覚えのない差出人からメールが届いた」は、男性 18～21 歳、女性 18～21 歳、女性 22～25 歳で、「知らない人から電話がかかってきた」は、男性 22～25 歳、男性 26～29 歳、女性 26～29 歳で、それぞれ 1 位となっている。

職業別にみると、「覚えのない差出人からメールが届いた」は、専業主婦（主夫）、学生、高校生で、「知らない人から電話がかかってきた」はフルタイム労働者、パート、アルバイト、無職で、それぞれ 1 位となっている。

(7) 悪質商法による被害後の今後の行動意向

① 消費生活センターへの相談意向

【消費生活センターへの相談意向】

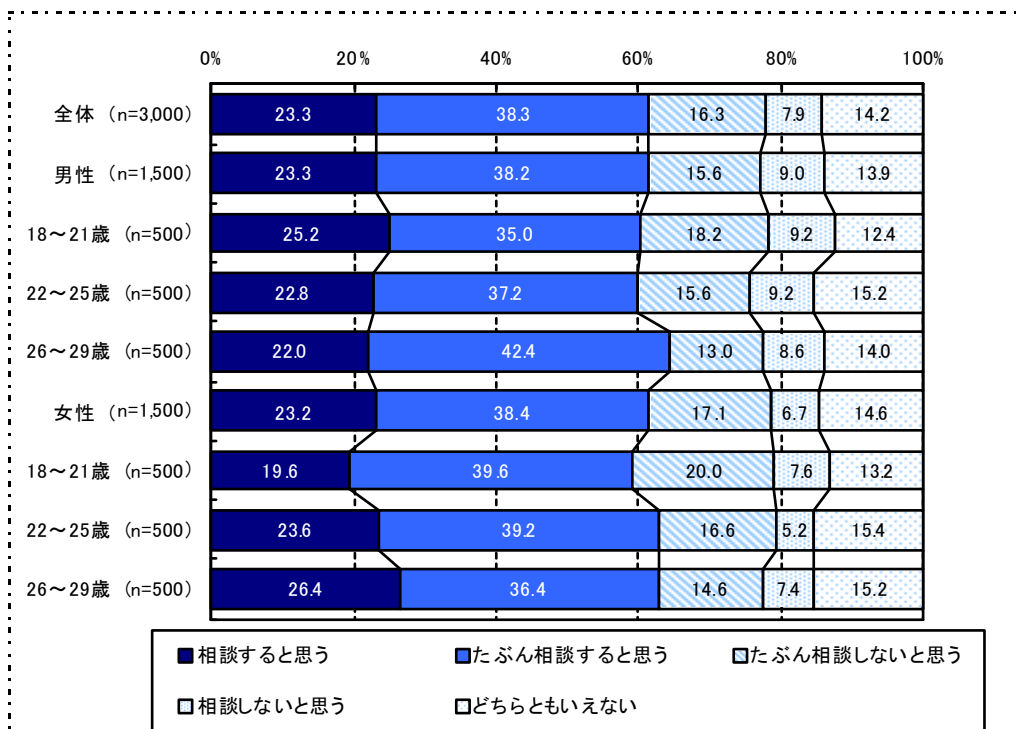


悪質商法による被害を受けた場合の消費生活センターへの相談意向は、「相談すると思う」が 23.3%、「たぶん相談すると思う」が 38.3%、「たぶん相談しないと思う」が 16.3%、「相談しないと思う」が 7.9%、「どちらともいえない」が 14.2%であった。

相談意向（「相談する」+「たぶん相談する」）は、61.6%と6割を超えている。

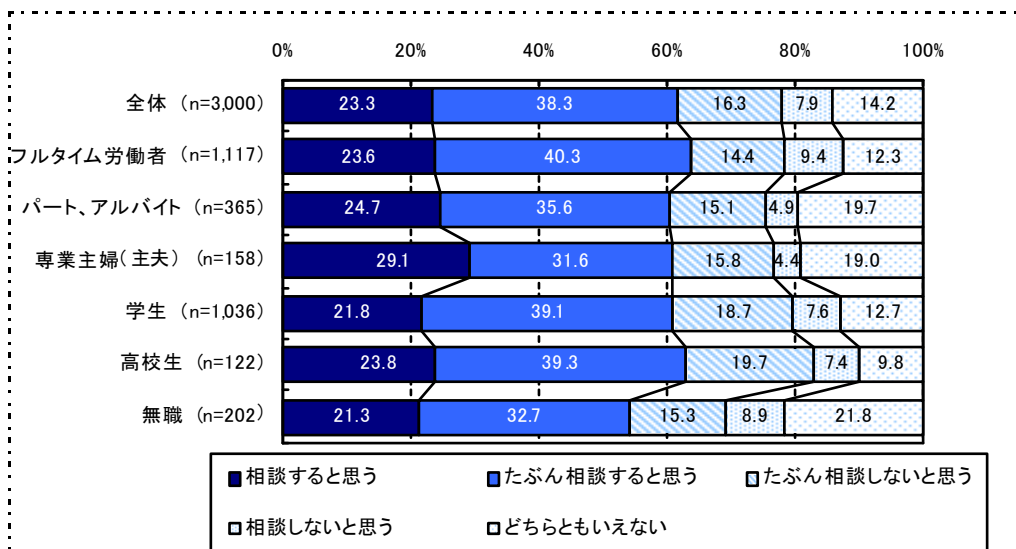
II. 調査結果

【消費生活センターへの相談意向（性・年齢別）】



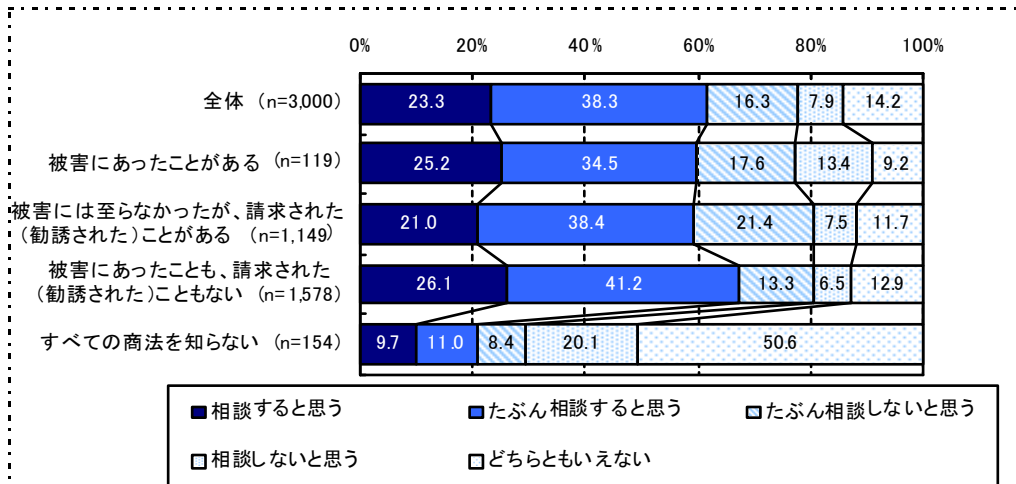
性・年齢別にみると、相談意向（「相談する」＋「たぶん相談する」）は、男性 26～29 歳が 64.4%で最も高く、次いで女性 22～25 歳と女性 26～29 歳がともに 62.8%となっている。相談意向は、女性 18～21 歳（59.2%）を除いたすべての年代で 6 割を超えている。

【消費生活センターへの相談意向（職業別）】



職業別にみると、相談意向（「相談する」＋「たぶん相談する」）は、フルタイム労働者が 63.9%で最も高く、次いで高校生が 63.1%、学生が 60.9%となっている。相談意向は、無職（54.0%）以外の区分で 6 割を超えている。

【消費生活センターへの相談意向（悪質商法の被害経験別）】

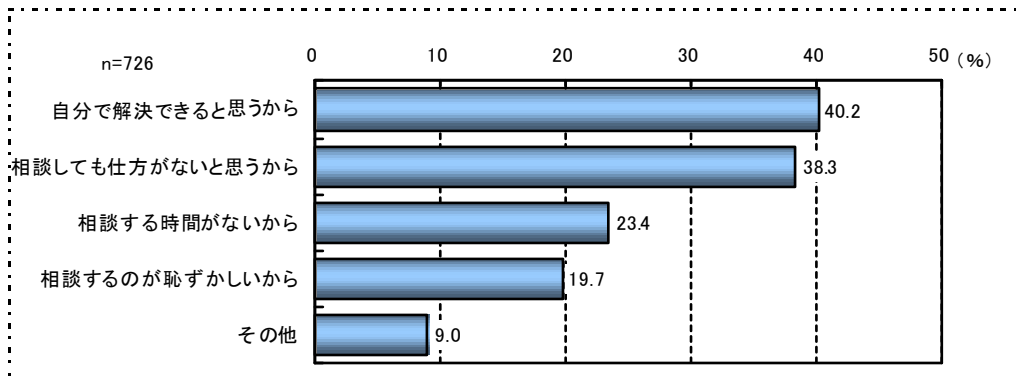


悪質商法の被害経験別にみると、相談意向（「相談する」+「たぶん相談する」）は、【被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない】が 67.3%で最も高く、次いで【被害にあったことがある】が 59.7%、【被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある】が 59.4%となっている。

## II. 調査結果

### ② 消費生活センターへ相談しない理由

【消費生活センターへ相談しない理由】（複数回答）



悪質商法による被害を受けた場合に消費生活センターへは相談しないとする人（726人）の理由は、「自分で解決できると思うから」が40.2%で最も高く、次いで「相談しても仕方がないと思うから」が38.3%、「相談する時間がないから」が23.4%、「相談するのが恥ずかしいから」が19.7%となっている。

「その他」の具体的な内容は、「警察に相談する」、「家族・友人等に相談する」、「消費生活センターでは解決できない」、「消費生活センターの場所や相談方法がわからない」、「消費生活センターが思い浮かばない」などが挙げられた。

## 【消費生活センターへ相談しない理由（性・年齢別、職業別）】（複数回答）

		(%)				
n		か ら 自 分 で 解 決 で き る と 思 う	思 相 談 し て も 仕 方 が な い と 思 う	相 談 す る 時 間 が な い か ら	か ら 相 談 す る の が 恥 ず か し い	そ の 他
[ 全 体 ]	( 726 )	40.2	38.3	23.4	19.7	9.0
[ 性・年齢別 ]						
男 性	( 369 )	43.4	37.4	25.7	18.7	6.8
18 ~ 21 歳	( 137 )	51.1	34.3	25.5	23.4	5.1
22 ~ 25 歳	( 124 )	42.7	35.5	26.6	17.7	7.3
26 ~ 29 歳	( 108 )	34.3	43.5	25.0	13.9	8.3
女 性	( 357 )	37.0	39.2	21.0	20.7	11.2
18 ~ 21 歳	( 138 )	38.4	35.5	22.5	28.3	9.4
22 ~ 25 歳	( 109 )	31.2	47.7	24.8	18.3	11.0
26 ~ 29 歳	( 110 )	40.9	35.5	15.5	13.6	13.6
[ 職 業 別 ]						
フルタイム労働者	( 266 )	36.8	39.5	25.2	14.7	8.6
パート、アルバイト	( 73 )	37.0	42.5	16.4	17.8	11.0
専業主婦(主夫)	( 32 )	43.8	37.5	15.6	12.5	12.5
学 生	( 273 )	45.4	35.2	28.2	22.3	6.2
高 校 生	( 33 )	27.3	42.4	12.1	39.4	15.2
無 職	( 49 )	40.8	40.8	10.2	26.5	16.3

注：網かけの部分は各年齢・職業で第1位の項目

性・年齢別にみると、男性 18~21 歳と男性 22~25 歳と女性 18~21 歳と女性 26~29 歳で「自分で解決できると思うから」が 1 位となっており、男性 18~21 歳が 51.1%で最も高くなっている。「相談しても仕方がないと思うから」は、男性 26~29 歳と女性 22~25 歳で 1 位となっている。「相談する時間がないから」は、女性 26~29 歳（15.5%）を除いたすべての年代で 2 割台となっている。また、「相談するのが恥ずかしいから」は、男女ともに 18~21 歳の低年齢で割合が高くなっている（23.4%、28.3%）。

職業別にみると、専業主婦（主夫）、学生、無職で「自分で解決できると思うから」が、フルタイム労働者、パート、アルバイト、高校生、無職で「相談しても仕方がないと思うから」が、それぞれ 1 位となっている。「相談する時間がないから」は、フルタイム労働者（25.2%）と学生（28.2%）が 2 割台となっており、他の区分より高くなっている。また、「相談するのが恥ずかしいから」は、学生（22.3%）、高校生（39.4%）、無職（26.5%）では 2 割を超えて有職者（フルタイム労働者、パート、アルバイト）より高くなっている。

## II. 調査結果

### 【消費生活センターへ相談しない理由（悪質商法の被害経験別）】（複数回答）

		(%)				
	n	か 自 分 で 解 決 で き る と 思 う	思 相 談 し て も 仕 方 が な い と 思 う か ら	相 談 す る 時 間 が な い か ら	か 相 談 す る の が 恥 ず か し い	そ の 他
[ 全 体 ]	( 726 )	40.2	38.3	23.4	19.7	9.0
[ 悪質商法の被害経験別 ]						
被害にあったことがある	( 37 )	21.6	56.8	32.4	24.3	18.9
被害には至らなかったが、 請求された(勧誘された)ことがある	( 332 )	51.2	33.4	22.3	17.8	8.7
被害にあったことも、請求された ( 勧誘された ) こともない	( 313 )	29.4	42.8	24.3	22.4	8.9
すべての商法を知らない	( 44 )	50.0	27.3	18.2	11.4	2.3

注：網かけの部分は悪質商法の被害経験で第1位の項目

悪質商法の被害経験別にみると、【被害には至らなかったが、請求された（勧誘された）ことがある】では「自分で解決できると思うから」が51.2%で1位となっている。「相談しても仕方がないと思うから」は、【被害にあったことがある】では56.8%、【被害にあったことも、請求された（勧誘された）こともない】では42.8%で、それぞれ1位となっている。「相談する時間がないから」と「相談するのが恥ずかしいから」はともに【被害にあったことがある】で最も高く、それぞれ32.4%、24.3%となっている。